

本資料のうち、枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉

新規制基準適合性に係る審査書類の
信頼性向上のための取り組み結果について

平成29年6月

東京電力ホールディングス株式会社

目次

1. はじめに	1
2. 実施方針	1
2.1 経緯	1
2.2 議論が必要となり得る論点の抽出	2
2.3 審査書類の信頼性向上	2
2.4 実施状況の確認と課題への対応	3
3. 実施体制	3
3.1 体制	3
3.2 構成メンバーの役割	4
4. 実施方法	5
4.1 議論が必要となり得る論点の抽出	5
4.2 審査書類の信頼性向上	5
4.3 実施状況の確認と課題への対応	7
4.4 実施結果の確認	8
5. 実施結果	8
5.1 実施期間	8
5.2 議論が必要となり得る論点の抽出	8
5.3 審査書類の信頼性向上	8
5.4 実施状況の確認と課題への対応	9
5.5 実施結果の確認	9
6. まとめ	9

1. はじめに

本年2月14日の新規制基準適合性に係る審査会合（以下「審査会合」という）において、当社が過去に実施した免震重要棟の耐震解析の有効性についての確な説明ができなかったこと等から、説明内容の信頼性に大きな疑義が持たれ、2月23日の審査会合においては審査対応における課題を指摘された。

この問題に対し、2月28日の原子力規制委員会の臨時会議において、当社社長に対して信頼できる審査書類となるよう点検指示が出され、また、4月20日の審査会合において、補正の際に点検結果を合わせて提出するよう指示を受けた。

これを受けて当社は、先行電力の審査情報を踏まえた論点の再確認、審査書類全体を把握する立場からの部門横断的な確認等を行うとともに、これまでの審査における審議内容及び設計進捗の反映も行って、審査書類の内容充実と信頼性の向上を図った。

本報告書はその活動をまとめたものである。

当社は、福島第一原子力発電所の事故の反省を踏まえて、2013年以降原子力安全改革に取り組んでいる。そこでは、事故を防げなかった根本原因の一つは「対話力」の不足にあることを確認し、その強化に努めている。

しかしながら、これまでの一連の審査対応の問題点は、自社の主張に拘泥しすぎるあまり規制当局と適切なコミュニケーションが行えず、その結果、体系的・網羅的・定量的な説明の不足に陥っていたことを示している。一方、自社組織内においても、上下間や部門間のコミュニケーションの不足により課題の共有化が遅れ、必要な方針転換が迅速に行えていなかったことも再認識した。

このような社内外のコミュニケーションが不足している状態をしっかりと認識し、改めて、「対話力」の強化を含む原子力安全改革プランを加速して、社外からの指摘に積極的に耳を傾け、自社組織内の縦割りを排して課題を共有できるように、組織の変革に努めていく。

2. 実施方針

2.1 経緯

2月23日の審査会合において、審査対応上の問題点として当社は以下の課題を指摘された。

- ・体系的・定量的な説明をすること
- ・先行プラントの議論をよく把握すること
- ・先行との差異や従前の説明から変更したことについては、明示的に説明すること
- ・重要な情報について共有すること
- ・各担当は自分の守備範囲を守ろうとし過ぎて全体を見渡すことができていると考えられるため、全体を把握する人を配置すること

上記の課題は、これまでの当社の審査で繰り返し指摘を受けており、それらを踏まえて各課題への対応を図ってきたが、主に担当者・審査対応箇所が個別に実施してきたため、個人の力量・感度に頼っていた部分が大きく、組織としての改善に繋がらなかったと反省した。

これらの反省を踏まえ、3月9日の審査会合において、中期的には従来から取り組んでいる「原子力安全改革」を加速させることで対応するが、以下のような「即効的な対策」により組織的な活動を強化し、当面の審査へ対応することを説明した。

- ・規制対応向上チームの設置（他電力からの学び）
- ・審査情報共有会議の設置（他電力からの学び）
- ・審査方針確認会議の設置（他電力からの学び）
- ・プロジェクト統括の設置（免震重要棟事例を踏まえた対策）
- ・プロジェクトマネージャの責任と権限の強化（免震重要棟事例を踏まえた対策）

また、取り組みの実施においては、以下の2つを行うことを説明した。

(1) 議論が必要となり得る論点の抽出

- ・先行電力の審査会合におけるコメント回答リストを踏まえ、当社として新たな論点となり得る事案の有無を確認する。
- ・コメントリストの記載内容だけでは論点が十分に確認できない場合には、説明資料の確認又は先行電力に直接聞き取りして詳細内容を確認する。
- ・新たな論点を確認した場合には、社長をトップとする会議体で対応方針を含め、速やかに経営層との情報共有を行う。

(2) 審査書類の信頼性向上

- ・新たな論点を含め、これまでの審査結果をまとめ資料(*)に反映する。
- ・まとめ資料については、各プロジェクト統括の確認を受ける。
- ・まとめ資料に基づき補正書を作成する。
- ・原子力発電保安委員会で補正書を審議する。 ※審査資料をまとめたもの

以上の経緯を踏まえ、即効的な対策として具体的には以下の内容を重点的に実施することとした。

2.2 議論が必要となり得る論点の抽出

審査書類の記載内容を充実するため、以下の方法により当社として新たな論点となり得る事案を抽出する。

- ・先行電力の審査資料からの精査
- ・先行電力への聞き取りによる詳細確認

2.3 審査書類の信頼性向上

(1) 審査書類作成における論点および設計進捗等の反映

各担当部署において以下の事項を再確認し、審査書類に確実に反映する。

- ・先行電力の審査情報から抽出された新たな論点
- ・これまでの審査における審議内容
- ・当社における設計進捗等

(2) 審査書類全体を把握する立場からの審査書類のレビュー

分野ごとに担当部署の活動状況を把握する統括を配置し、以下の観点から審査書類の内容の妥当性をレビューする。

- ・専門的な視点から担当分野の審査書類の技術的内容の妥当性を確認

- ・担当分野の審査書類全体を把握し、それらの整合性を確認
- ・担当分野の視点から他分野の審査書類の妥当性を確認（分野間クロスチェック）

（3）審査対応の課題を改善する観点での確認

規制対応に精通したチームを設置し、規制から指摘された審査対応の課題が改善されていることを、以下の視点により確認する。

- ・審査書類での説明が体系的、網羅的、定量的であること
- ・先行電力の審査上の論点を精査し、その結果を適切に審査書類に反映していること
- ・これまでの審査を通じた一貫性ある説明、データにより審査書類を作成していること
- ・これまでの審査における指摘事項を適切に審査書類に反映していること

（4）独立した立場からの活動実施状況の確認

以上の活動が適切なプロセスによって実施され、申請書類が適切に作成・レビューされたことを、品質保証部門が独立の立場で確認する。

2.4 実施状況の確認と課題への対応

経営レベル・上位管理者・実務担当者の各層に係る会議体を設置し、随時、上記活動の実施状況に関する情報を共有するとともに、課題への対応を協議する。

（1）特別タスクフォース

社長、本社の関係部門及び発電所の経営レベルにより毎週開催し、実施状況及び課題への対処を共有する。

（2）審査情報共有会議

原子力・立地本部長、ホールディングス技術・環境戦略ユニット土木・建築室長、各原子力部門長及び発電所幹部（発電所長他）により毎日開催し、実施状況及び課題を共有するとともに、課題への対処を確認する。

（3）審査方針確認会議

原子力設備管理部長以下のメンバー及び発電所幹部（部長他）により毎日開催し、実施状況及び課題を確認するとともに、課題への対処を協議する。

3. 実施体制

3.1 体制

実施方針を踏まえ、通常の審査書類の作成プロセスに加えて新たにプロジェクト統括、論点抽出チーム及び規制対応向上チームを設置し、体制を強化して（図1）この活動を実施した。

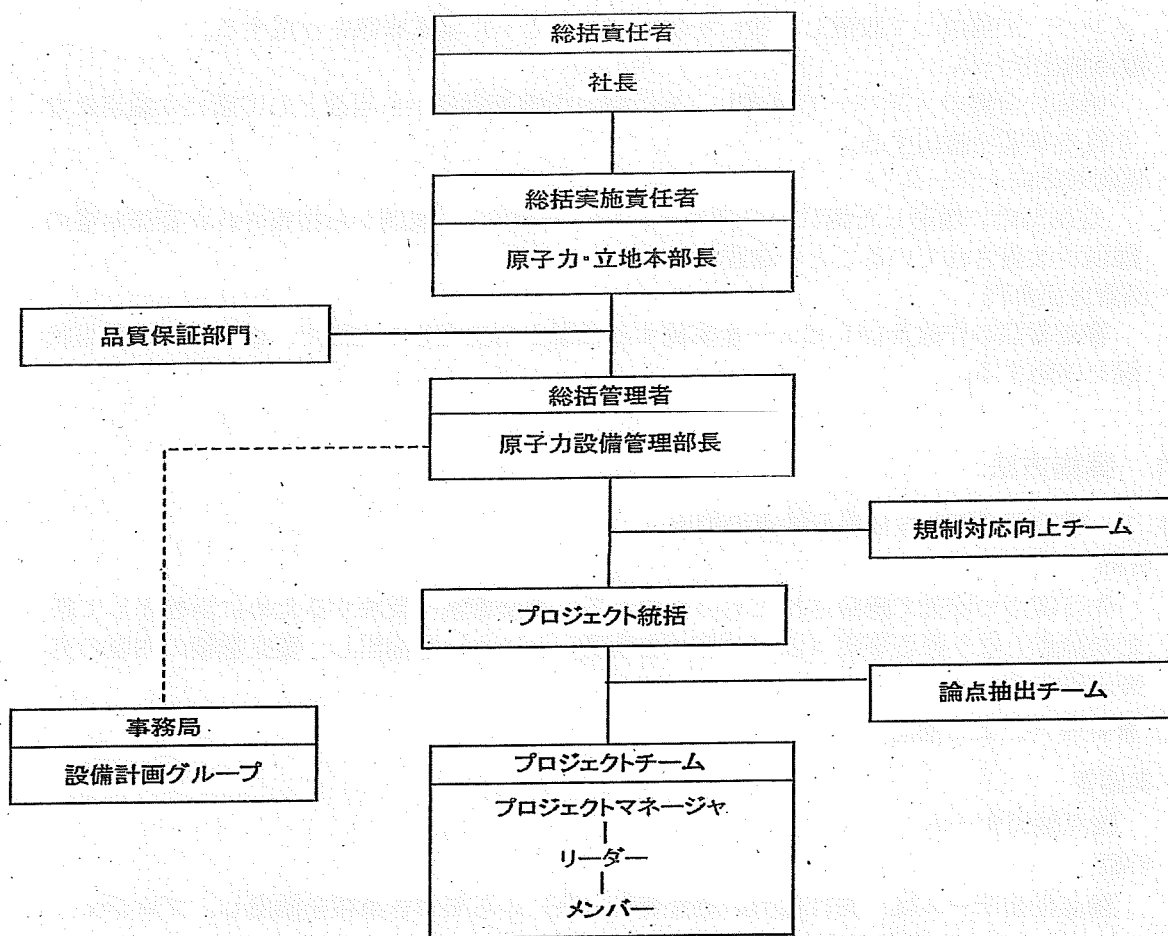


図1 実施体制

3.2 構成メンバーの役割

実施体制における個々の構成メンバーの役割を以下に示す。

- ・総括責任者（社長）
総括責任者として実施状況及び実施結果を確認する。
- ・総括実施責任者（原子力・立地本部長）
総括責任者に活動の実施状況を報告するとともに、適宜、実施上の課題を確認し、それらへの対処を総括管理者に指示する。
- ・総括管理者（原子力設備管理部長）
各チーム等による活動の実施状況を把握し、総括実施責任者に報告するとともに、適宜、実施上の課題を確認し、それらへの対処を構成メンバーに指示する。
- ・プロジェクト統括
4つの技術分野（安全技術、電気・機械、土木、建築）毎に1名配置し、担当分野におけるプロジェクトチームを統括するとともに、審査書類のレビューと技術支援を実施する。
また、他分野のプロジェクト統括と連携し、分野間のクロスチェックによって審査書類の妥当性を確認する。
- ・プロジェクトチーム
設置許可基準規則の条文及び技術内容ごとに、プロジェクトマネージャ、リーダー、

メンバーで構成して設置し、設計を検討するとともに審査書類を作成する。

- ・ 論点抽出チーム
幅広い分野のメンバーで構成し、先行電力の審査資料から当社として新たな論点になり得る事案を抽出する。
- ・ 規制対応向上チーム
規制対応に精通した幅広い分野のメンバーで構成し、規制から指摘された審査対応の課題が改善されていることを確認する。
- ・ 品質保証部門
審査書類の作成及びレビューを実施する部署から独立した立場で、取り組みの実施状況をj確認する。

4. 実施方法

4.1 議論が必要となり得る論点の抽出

- ・ 目的
先行電力の審査で議論されたものの中から、審査書類へ反映するために当社として新たな論点となり得る事案（以下「気づき事項」という）を抽出し、審査書類の内容の充実に資する。

① 審査資料による抽出

- ・ 実施者
論点抽出チーム
- ・ 手順
論点抽出チームは、先行電力の審査資料（※）から気づき事項を抽出し、プロジェクトマネージャに報告する。
※「新規制基準適合性審査の視点及び確認事項」（原子力規制庁作成）
又は「コメント回答リスト」（各電力作成）

② 聞き取りによる抽出

- ・ 実施者
プロジェクトマネージャ
- ・ 手順
プロジェクトマネージャは、最近の当社審査において一層慎重に対処すべきものであり、先行電力の審査資料だけでは十分に確認できない事案（緊急時対策所の設計方針及び重大事故等に対する対策の有効性評価）について、先行電力への聞き取りにより詳細を確認し、気づき事項を抽出する。

4.2 審査書類の信頼性向上

(1) 審査書類作成における論点および設計進捗等の反映

- ・ 目的
先行電力の審査情報からの新たな論点、審査における審議内容及び当社の設計進捗等による変更箇所を審査書類に確実に反映させ、審査書類の内容の充実と信頼性を高める。
- ・ 実施者
プロジェクトチーム（プロジェクトマネージャ、リーダー、メンバー）

・手順

- i) プロジェクトチームが、以下の手順により審査書類を作成する。
 - a) 先行電力の審査情報から抽出された新たな論点への対応
先行電力の審査資料又は聞き取り情報から抽出された気づき事項について、新たな論点への採否を判断し、適宜、対応方針についてプロジェクト統括の確認を受け、審査書類に反映する。
また、新たに抽出した論点及びその対応については、審査方針確認会議及び審査情報共有会議で確認し、特別タスクフォースで社長に報告する。
 - b) 当社の審査における審議内容への対応
これまでの審査における審議内容を審査書類に反映する。
 - c) 当社の設計進捗等による見直しへの対応
当社による設計・評価進捗及び設備変更等に伴う見直しを審査書類に反映する。
- ii) プロジェクトチームが、エビデンスの確定・用語の統一・記述の整合性・説明の妥当性・誤記の確認等について、その適切性を確認する。

(2) 審査書類全体を把握する立場からの審査書類のレビュー

・目的

プロジェクトチームの審査書類全体を把握し、担当分野の審査書類に加え、担当分野の視点から他分野の審査書類についてもレビューすることにより、審査書類の技術的内容の妥当性を確保し、プロジェクト間の審査書類の整合性に係る信頼性を高める。

・実施者

プロジェクト統括

・手順

- i) プロジェクト統括が、専門的な知識・知見を踏まえ、プロジェクトチームが作成した審査書類を以下の観点から確認する。
 - ・担当分野における審査書類の技術的内容の妥当性、プロジェクト間の整合性
 - ・担当分野の視点を踏まえた他分野の審査書類の妥当性（分野間クロスチェック）
- ii) プロジェクト統括が、プロジェクトチームに指摘したコメントの対応結果を確認する。

(3) 審査対応の課題を改善する観点での確認

・目的

プロジェクトチームに対して審査書類の作成プロセスをレビューすることにより、規制から指摘された審査対応の課題を改善する取り組み状況を確認し、審査書類の信頼性を高める。

・実施者

規制対応向上チーム

・手順

- i) 規制対応向上チームが、規制から指摘された審査対応の課題を踏まえ、以下の視点をプロジェクトチームに明示するとともに、それらの確認方法を例示する。
 - a) 体系的な説明
 - b) 網羅的な説明
 - c) 定量的な説明
 - d) 一貫性ある説明

- e) 原子力規制庁からの指摘事項の反映
- f) 新たな論点の反映

ii) 規制対応向上チームが、プロジェクトチームによる審査書類の作成プロセスについて、上記視点を踏まえたヒアリングにより確認する。

iii) 規制対応向上チームは、ヒアリングにより指摘したコメントへの対応結果を確認する。

(4) 独立した立場からの活動実施状況の確認

・目的

審査書類の作成及びレビューの実施状況を独立した立場から客観的に確認することにより、取り組みの実施結果の信頼性を高める。

・実施者

品質保証部門（品質・安全評価グループマネージャ、チームリーダ、メンバー）

・手順

i) 品質保証部門は、論点抽出チーム・プロジェクトチーム・プロジェクト統括・規制対応向上チームが、定められた手順に従い適切に活動を実施していることを、ヒアリングと資料により確認する。

ii) 品質保証部門が、ヒアリングと資料により指摘した問題点への対応結果を確認する。

4.3 実施状況の確認と課題への対応

特別タスクフォース（社長出席）、審査情報共有会議（原子力・立地本部長出席）及び審査方針確認会議（原子力設備管理部長出席）において、定期的に取り組みの実施状況を共有するとともに、課題への対応について協議する。

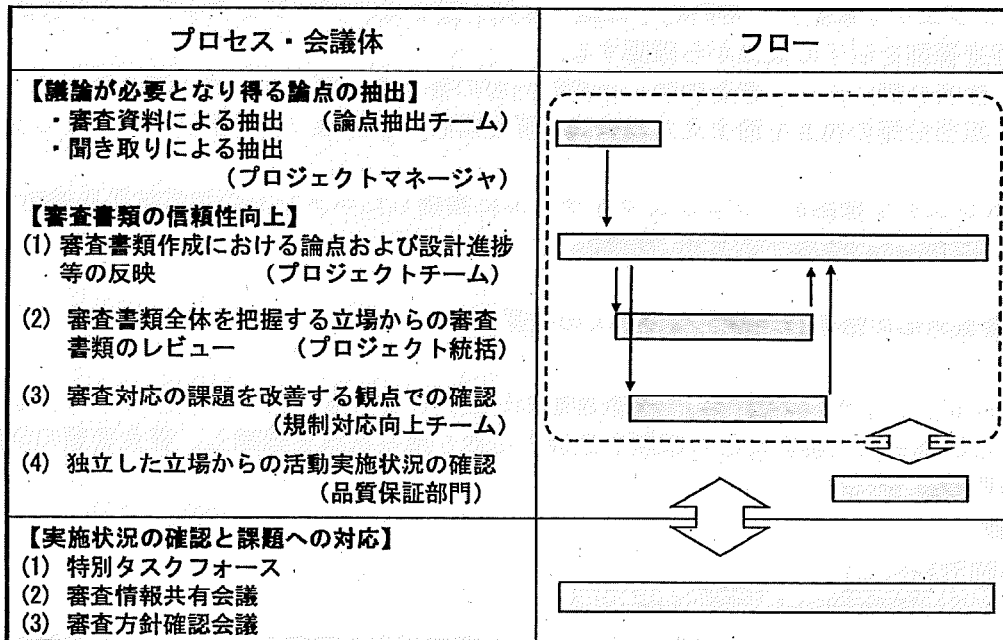


図2 取り組みフロー

20007

4.4 実施結果の確認

原子力設備管理部長が各プロセスの実施結果を確認し、その報告を受けて原子力・立地本部長が確認し、更に社長が確認する。

5. 実施結果

5.1 実施期間

上記の各プロセスにおける審査書類の作成・レビュー・確認を、本年3月9日から6月15日まで実施した。

5.2 議論が必要となり得る論点の抽出

論点抽出チーム及びプロジェクトマネージャが抽出した気づき事項及びそれらへの対応結果を添付1、これらの集約を表1に示す。

先行電力の審査資料からは46件の気づき事項を、また、聞き取り情報からは11件の気づき事項を抽出した。いずれにおいても当社として新たな論点となるような事案はなかったものの、気づき事項の内容を踏まえ、新たに5件を審査書類に反映することで、審査書類の記載内容を充実させるとともに、信頼性を高めた。

表1 先行電力の審査情報からの新たな論点の抽出に係る実施結果

確認対象・方法	事業者	抽出プラント	気づき事項	審査書類への反映	確認対象資料・情報 (頁数/コメント件数)
審査資料	関西電力	高浜1~4号炉	29	3	「新規制基準適合性審査の視点及び確認事項」 (約2,000頁)
		大飯3,4号炉	2	0	「コメント回答リスト」 (約250件)
		美浜3号炉	1	0	「コメント回答リスト」 (約150件)
	九州電力	玄海3,4号炉	5	0	「新規制基準適合性審査の視点及び確認事項」 (約1,800頁)
		川内1,2号炉	9	0	「コメント回答リスト」 (約230件)
	四国電力	伊方3号炉	0	0	「新規制基準適合性審査の視点及び確認事項」 (約1,800頁)
聞き取り	関西電力	大飯3,4号炉	11	2	聞き取り情報 (17件)
合計			57	5	

5.3 審査書類の信頼性向上

(1) 審査書類作成における論点および設計進捗等の反映結果

先行電力の論点、審議内容、設計進捗等の反映による変更は合計約8,400件あった。これらの中、審査における審議内容の反映が約400件、設計進捗等による反映が約3,000件、及び記載の拡充・適正化による反映が約5,000件あり、これらにより審査書類の記載内容を充実させるとともに、信頼性を高めた。

また、プロジェクトチームは、添付2に示すようにエビデンスの確定、用語の統一、記述の整合性、説明の妥当性等の観点から審査書類の適切性をチェックした上で、プロジェクト統括の確認を受けることで審査書類の信頼性を高めた。

(2) 審査書類全体を把握する立場からの審査書類のレビュー結果

プロジェクト統括がレビューした結果を添付3に示す。

各プロジェクト統括は、担当分野の審査書類への指摘に加え、担当分野と他分野間の連携を強化した活動により、他分野に対しても審査書類への指摘(※)を行うことで、審査書類の記載内容を充実させるとともに、信頼性を高めた。

(※) プロジェクト統括が指摘したコメントの内、約3割は相互確認によるもの

(3) 審査対応の課題を改善する観点での確認結果

規制対応向上チームが行った確認の結果を添付4に示す。

プロジェクトチームに対し、規制から指摘された審査対応の課題への取組み状況について指摘(19件)することで、審査書類の信頼性を高めた。

(4) 独立した立場からの活動実施状況の確認結果

品質保証部門が行った確認結果を添付5に示す。

プロジェクトチームへのヒアリング及び書類審査の記録により、書類審査作成プロセスの妥当性を確認するとともに、審査書類の本文と添付資料間における数値の不整合の指摘、修正指示等により、審査書類の信頼性を高めた。

5.4 実施状況の確認と課題への対応

(1) 特別タスクフォースの活動実績

社長をトップとして毎週開催し、実施状況及び課題を共有するとともに、適宜、参加メンバーにより課題の背景も踏まえて対処方針について協議し、社長が対処方針(重要課題の取り組み部署及びその連携の明確化等)を指示した。

(2) 審査情報共有会議の活動実績

原子力・立地本部長をトップとして毎日開催し、実施状況及び課題をホールディングス技術・環境戦略ユニット土木・建築室長を含む関係組織の責任者間で共有するとともに、適宜、参加メンバーにより課題への対処方針について協議し、原子力・立地本部長が対処方針(発電所を含めた取り組み要員の確保等)を指示した。

(3) 審査方針確認会議の活動実績

原子力設備管理部長をトップとして毎日開催し、実施状況及び課題を確認するとともに、適宜、参加メンバーにより課題への対処方法について協議し、原子力設備管理部長が対処方針や具体的な対処方法(審査内容を踏まえた改善方法等)を指示した。

5.5 実施結果の確認

原子力設備管理部長は、各プロセスの実施結果を添付6のとおり確認したうえで、社長及び原子力・立地本部長の確認を受けた。

6. まとめ

これまでの審査対応における当社としての反省点を踏まえ、「議論が必要となり得る論点の抽出」及び「審査書類の信頼性向上」を重点方針として、以下を実施した。

- ・ 先行電力の審査情報の精査により、当社として新たな議論となり得る事案を抽出
- ・ 審査における審議内容や当社の設計進捗等による変更を確実に審査書類に反映、

及び作成した審査書類について多面的なレビューを実施

これらの活動及び各層における会議体での実施状況と課題の共有等の活動により、審査書類の記載内容の充実と信頼性の向上を図るとともに、今後の審査においても組織として適切に活動する仕組みに改善した。

冒頭に述べた原子力安全改革を加速するための活動として、組織全体が励行すべき基本行動を「ファンダメンタルズ」としてとりまとめ、組織内への浸透を開始した（本年1月制定、3月改訂）。その中には、上位職者が絶え間ない「問いかけ」を行って組織内のコミュニケーションを活性化することや外部の立場や目線に沿って丁寧な説明を行うことなどが明文化されている。

また、社内コミュニケーションの改善・強化を目指して「内部コミュニケーションチーム」を設置し（本年3月）、組織間の壁を取り除き、連携を強化するための種々の施策を考案し、実行する活動を開始した。

これらの活動を通じて、今後の審査対応の改善に加え、継続的に原子力安全の向上に繋がるコミュニケーションを実践できる組織になるよう取り組んでいく。

以上

- 添付1 論点確認リスト
- 添付2 確認チェックシート
- 添付3 プロジェクト統括 相互確認シート
- 添付4 規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート
- 添付5 設置変更許可申請書（補正）提出に係る適切性確認の結果報告
- 添付6 実施結果の確認シート

論点確認リスト

【審査資料からの論点抽出結果】

関西電力 高浜1～4号炉、原子力規制庁「新規制基準適合性審査の視点及び確認事項」での確認結果

No.	項目	気づき事項	プロジェクト	プロジェクトマネージャの評価・対応	まとめ資料への反映の要否
1	竜巻防護施設に対する評価	<p>【高浜1～4】 竜巻防護施設に対する評価の中では緊急時対策所が登場してこない。</p> <p>【KK6/7】 5号TSCについて評価しているが、原子炉建屋屋上の生体遮蔽に対する言及がない。</p>	6条 外部事象 竜巻	<p>【評価】 先行電力では、クラス1～2(クラス3は、故障時の補修や代替が可能という理由で最初から除外)の設備を竜巻影響評価の対象としているため、緊急時対策所が抽出されていない。一方、当社の場合は、クラス1～3を網羅的に評価対象としたため、緊急時対策所が抽出されたもの。 5号炉原子炉建屋屋上に設置される計画の生体遮蔽については、現状は記載がない。</p> <p>【対応】 生体遮蔽については、建屋の外に設置されることから、「飛散せず機能維持可能」な旨をまとめ資料に追記する。(別添2-1の添付1-1)</p>	要
2	降下火砕物の特性の設定	<p>《審査の視点と確認事項》 「降下火砕物の特性の設定にあたっては、文献調査及び地質調査をもとに堆積厚さ、粒径、密度(乾燥状態及び湿潤状態)とし設計条件として設定することを確認」</p> <p>【高浜1～4】 設計条件として、最大層厚10cm、粒径1mm以下、密度 0.7g/cm³(乾燥状態)～1.5 g/cm³(湿潤状態)を設定。</p> <p>【KK6/7】 乾燥状態での密度について記載がない。また、設計条件として設定した粒径が異なっている。 設計条件として、最大層厚35cm、粒径8mm以下、密度 なし(乾燥状態)～1.5 g/cm³(湿潤状態)を設定。</p>	6条 外部事象 火山	<p>【評価】 密度は構造物への静的荷重の評価に用いる値であり、乾燥状態の密度は湿潤状態の密度に包含される。また、乾燥状態の密度は安全評価上使用していない。</p> <p>【対応】 「密度は構造物への静的荷重の評価に用いる値であり、乾燥状態の密度は湿潤状態の密度に包含されている」との記載をまとめ資料に追記する。</p>	要
3	耐火隔壁等による分離	<p>《審査の視点と確認事項》 「ケーブルトレイを耐火隔壁等で被覆することにより、放熱が阻害されケーブルの安全機能の低下や被覆されたケーブルトレイ内の火災時に消火ができない等の影響を確認」</p> <p>【高浜1～4】 ラッピングする箇所なし。</p> <p>【KK6/7】 ラッピングにより3時間耐火障壁を構築する。ラッピングについては耐火性能や許容電流に関する説明は十分なされているが、当該トレイのケーブル火災において消火活動ができないことへの影響に関する記載がない。</p>	8条 内部火災	<p>【評価】 3時間耐火ラッピングの内部には専用の火災感知器や消火設備は設置していないが、難燃ケーブルの採用により、火災は20分程度で自己消火する。また、当該区分のラッピング内部で火災が発生した場合は、断線や混触によって警報の発生やパラメータの変動が生じるため異常の覚知は可能であり、現場確認後、消火器などを用いて消火活動を行う。</p> <p>【対応】 8条-別添1-資料6-添付6-2に、「柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉では、火災の影響軽減対策として、一部のケーブルトレイに耐火ラッピングを施工する。耐火ラッピングを施工したケーブルトレイ内で生じる火災は、隙間が生じないようにシール処理した耐火ラッピングが閉鎖空間を形成すること、耐火ラッピング内に実証試験により自己消火性及び延焼性を確認した難燃ケーブル以外の可燃物が存在しないことから、外部には延焼せずに自己消火する。したがって、耐火ラッピングを施工したケーブルトレイには全域ガス消火設備又は局所ガス消火設備を設置しない。」と記載する。</p>	要

【他社への聞き取りによる論点抽出結果】

関西電力 大飯3, 4号炉

No.	項目	論点となった事項	プロジェクト	プロジェクトマネージャの評価・対応	まとめ資料への反映の要否
1	下部キャビティ側面ライナープレート防護対策	大飯3, 4号炉では、ライナーが破損した場合においても構造部材の支持機能が喪失しないこと、外部環境までの到達距離を考慮すると放射性ガスが外部環境へ放出されにくいことから、特段の対策は不要と整理した上で、ライナープレートを防護するために自主対策としてライナープレートの内側に防護壁を設置することになっている。	有効性評価	<p>【評価】 サンプへの溶融炉心の流入防止対策について、先行電力の防護壁の設計を参考に関連パラメータについて検討していたところ、当社プラントにおいては、ベDESTALでのデブリのポロシティの大きさによってはデブリが一部コリウムシールドを乗り越える可能性があることが評価されていなかった。</p> <p>【対応】 先行電力同様に、ポロシティの大きさによってはデブリの一部がコリウムシールドを乗り越えること、また、乗り越えたデブリがサンプに入り込みサンプ床面を侵食することによる影響評価を実施。その結果、乗り越えたデブリがサンプのライナーまでは至らないことを確認。以上をまとめ資料に反映する。</p>	要
2	居室面積、騒音対策(計コンの音)、仮眠対策(ベッド設置)	<p>大飯3, 4号炉において、緊対所居室面積の算出根拠、スペースの有効利用、騒音対策について現地調査等で更田委員から指摘され、指揮所レイアウトの大幅変更、防音壁の追加等を審査会合で回答している。</p> <p>ベット、トイレのスペースを明確にしていなかったが、至近の現地調査で要員の居住性にも配慮するようコメントがあり、限られたスペースの中で要求を満たすよう、3段ベット、トイレを加えて再配置するなどの対応を行った。</p>	緊急時対策所	<p>【評価】 当社においても緊急時対策所のスペースについては平成29年1月26日の第435回審査会合等で「狭いのではないか」との指摘を受けており、可能な限り改善を図る計画。</p> <p>【対応】 緊急時対策所スペースをより広いものとするため、待機場所を新設する設計見直しを行った。待機場所の新設とトイレ等については、以下の記載をまとめ資料(補足説明資料)に追記する。</p> <p>「ブルーム通過中において、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)に待機する要員は、室内遮蔽の内側にとどまることで不要な被ばくを抑制する設計とする。ブルーム通過時にとどまる場所には、マスク等の放射線防護資機材、水・食料、照明、トイレ等とどまっている間に必要となる資機材を保管・設置できる設計とする。とともに、トイレ等配置については待避中の安全衛生に配慮した設計とし、訓練等を通じ改善を図ることとする。」</p> <p>また、対策本部側の見通しとして、以下の記載をまとめ資料レイアウト図に追記する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5号炉緊急時対策所(対策本部)レイアウト図 ・フリーエリア(休憩・トイレ・仮眠等) 	要

確認チェックシート

対象資料：添付6 地盤(地質) 補正申請書 rev(

設置許可基準規則案文：第3条、第38条

項目：3.1～3.4(地質)

作成担当者：[redacted]

プロジェクト名称：建築年月日、番号：H29.6.5

No	確認項目	実務作成日/確認者	プロジェクトマネージャー/確認日/署名
1	エビデンスの確定	記載の参照としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、前捺印全て。) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.5 B: H29.6.5
2	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.5 B: H29.6.5
3	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、語・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.5 B: H29.6.5
4		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.5 B: H29.6.5
5		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.5 B: H29.6.5
6		説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、結果解釈に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.5
7		技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.5
8		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.5
9		KK-67号規のヒアリング、審査会までのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.5
10		発行各社の審査の観点のうち、KK-67号規にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.5
11		納記の確認	H29.6.5
12	全数	上記1～8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.5

確認子エックシート

対象資料：添付6 地盤(基礎地盤) 補正申請書

設置許可基準規則条文：第3条, 第38条

項目：3.5~3.8(基礎地盤)

作成担当者：[Redacted]

1256630

プロジェクト番号 確認年月日, 署名:

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シヤー確認日/署名
1	エビデンスの確立 記章の掲載したエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス; 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録全て。) エビデンスは, 当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.23 B: H29.5.23	H29.5.30
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.23 B: H29.5.23	
3	記章の整合性 目次の記章が, 文中の章・項の番号, 図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.23 B: H29.5.23	
4	文中に記載している数値, 単位は, 参照先の図・表と整合していること。また, 単位系が統一されていること。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.23 B: H29.5.23	
5	文中に引用している図・表番号, タイトル等が, 参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.23 B: H29.5.23	
6	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また, 取承転写に無理がなく読み立てられていること。	H29.5.23	
7	技術的検討内容に誤りが無いこと。また, 技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.5.23	
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め, 一貫性のある説明となっていること。また, 具体的な説明となっていること。	H29.5.23	
9	NK-67号題のヒアリング, 審査会合でのコメントについて, 全て対応できていること。	H29.5.23	
10	先行各社の審査の諸点のうち, NK-67号題にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.23	
11	誤記の修正	H29.5.23	
12	全般 上記1~9の確認を含め, 作成者(直接執事した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.23	

確認チェックシート

対象資料：「補正申請書 添付六 5. 地図」のうち、6/5以降の変更点についての確認チェック

設置許可基準規則条文

項目：添付六 5. 地図

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日：署名： H29.6.7 [Redacted]

No.	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確実性 （エビデンス：当該の申請書（又はまとめ資料）作成に用いた文書、記録類全て。） エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.6 B: H29.6.6	H29.6.7 [Redacted]
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.6 B: H29.6.6	[Redacted]
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、箇・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.6 B: H29.6.6	[Redacted]
4	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位異が統一されていること。特に、申請書内関連箇所（又は他分野の「まとめ資料」を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.6 B: H29.6.6	[Redacted]
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること（正しく引用していること）。特に、申請書内関連箇所（又は他分野の「まとめ資料」を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.6 B: H29.6.6	[Redacted]
6	誤脱している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.6	[Redacted]
7	右所掲資料内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.6	[Redacted]
8	申請書内関連箇所（又は他分野の「まとめ資料」との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.6	[Redacted]
9	KK-077号機のヒアリング、審査会までのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.6	[Redacted]
10	各行各社の事業の強みのうち、KK-077号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.6	[Redacted]
11	確認の履歴	H29.6.6	[Redacted]
12	全社 上記1～6の確認を含め、作成者（直接執筆した者）以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.6	H29.6.7 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料：「補正申請書 添付六 5. 地盤」のうち、6/1以降の変更点についての確認チェック

取崩許可基準規則条文
項目：添付六 5. 地盤
作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日 署名：H29.6.5 [Redacted]

No	確認項目	実施作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記述の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.2 B: H29.6.2	[Redacted] [Redacted] H29.6.5
2	用語の註	A: H29.6.2 B: H29.6.2	[Redacted]
3	用語の註	A: H29.6.2 B: H29.6.2	[Redacted]
4	記述の整合性	A: H29.6.2 B: H29.6.2	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.2 B: H29.6.2	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.2 B: H29.6.2	[Redacted]
7	説明の妥当性	[Redacted]	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、記載範囲に無理がなく積み立てられていること。	[Redacted]	[Redacted]
9	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	[Redacted]	[Redacted]
10	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted]	[Redacted]
11	RC-RT7号線のヒアリング、審議会でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted]	[Redacted]
12	先行各社の審査の観点のうち、RC-RT7号線に関する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted]	[Redacted]
12	記述の確実 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執事した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	[Redacted]	[Redacted] H29.6.5

確認チェックシート

対象資料： 補正申請書 添付書類六 6. 地震
設置許可基準規則条文： 第 8 条

項目
作成担当： [Redacted]

プロジェクト総括 確認年月日、署名： H29.5.17 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シムー 確認日/署名
1	エビデンス の整理	A: H29.5.21 B: H29.5.31	A: H29.5.31 B: [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.21 B: H29.5.31	A: H29.5.31 B: [Redacted]
3	用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	A: H29.5.21 B: H29.5.31	A: H29.5.31 B: [Redacted]
4	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.21 B: H29.5.31	A: H29.5.31 B: [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所（又は他分野の「各とめ資料」）を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.21 B: H29.5.31	A: H29.5.31 B: [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること（正しく引用していること）。特に、申請書内関連箇所（又は他分野の「各とめ資料」）を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.21 B: H29.5.31	A: H29.5.31 B: [Redacted]
7	説明の妥 当性	A: H29.5.21 B: H29.5.31	A: H29.5.31 B: [Redacted]
8	原明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に整理がなぐ積み立てられていること。	H29.5.21	[Redacted]
9	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと。	H29.5.21	[Redacted]
10	申請書内関連箇所（又は他分野の「各とめ資料」）との関係が、一貫性のある説明となっていること。また、異なる説明となっていること。	H29.5.21	[Redacted]
11	各とめ号線のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.21	[Redacted]
12	先行各社の審査の議点のうち、NCCへの号線にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.21	[Redacted]
13	全社 副記の確認 上記1~6の確認を食め、作成者（直接執筆した者）以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料：添付6 基準津波 補正申請書 (Ver. 2)

登録許可基準規則条文：第5条

項目：01(基準津波)

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.13 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンスの根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: [REDACTED] B: H29.6.13	[REDACTED] H29.6.13
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.13 B: H29.6.13	[REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.13 B: H29.6.13	[REDACTED]
4	記述の適合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.13 B: H29.6.13	[REDACTED]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: [REDACTED] B: H29.6.13	[REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル字が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: [REDACTED] B: H29.6.13	[REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.13	[REDACTED]
8	技術的参加内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.13	[REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.13	[REDACTED]
10	KK-077号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.13	[REDACTED]
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-077号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	H29.6.13	[REDACTED]
12	総記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.13	[REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：源付6 地盤(火山) 補正申請書

設置許可基準規則条文：第6条

項目：7.7(火山)

作成担当：[redacted]

1/29, 5, 31

プロジェクト総括 確認年月日, 署名: [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの徹底 [エビデンスの根拠としたエビデンスを全て収集していること。 [エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録(無全て)] エビデンスは, 本社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.23 B: H29.5.24	H29.5.31
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	A: H29.5.23 B: H29.5.24	
3	記述の整合性 目次の記述が, 文中の章・項の番号, 図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.23 B: H29.5.24	
4	文中に記載している数値, 単位は, 参照先の図・表と整合していること。また, 単位系が統一されていること。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.23 B: H29.5.24	
5	文中に引用している図・表番号, タイトル等が, 参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.23 B: H29.5.24	
7	説明の裏面性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また, 経路転換に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.24	
8	技術的検討内容に漏りが無いこと。また, 技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと。	H29.5.24	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め, 一貫性のある説明となっていること。また, 具体的な説明となっていること。	H29.5.24	
10	KK-07号機のヒアリング, 審査会合でのコメントについて, 全て対応できていること。	H29.5.24	
11	先行各社の審査の進捗のうち, KK-07号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.24	
12	鼠取の確認 上記1~6の確認を含め, 作成者(直接執筆した者)以外の3名でダブルチェックしていること。	H29.5.24	

確認シエクシート

対象資料：EP申請書 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

設置許可基準規則条文：第4条、第39条

項目：五、ロ(1)、添付資料ハ1.A、1.102(第4条、第39条)(機器)

作成担当者

プロジェクト番号 確認年月日、署名：H29.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンス の確定	エビデンス 2029.6.12	2029.6.12
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること、	エビデンス 2029.6.12	2029.6.12
3	用語の統一	用語統一表 2029.6.12	2029.6.12
4	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること、	2029.6.12
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること、また、単位系が統一されていること、 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること、	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること、また、単位系が統一されていること、 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること、	2029.6.12
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること正しく引用していること、 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること、	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること正しく引用していること、 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること、	2029.6.12
7	説明の妥当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと、また、起承転結に無理がなく組み立てられていること、	2029.6.12
8	採算的換算内容に誤りが無いこと、また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	採算的換算内容に誤りが無いこと、また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	2029.6.12
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、「真面目のある説明となっていること、また、具体的な説明となっていること、	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、「真面目のある説明となっていること、また、具体的な説明となっていること、	2029.6.12
10	KK-07号種の特許申請、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること、	KK-07号種の特許申請、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること、	2029.6.12
11	先行各社の審査の進捗のうち、KK-07号種にも関連する事項について対応が揃っていないこと、	先行各社の審査の進捗のうち、KK-07号種にも関連する事項について対応が揃っていないこと、	2029.6.12
12	保証の確実性 上記1~10の確認を含め、作成者(直接執筆者)以外の2名でダブルチェックしていること、	保証の確実性 上記1~10の確認を含め、作成者(直接執筆者)以外の2名でダブルチェックしていること、	2029.6.12

確認子エックシート

列挙資料：EP申請書 までの資料

版権許可基準規則条文：第4条、第38条

項目：五、ロ(1)、挿入資料ハ1.4、1.10.2(第4条、第39条)(機器)

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト熟達 確認年月日、署名： 2022.6.9 [Redacted]

No	確認項目	審査作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シヤー確認日/署名
1	エビデンス の確定	A: 2022.6.9 B: 2022.6.9	2022.6.9 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: 2022.6.9 B: 2022.6.9	2022.6.9 [Redacted]
3	用語の統一	A: 2022.6.9 B: 2022.6.9	2022.6.9 [Redacted]
4	条文の整合性	A: 2022.6.9 B: 2022.6.9	2022.6.9 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 2022.6.9 B: 2022.6.9	2022.6.9 [Redacted]
6	文中に引用している図・添付書、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 2022.6.9 B: 2022.6.9	2022.6.9 [Redacted]
7	説明の妥当性	A: 2022.6.9 B: 2022.6.9	2022.6.9 [Redacted]
8	技術的体系内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	A: 2022.6.9 B: 2022.6.9	2022.6.9 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	A: 2022.6.9 B: 2022.6.9	2022.6.9 [Redacted]
10	3K-5G/6G等種のにアライン、審査会合でのコメントについて、全て対応できていないこと。	A: 2022.6.9 B: 2022.6.9	2022.6.9 [Redacted]
11	先行各社の審査の論点のうち、3K-5G/6G毎種にも関連する事項について対応漏れがないこと。	A: 2022.6.9 B: 2022.6.9	2022.6.9 [Redacted]
12	誤記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	A: 2022.6.9 B: 2022.6.9	2022.6.9 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書(まとめ資料)

製造許可基準規則条文：第4条、第39条

項目：五、ロ(1)、添付資料ハ1.4(第4条、第39条)(地震)

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.9 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー シヤ-稔 稔白/署名
1	エビデンスの構築 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A H29.6.9 B H29.6.9	A H29.6.9 [Redacted]
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A H29.6.9 B H29.6.9	[Redacted]
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A H29.6.9 B H29.6.9	[Redacted]
4	文中に引用している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位換が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A H29.6.9 B H29.6.9	[Redacted]
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A H29.6.9 B H29.6.9	[Redacted]
6	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、応募締結に無理がなく組み立てられていること。	A H29.6.9 B H29.6.9	[Redacted]
7	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.9	[Redacted]
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.9	[Redacted]
9	KK-07号欄のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.9	[Redacted]
10	先行各社の審査の論点のうち、KK-07号欄にも関連する事項について対応がなされていること。	H29.6.9	[Redacted]
11	議記の確認 上層1~4の議記を含め、作成者(直接執筆者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.9	[Redacted]
12	全数	H29.6.9	H29.6.9

確認チャックシート

対象資料：EP申請書 までの資料

改善許可基準規則条文：第4条、第39条

項目：添付資料ハ1.4、1.10.2(直送)

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト批准 確認年月日、署名：H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	説明作成箇所 項目日/確認者	プロジェクトマネー ジャー 項目日/署名
1	エビデンスの確立 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録全て。)	A H29.6.6 B H29.6.6	H29.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として安易性を確認したものであること。	A H29.6.6 B H29.6.6	H29.6.12 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A H29.6.6 B H29.6.6	H29.6.12 [Redacted]
4	記述の適合性 目次の記述が、文中の章、項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A H29.6.6 B H29.6.6	H29.6.12 [Redacted]
5	文中に引用している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A H29.6.6 B H29.6.6	H29.6.12 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(広く引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A H29.6.6 B H29.6.6	H29.6.12 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記号記述に誤差がなく読み立てられていること。	A H29.6.6 B H29.6.6	H29.6.12 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	A H29.6.9	H29.6.12 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	A H29.6.9	H29.6.12 [Redacted]
10	KK-97号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	A H29.6.9	H29.6.12 [Redacted]
11	先行特許の審査の論点のうち、KK-97号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	A H29.6.9	H29.6.12 [Redacted]
12	特許の確立 上記1~4の確認を含め、作成書(直接執照した書)以外の25でダブルチェックしていること。	A H29.6.9	H29.6.12 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料 (pdf)
 設置許可基準規則条文： 第5条, 第4項
 項目： 補遺
 作成担当者： [Redacted]

プロジェクト総括 確認年月日、署名： H19.6.14

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シヤー確認日/署名
1	エビデンス の確定 記載の項目としたエビデンスを全て既述していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録全て。)	A: 2017/06/14 B: 2017/06/14	H19.6.14 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: 2017/06/14 B: 2017/06/14	H19.6.14 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: 2017/06/14 B: 2017/06/14	H19.6.14 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: 2017/06/14 B: 2017/06/14	H19.6.14 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 2017/06/14 B: 2017/06/14	H19.6.14 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 2017/06/14 B: 2017/06/14	H19.6.14 [Redacted]
7	説明の妥当性 記載している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載範囲に無理がなく組み立てられていること。	2017/06/14	H19.6.14 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	2017/06/14	H19.6.14 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	2017/06/14	H19.6.14 [Redacted]
10	KK-R7号添のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	2017/06/14	H19.6.14 [Redacted]
11	先行会社の審査の観点のうち、KK-R7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	2017/06/14	H19.6.14 [Redacted]
12	総括の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	2017/06/14	H19.6.14 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料：設計基準対象施設について、重大事故等対応設備について

設置許可基準規則条文：第6条、第43条

項目：全数(第6条)、共3・共6(第43条)

作成担当者

プロジェクト検査 確認年月日、署名：H29.6.9

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンス の確定	記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	H29.6.8
2		エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	
4	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	
5		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
7	記述の妥当性	誤用している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載範囲に無関係な事項が多く組み立てられていること。	
8		技術的論点内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、同体的な説明となっていること。	
10		KK-6.17号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	
11		各行各社の審査の最終のうら、KK-6.17号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
12	全数	確認の徹底 上掲1~6の確認を含め、作成者(正確執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.9

別紙参照

H29.6.7

その他自然

調査	河原町	項目	エビデンス No.	エビデンス1次チェック		エビデンス2次チェック		原簿1次チェック		原簿2次チェック		修正1次チェック		修正2次チェック	
				目付	チェック済	目付	チェック済	目付	チェック済	目付	チェック済	目付	チェック済	目付	チェック済
修正書	本文	(旧までの資料と重複)													
	添付書類六 7.(文書部分)				H29.5.17		H29.5.17		H29.5.17		H29.5.17		H29.5.24		H29.5.24
	添付書類六 7.(図部分)				H29.5.17		H29.5.15		H29.5.15		H29.5.15		H29.5.24		H29.5.24
	添付書類六 7.(図部分)				H29.5.17		H29.5.15		H29.5.15		H29.5.15		H29.5.24		H29.5.24
	添付書類八 1.8(文書部分)				H29.5.17		H29.5.17		H29.5.17		H29.5.17		H29.5.24		H29.5.24
	添付書類八 1.8(図部分)				H29.5.17		H29.5.17		H29.5.17		H29.5.17		H29.5.24		H29.5.24
	添付書類八 1.8(図部分)				H29.5.17		H29.5.17		H29.5.17		H29.5.17		H29.5.24		H29.5.24
	添付書類八 1.1,14				H29.5.17		H29.5.17		H29.5.17		H29.5.17		H29.5.24		H29.5.24
修正との資料	別添1-1.1.	(旧までの資料と重複)			H29.5.17		H29.5.17		H29.5.17		H29.5.17		H29.5.24		H29.5.24
	1-①			H29.5.1		H29.5.1		H29.5.18		H29.5.18		H29.5.30		H29.5.30	
	1-②~⑩														
	1-⑪			H29.5.2		H29.5.2									
	1-⑫(順石落下計算)			H29.4.27		H29.5.3									
	1-⑬(敷地面積)			H29.4.27		H29.5.3									
	1-⑭~⑯														
	1-⑰			H29.5.1		H29.5.3		H29.5.10		H29.5.10		H29.5.30		H29.5.30	
	1-⑱														
	別添1-1.2.	(対象エビデンス無)													
	別添1-1.3.	3-①~⑨													
	別添1-1.4.	4-①~④													
	別添1-1.5. [A3表]			H29.5.25		H29.5.25									
	別添1-1.6.	5-①~②		H29.5.25		H29.5.25		H29.5.25		H29.5.25		H29.5.30		H29.5.30	
	別添1-1 添付資料1	(1と重複)		H29.5.15		H29.5.15		H29.5.15		H29.5.15		H29.5.30		H29.5.30	
	別添1-1 添付資料2	表2-①,②													
	別添1-1 添付資料3	表3-①													
	別添1-1 添付資料4	表4-①~⑤													
	別添1-1 添付資料5	表4-⑥		H29.4.25		H29.4.27									
	別添1-1 添付資料6	表5-①~⑩		H29.5.2		H29.5.2		H29.5.10		H29.5.10		H29.5.30		H29.5.30	
	別添1-1 添付資料7	表5-⑪		H29.5.2		H29.5.2									
	別添1-1 添付資料8	表5-⑫		H29.5.1		H29.5.1									
	別添1-1 添付資料9	表5-⑬		H29.5.1		H29.5.1									
	別添1-1 添付資料10	表5-⑭		H29.5.1		H29.5.1									
	別添1-1 添付資料11	表5-⑮		H29.5.1		H29.5.1									
	別添1-1 添付資料12	表5-⑯		H29.5.1		H29.5.1									
	別添1-1 添付資料13	表5-⑰		H29.5.1		H29.5.1									
	別添1-1 添付資料14	表5-⑱		H29.5.1		H29.5.1									
	別添1-1 添付資料15	表5-⑲		H29.5.1		H29.5.1									
	別添1-1 添付資料16	表5-⑳		H29.5.1		H29.5.1									
	別添1-1 添付資料17	表5-㉑		H29.5.1		H29.5.1									
	別添1-2	(対象エビデンス無)													

*:斜線はエビデンス自体のチェックが不要なもの

H29.6.7



調査	項目	エピソード		原簿(全)エピソード		原簿(全)エピソード		原簿(全)エピソード		原簿(全)エピソード		原簿(全)エピソード		原簿(全)エピソード		原簿(全)エピソード		備考	
		日付	エピソード	日付	エピソード	日付	エピソード	日付	エピソード	日付	エピソード	日付	エピソード	日付	エピソード	日付	エピソード		
校正書	本文																		
	第六巻 第八	(目次と目録と索引)																	
新装との資料	2.2 火山 (No.55-59-05072)	(目次と目録と索引)																	
	目録と目録	本文	No.1	1-25-7A,11,13,22,23															
		No.2	91																
目録目録-1		No.1	3,25																
		No.2	31																
目録目録-2		No.1	3,47																
目録目録-3		No.1	11,11,22,23,27																
目録目録-4		No.1	2,2,3,37,41,63,50																
目録目録-5		No.1	3,8,15,29																
		No.2	45																
目録目録-6		No.1	3,8,15,29																
		No.2	103,118,120,122,124																
目録目録-7		No.1	31,25,27																
		No.2	83																
目録目録-8		No.1	101																
目録目録-9		No.1	1																
目録目録-10		No.1	43,53,68																
目録目録-11		No.1	35,37-1,37-2																
目録目録-12		No.2	83																
補足資料-5		No.1	3,28,33,35																
		No.2	58																
補足資料-6		No.2	69																
補足資料-7	No.2	65-1 65-2,65-4																	
補足資料-8	No.2	87																	
補足資料-9	No.1	76,77,81-2																	
補足資料-10	No.4	10,12																	
補足資料-11	No.2	97,95,71,72																	
補足資料-12	No.1	99,100																	
補足資料-13	No.2	101																	
補足資料-14	No.1	51																	
補足資料-15	No.2	52																	
補足資料-16	No.1	78																	
補足資料-17	No.2	54																	
補足資料-18	No.2	91																	
補足資料-19	No.1	12,82																	
補足資料-20	No.1	65																	
目録目録	本文																		
目録目録	本文 4.1.3	No.1	〔各エピソードファイル 目録の資料目録〕																
		No.2	160																
	本文 (参考)	No.1	〔各エピソードファイル 目録の資料目録〕																
		No.2	112																
補足資料-2	No.3	〔各エピソードファイル 目録の資料目録〕																	
	No.4																		

100-110000(4)(W)-100

100-110000(4)(W)-100

100-110000(4)(W)-100

外部火災

H29.6.7

区分	種別	品名	計量単位		数量		単価		金額		合計	
			㎡	㎡	㎡	㎡	円	円	円	円	円	円
建築費	外壁	外壁	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
	床	床	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
	天井	天井	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
設備費	空調	空調機	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
		送風機	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
		ダクト	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
		配管	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
		電気配線	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
	照明	照明機	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
		スイッチ	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
		電線	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
		器具	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
		配管	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
	配管	水道	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
		排水	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
		ガス	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
		電気	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00
		その他	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00	1000.00

※内訳等で記載がないものは、参考資料及び図面の資料に基づき推定しているものと見做す。

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 ※ まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第7条

項目 発電用原状施設への人の不意な侵入等の防止

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： [Redacted]

H29.5.31

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の種別としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: 1129.5.29 B: 1129.5.29	1129.5.29 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: 1129.5.29 B: 1129.5.29	1129.5.29 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: 1129.5.29 B: 1129.5.29	1129.5.29 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: 1129.5.29 B: 1129.5.29	1129.5.29 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 1129.5.29 B: 1129.5.29	1129.5.29 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 1129.5.29 B: 1129.5.29	1129.5.29 [Redacted]
7	記載の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	1129.5.29 [Redacted]	1129.5.29 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	1129.5.29 [Redacted]	1129.5.29 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	1129.5.29 [Redacted]	1129.5.29 [Redacted]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	1129.5.29 [Redacted]	1129.5.29 [Redacted]
11	先行各社の審査の重点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	1129.5.29 [Redacted]	1129.5.29 [Redacted]
12	全般 誤記の修正 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	1129.5.29 [Redacted]	1129.5.29 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第 8 条

項目： 本文、添ハ

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、番名： H29. 6. 13 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記述の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29. 6. 13 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、図表記載に無理がなく組み立てられていること。	H29. 6. 13 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	↑	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 誤記の確認 上記(1~8)の確認をきめ、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29. 6. 13 [Redacted]	H29. 6. 13 [Redacted]

チェック者リーダー 1129.6.13 [Redacted]

1129.6.13 [Redacted]

条文			チェック者	
6条	補正書 本文, 添八		原子炉安全技術G [Redacted] 設備技術G [Redacted] 建築技術G [Redacted] 防災安全G [Redacted] 火災防護T [Redacted] 技術計画G [Redacted] 設備技術G [Redacted] 建築技術G [Redacted] 火災防護T [Redacted] 技術計画G [Redacted] 技術計画G [Redacted] 技術計画G [Redacted]	
	本文	—		
	別添1	資料1		
		資料2		
		資料3		
		資料4		
		資料5		
		資料6		
		資料7		
		資料8		
		資料9		
資料10				
別添2	—			
別添3	—			
41条	補正書 本文, 添八			
	本文	—		
	1	—		
	2	—		
	3	—		
	4	—		
	5	—		
6	—			
43条	共7	—	設備技術G [Redacted] 工部局 [Redacted]	

確認チェックシート

対象資料：設計基準対策施設について、重大事故等対策設備について

設置許可基準規則条文：第9条、第43条

項目：全般(第9条)、共8(第43条)

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト做精 確認年月日、番名： H29.6.8

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シヤ一確認日/署名
1	エビデンス の存在	1) 図書の目録としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	2019.6.8
2		エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	
4	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	
5		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
7	図表の整合性	図表は、図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
8		図表は、図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
9		図表は、図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
10		図表は、図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
11		図表は、図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
12	全般	上記1～9の確認 上記1～9の確認を含め、作成者(直清執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	2019.6.8

項目	内容	ページ数 (項目)	2次資料						
			シナリオ シナリオ	マニュアル マニュアル	マニュアル マニュアル	マニュアル マニュアル	マニュアル マニュアル		
基本事項	1.1 社内規定	2							
	1.2 社内規定	3							
	1.3 社内規定	4							
	1.4 社内規定	5							
	1.5 社内規定	6							
	1.6 社内規定	7							
	1.7 社内規定	8							
	1.8 社内規定	9							
	1.9 社内規定	10							
	1.10 社内規定	11							
基本事項	2.1 社内規定	12							
	2.2 社内規定	13							
	2.3 社内規定	14							
	2.4 社内規定	15							
	2.5 社内規定	16							
	2.6 社内規定	17							
	2.7 社内規定	18							
	2.8 社内規定	19							
	2.9 社内規定	20							
	2.10 社内規定	21							
基本事項	3.1 社内規定	22							
	3.2 社内規定	23							
	3.3 社内規定	24							
	3.4 社内規定	25							
	3.5 社内規定	26							
	3.6 社内規定	27							
	3.7 社内規定	28							
	3.8 社内規定	29							
	3.9 社内規定	30							
	3.10 社内規定	31							
基本事項	4.1 社内規定	32							
	4.2 社内規定	33							
	4.3 社内規定	34							
	4.4 社内規定	35							
	4.5 社内規定	36							
	4.6 社内規定	37							
	4.7 社内規定	38							
	4.8 社内規定	39							
	4.9 社内規定	40							
	4.10 社内規定	41							
基本事項	5.1 社内規定	42							
	5.2 社内規定	43							
	5.3 社内規定	44							
	5.4 社内規定	45							
	5.5 社内規定	46							
	5.6 社内規定	47							
	5.7 社内規定	48							
	5.8 社内規定	49							
	5.9 社内規定	50							
	5.10 社内規定	51							
基本事項	6.1 社内規定	52							
	6.2 社内規定	53							
	6.3 社内規定	54							
	6.4 社内規定	55							
	6.5 社内規定	56							
	6.6 社内規定	57							
	6.7 社内規定	58							
	6.8 社内規定	59							
	6.9 社内規定	60							
	6.10 社内規定	61							
基本事項	7.1 社内規定	62							
	7.2 社内規定	63							
	7.3 社内規定	64							
	7.4 社内規定	65							
	7.5 社内規定	66							
	7.6 社内規定	67							
	7.7 社内規定	68							
	7.8 社内規定	69							
	7.9 社内規定	70							
	7.10 社内規定	71							
基本事項	8.1 社内規定	72							
	8.2 社内規定	73							
	8.3 社内規定	74							
	8.4 社内規定	75							
	8.5 社内規定	76							
	8.6 社内規定	77							
	8.7 社内規定	78							
	8.8 社内規定	79							
	8.9 社内規定	80							
	8.10 社内規定	81							
基本事項	9.1 社内規定	82							
	9.2 社内規定	83							
	9.3 社内規定	84							
	9.4 社内規定	85							
	9.5 社内規定	86							
	9.6 社内規定	87							
	9.7 社内規定	88							
	9.8 社内規定	89							
	9.9 社内規定	90							
	9.10 社内規定	91							
基本事項	10.1 社内規定	92							
	10.2 社内規定	93							
	10.3 社内規定	94							
	10.4 社内規定	95							
	10.5 社内規定	96							
	10.6 社内規定	97							
	10.7 社内規定	98							
	10.8 社内規定	99							
	10.9 社内規定	100							
	10.10 社内規定	101							

2017.6.8.



項目	科目	項目	項目	項目	科目別				項目	項目	項目	項目	項目				
					図書	雑誌	CD-ROM	ビデオ									
9系主とめ資料総合検索管理書様式	図書	9系主とめ資料総合検索管理書様式	9系主とめ資料総合検索管理書様式	1													
			9系主とめ資料総合検索管理書様式	1													
9系主とめ資料総合検索管理書様式	雑誌	9系主とめ資料総合検索管理書様式	9系主とめ資料総合検索管理書様式	1													
			9系主とめ資料総合検索管理書様式	1													
			9系主とめ資料総合検索管理書様式	1													
			9系主とめ資料総合検索管理書様式	1													
9系主とめ資料総合検索管理書様式	CD-ROM	9系主とめ資料総合検索管理書様式	9系主とめ資料総合検索管理書様式	1													
			9系主とめ資料総合検索管理書様式	1													
			9系主とめ資料総合検索管理書様式	1													
			9系主とめ資料総合検索管理書様式	1													
			9系主とめ資料総合検索管理書様式	1													
			9系主とめ資料総合検索管理書様式	ビデオ	9系主とめ資料総合検索管理書様式	9系主とめ資料総合検索管理書様式	1										
						9系主とめ資料総合検索管理書様式	1										
						9系主とめ資料総合検索管理書様式	1										
						9系主とめ資料総合検索管理書様式	1										
						9系主とめ資料総合検索管理書様式	1										

2017. 6. 8.

検査項目	検査項目	項目	ページ数 (点検)	項目	検査項目				検査項目							
					シナリオ	シナリオ	シナリオ	シナリオ	シナリオ	シナリオ	シナリオ	シナリオ				
基本情報	基本情報	基本情報	1													
		基本情報	2													
		基本情報	3													
		基本情報	4													
		基本情報	5													
		基本情報	6													
		基本情報	7													
		基本情報	8													
		基本情報	9													
		基本情報	10													
システム	システム	システム	11													
		システム	12													
		システム	13													
		システム	14													
		システム	15													
		システム	16													
		システム	17													
		システム	18													
		システム	19													
		システム	20													
		セキュリティ	セキュリティ	セキュリティ	21											
				セキュリティ	22											
				セキュリティ	23											
				セキュリティ	24											
				セキュリティ	25											
				セキュリティ	26											
				セキュリティ	27											
				セキュリティ	28											
				セキュリティ	29											
				セキュリティ	30											
その他	その他			その他	31											
				その他	32											
				その他	33											
				その他	34											
				その他	35											
				その他	36											
				その他	37											
				その他	38											
				その他	39											
				その他	40											

2017.6.8.



確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or EPO資料

設置許可基準規則本文：第10条

項目：特許 DGM(100), 特許料 10A, 608A 410

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト総括 確認年月日、署名：H29-63 [Redacted]

No	確認項目	資料作成場所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シヤ-確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の理題としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照系の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照系の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.9.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との重複を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な数値となっていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
10	KX-6/7号機のアリイング、審査命令でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
11	先行各社の審査の論点のうち、KX-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
12	全数 確認の確実 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]

新
補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(6.10)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
計装	H29.5.24.25	■	■

担当 箇所	No7~12の確認及びNo1~6の追加確認	
	日付	確認者
計装	H29.5.31	■

確認チェックシート

対象資料： EH申請書 or までの資料

設置許可基準規則条文： 第11条

項目： 本工場の設計書

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト名称 確認年月日 署名: H29.6.13 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンス記載の複製としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録簿全て。)	別紙参照	H29.6.13 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	
5	文中に記載している数値、単位は、申請書の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、申請書の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無違がなく組み立てられていること。	別紙参照	
8	技術的説明内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	別紙参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	別紙参照	
10	KK-6/7号機のプロトタイプ、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	別紙参照	
11	先行各社の審査の要点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	別紙参照	
12	全社 確認の確認 上記1~4の確認を含め、作成者(直接執事した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別紙参照	H29.6.12 [Redacted]

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(11条)

担当箇所	No.1～6の確認	
	日付	A B
電気	H29.5.23	■■■■ -
電気	H29.5.25	- ■■■■
電気	H29.5.29	■■■■ ■■■■
電気	H29.5.31	- ■■■■
電気	H29.6.12	■■■■ ■■■■

担当箇所	No.7～12の確認及(1)No.1～6の実施確認	
	日付	確認者
電気	H29.6.12	■■■■

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(10.11)

担当 箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
電気	H29.5.23	■■■■■	-
電気	H29.5.25	-	■■■■■
電気	H29.5.28	■■■■■	■■■■■
電気	H29.5.31	-	■■■■■
電気	H29.6.12	■■■■■	■■■■■

担当 箇所	No7～12の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者
電気	H29.6.12	■■■■■

確認チェックシート

対象資料：(印)申請書 or まとめ資料
 取組許可基準類別条文：第12条

項目：[]
 作成担当者：[]

プロジェクト総括 確認年月日 署名： 129.6.9 []

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー 確認日/署名
1	エビデンスの確立 記載の項目としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、証拠類全て。)	A: 2017.6.6 B: 2017.6.6	2019.6.6 []
2	エビデンスは、簡潔として妥当性を確認したものであること。	A: B:	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: B:	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: B:	
5	文中に引用している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 2017.6.6 B: 2017.6.6	
7	図表の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	2017.6.6 []	
8	技術的検討内容に漏れがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	2017.6.6 []	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	2017.6.6 []	
10	KK-07号欄のヒアリング、審査会台でのコメントについて、全て対応できていること。	2017.6.6 []	
11	先行各社の審査の進捗のうち、KK-07号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	2017.6.6 []	
12	全般的 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	2017.6.6 []	2019.6.6 []

確認チェックシート

対象資料：(E)申請書 or まとめ資料
設置許可基準規則条文(第14条)

項目
作成担当者

プロジェクト総括 確認年月日、番号: H29.6.13

No	確認項目	資料作成場所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー登録日/署名
1	エビデンス の確定 記載の種類としてエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29.6.12
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	▲
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に論理がなく組み立てられていること。	別紙参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	別紙参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	別紙参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査命令でのコメントについて、全て対応できていること。	別紙参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	別紙参照	
12	全版 添記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別紙参照	H29.6.12

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(14条)

担当箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
電気	H29.5.20	[Redacted]	-
電気	H29.5.20	-	[Redacted]
電気	H29.5.31	-	[Redacted]
電気	H29.6.12	[Redacted]	[Redacted]

担当箇所	No.7～12の確認及びNo.1～6の実施確認	
	日付	確認者
電気	H29.6.12	[Redacted]

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(10.1.3)

担当箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
電気	H29.6.25	[Redacted]	—
電気	H29.5.29	[Redacted]	[Redacted]
電気	H29.5.30	[Redacted]	[Redacted]
電気	H29.5.30	[Redacted]	[Redacted]
電気	H29.5.31	[Redacted]	[Redacted]
電気	H29.5.31	[Redacted]	[Redacted]
電気	H29.5.31	[Redacted]	[Redacted]
電気	H29.6.12	[Redacted]	[Redacted]

担当箇所	No7～12の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者
電気	H29.6.12	[Redacted]

確認チェックシート

対象資料 (EP申請書 or まとめ資料)

特許庁可基準規則条文: 第10条

項目: □(3)(1) or □(2)(1)

作成担当者: [Redacted]

プロジェクト総括 確認年月日, 署名: H29.6.3 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シヤー確認日/署名
1	エビデンス の整理 (エビデンスの根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス, 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.2 [Redacted]
2	エビデンスは, 当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整 合性 目次の記述が, 文中の章・項の番号, 図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値, 単位は, 参照先の図・表と整合していること。また, 単位数が統一されていること。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号, タイトル等が, 参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥 当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また, 因果関係に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また, 技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め, 一貫性のある説明となっていること。また, 具体的な根拠となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号條のヒアリング, 審査会でのコメントについて, 全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の趣旨のうち, KK-6/7号條にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般的 確認 上記1~6の確認を含め, 作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.2 [Redacted]

補正書(本文)ダブルチェック実績管理表(口(3)(i)a(k),二(2)(ii))

担当箇所	No.1~6の確認		
	科目	a	b
機械	H29.5.25	■■■■	■■■■
機械	H29.5.29	■■■■	■■■■
機械	H29.5.31	■■■■	■■■■
計装	H29.5.30	■■■■	■■■■

担当箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の追加確認	
	科目	確認者
機械	H29.6.2	■■■■
計装	H29.6.2	■■■■

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：第16条

項目：16条(送八、安全設計)

作成担当者：[redacted]

プロジェクト番号：確認年月日、署名：H29.6.13

No	確認項目	資料作成関係 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンス の確定 記載の根拠としたエビデンスを全て取揃えていること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、即座開封。)	添付資料参照	H29.6.13 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起源・経緯に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、異体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	NR-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	実行各社の審査の議点のうち、NR-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 前記の確認 上記1~4の確認を含め、作成者(直接執事した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.13 [redacted]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：第16条

項目：4.1

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：[Redacted] 2024.6.3

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記事の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	2024.6.2
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、取手紙箱に整理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的接続内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携内容、一貫性のある原則となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-#7号種のアリリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-#7号種にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	誤記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(置換執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	2024.6.2

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(4.1)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	口付	A	B
機城	H29.5.16	●	●
機城	H29.5.16,17	●	●
計装	H29.5.28	●	●

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo.1~6の実施確認	
	口付	確認者
機城	H29.6.2	●
計装	H29.6.2	●

確認チェックシート
 対象資料：EP申請書 or まとめ資料
 設置許可基準規則案文：第17条
 項目：本文
 作成担当：[redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.3

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンス の確定	A: H29.5.15 B: H29.5.23	H29.6.2 [redacted]
2		A: H29.5.15 B: H29.5.23	
3	用語の統一	A: H29.5.15 B: H29.5.23	
4	記述の整合性	A: H29.5.15 B: H29.5.23	
5		A: H29.5.15 B: H29.5.23	
6		A: H29.5.15 B: H29.5.23	
7	記述の妥当性	H29.5.15	
8		H29.5.15	
9		H29.5.15	
10		H29.5.15	
11		H29.5.15	
12	全体の確認	H29.5.23	H29.6.2 [redacted]

1 記述の整合性としてエビデンスを全て収録していること。
 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録簿全て。)

2 エビデンスは、索引として妥当性を確認したものであること。

3 用語統一書に記載されている用語に統一されていること。

4 目次の記述が、文中の章・項の番号、部・表タイトル等と整合していること。

5 文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。
 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。

6 文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。
 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。

7 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に整理がなく組み立てられていること。

8 技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術返答を含む要求事項への対応に漏れがないこと。

9 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。

10 KK-6/7号欄のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。

11 先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。

12 全体の確認
 上記1～8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。

確認チエックシート

対象資料：EP申請書 or 要約資料

設置許可基準規則条文：第17条

項目：添付八

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日 署名： H29.6.3 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シマ 確認日/署名
1	エビデンス の確立	記述の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又は要約資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	[Redacted] H29.5.2
2		エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	[Redacted]
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	[Redacted]
4	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	[Redacted]
5		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「要約資料」を参照している場合には十分に相互確認すること。	[Redacted]
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「要約資料」を参照している場合には十分に相互確認すること。	[Redacted]
7	図表の妥当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記述と図表に無理がなく組み立てられていること。	[Redacted]
8		技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要約事項への対応に漏れがないこと	[Redacted]
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「要約資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted]
10		KK-077号標のアプリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted]
11		先行各社の審査の論点のうち、KK-67号標にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted]
12	全頁	誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	[Redacted] H29.6.2

確認チェックシート

対象資料： EIP資料

設置許可基準規則条文：第24条

項目：株式会社(株)A(S), A(S), 株式会社B, 株式会社C

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29. 6. 3 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シヤー確認日/署名
1	エビデンスの適定 記載の前提としたエビデンスを全て説明していること。 (エビデンス; 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29. 5. 31 [Redacted]
2	エビデンスは、適正として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	H29. 5. 31 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	別紙参照	H29. 5. 31 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	H29. 5. 31 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29. 5. 31 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29. 5. 31 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、取組転結に無理がなく組み立てられていること。	H29. 5. 31 [Redacted]	H29. 5. 31 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと。	H29. 5. 31 [Redacted]	H29. 5. 31 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29. 5. 31 [Redacted]	H29. 5. 31 [Redacted]
10	KK-6/7号規とのアラインダ、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29. 5. 31 [Redacted]	H29. 5. 31 [Redacted]
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号規にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29. 5. 31 [Redacted]	H29. 5. 31 [Redacted]
12	全篇 誤記の確認 上記1～11の確認を含め、作成者(画押執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29. 5. 31 [Redacted]	H29. 5. 31 [Redacted]

^{本文}
 修正書(添八)ダブルチェック実績管理表(6.6)

2016年
 本文 00000000/A4

提出箇所	No.1～6の確認		
	口社	A	B
計数	H29.8.25	■■■■■	■■■■■

担当箇所	No7～12の確認及びNo1～6の実地確認	
	口社	確認者
計数	H29.5.31	■■■■■

確認チェックシート

対象資料：EP申請書

設置許可基準規則案文：第3条、第6条関連

項目：

作成担当者：

プロジェクト名称 確認年月日、署名：2024.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンス の整理 記載の項目としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録簿全て。)	H24.6.5	H24.6.12
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	H24.6.5	H24.6.12
3	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	H24.6.12	H24.6.12
4	記述の誤 全件 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	H24.6.12	H24.6.12
5	文中に引用している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単に表が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H24.6.12	H24.6.12
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H24.6.12	H24.6.12
7	説明の妥 当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく積み立てられていること。	H24.6.12	H24.6.12
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H24.6.12	H24.6.12
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、異体 的な説明となっていること。	H24.6.12	H24.6.12
10	KC-6/7号補のピアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H24.6.12	H24.6.12
11	発行巻頭の審査の諸点のうち、KC-6/7号補にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H24.6.12	H24.6.12
12	全取 前記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H24.6.12	H24.6.12

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第33条

項目： 本文・安全設計・添付

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.13 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンスの 確定	記載の参照したエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て、) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	H29.6.12 [Redacted]
2	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	
3	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。 文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合は十分に相互確認すること。	
4	説明の妥当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。 技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	
5		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(互換性)を十分に相互確認すること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合は十分に相互確認すること。	
6		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	
7		KK-9.7号條のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	
8		先行各社の審査の諸点のうち、KK-6.7号條にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
9		図記の確認 上記1~5の確認を含め、作成者(直達執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.12 [Redacted]

補正書(本文)ダブルチェック実績管理表(口(3)(i)a(ab),又(1)(2)(i)~(iii))

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
電気	H29.5.28	■■■■	-
電気	H29.5.29	-	■■■■
電気	H29.5.30	■■■■	■■■■
電気	H29.5.31	-	■■■■
電気	H29.6.12	■■■■	■■■■

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
電気	H29.6.12	■■■■

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(33条)

担当箇所	No.1~5の確認		
	日付	A	B
電気	H28.5.28	■■■■	-
電気	H28.5.29	-	■■■■
電気	H28.5.31	-	■■■■
電気	H29.6.12	■■■■	■■■■

担当箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
電気	H29.6.12	■■■■

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(10.1.3)

担当 箇所	No.1～6の確認	
	口付	確認者
電気	H29.5.29	-
電気	H29.5.30	
電気	H29.5.30	
電気	H29.5.30	
電気	H29.5.31	
電気	H29.5.31	
電気	H29.5.31	
電気	H29.6.12	

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo.1～6の更新確認	
	口付	確認者
電気	H29.6.12	

確認チェックシート

対象資料： IP申請書 or まとめた資料

設置許可基準規則条文： 第35条、62条

項目： □(3)(1)X(ad) □(3)(vii)

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日： 署名： H29.6.13 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の複製としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.13 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	添付資料参照	
4	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記項転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的価値内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号補のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の進捗のうち、KK-6/7号補にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全頁 誤記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.13 [Redacted]

補正書(本文)ダブルチェック実績管理表(口(3)(i)(ad),(又(3)(vii))

35.52

担当 部署	No.1~6の確認		
	日付	人	ヨ
電気	H29.5.30	[REDACTED]	[REDACTED]
電気	H29.6.13	[REDACTED]	[REDACTED]

担当 部署	No.7~12の確認及びNo.1~6の実施確認	
	日付	確認者
電気	H29.6.13	[REDACTED]

確認シート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：第35条

項目：35条(第8、安全設計)

作成担当者：[redacted]

プロジェクト名称：確認年月日、番号：4分、6、13

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シキ/確認日/署名
1	エドデンス の確定	記録の複製としたエドデンスを全て収集していること。 (エドデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	H29.6.13 [redacted]
2		エドデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	↑
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	
4	記述の整合性	目次の品部が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	
5		文中に記載している数値、単位は、帯欄先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
7	説明の整合性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に懸理がなく組み立てられていること。	
8		技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	
10		KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	
11		先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
12	全篇	論記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執事した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.13 [redacted]

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(35条)

担当 部署	No.1~6の確認		
	口付	A	B
電気	H29.8.30	██████	██████
電気	H29.8.17	██████	██████

担当 部署	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	口付	確認者
電気	H29.8.13	██████

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料
 設置許可基準規則条文：第35条、62条
 項目：添付(0.12)
 作成担当者：[redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.3 [redacted]

No	確認項目	資料作成履歴 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー一覧目録/署名
1	エビデンス の整理	別紙参照	H29.6.2 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	H29.6.2 [redacted]
3	用語の統一	別紙参照	H29.6.2 [redacted]
4	記述の整合性	別紙参照	H29.6.2 [redacted]
5	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29.6.2 [redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29.6.2 [redacted]
7	説明の妥当性	H29.6.2 [redacted]	H29.6.2 [redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.2 [redacted]	H29.6.2 [redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.2 [redacted]	H29.6.2 [redacted]
10	KK-07号機のヒアリング、審査会までのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.2 [redacted]	H29.6.2 [redacted]
11	発行各社の審査の観点のうち、KK-07号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.2 [redacted]	H29.6.2 [redacted]
12	全題 図記の確認 上括1~6の範囲を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.2 [redacted]	H29.6.2 [redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第37条

項目： 有効性評価

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.9

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー/確認日/署名
1	エビデンスの羅列 記述の羅列としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類など。)	添付資料参照	H29.6.9
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、副・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	[Redacted]
7	説明の整合性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に論理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携も含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	[Redacted]
10	H5-6/7号欄のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	[Redacted]
11	発行各社の審査の進捗のうち、HX-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	[Redacted]
12	全検 誤記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9

有効性評価確認チームの体制及び確認結果（有効性評価）

● No. 1～6の確認（平成29年5月8日～平成29年6月9日）

■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■

● No. 7～11の確認

■■■■■ 平成29年6月9日

■■■■■ 平成29年6月9日

● No. 12（No. 1～6の実施確認）

■■■■■ 平成29年6月9日

以上

確認チェックシート

対象資料： EIP申請書 or までの資料

設置許可基準規則条文： 第37条

項目： 事故シナシエンス選定, PRA

作成担当者：

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.9

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャーナル/署名
1	エビデンス の類型 エビデンスは、当該の申請書(又はまでの資料)作成に用いた文書、記録類全て。)エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	H29.6.9
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	添付資料参照	
3	記述の整合性 百条の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
4	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること。また、単位異が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「までの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「までの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、結果結論に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
7	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「までの資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
9	KK-6/7号欄の「アライング」審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
10	先行各社の審査の重点のうち、KK-8/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
11	審査の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9

有効性評価確認チームの体制及び確認結果 (PRA)

● No. 1～6の確認 (平成29年5月8日～平成29年6月9日)

■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■

● No. 7～11の確認

- 平成29年6月9日 (地震PRA・津波PRA、^波船舶シナシス)
- 平成29年6月9日 (船舶シナシス、船舶LLI5-確認書)
- 平成29年6月9日 (船舶LLI5-確認書、船舶シナシス)

● No. 12 (No. 1～6の実施確認)

■■■■■ 平成29年6月9日

以上

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：-

現目：過補2.11

作成担当：[Redacted]

プロジェクト締結 締結年月日、署名：H29.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録簿全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位換が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと。	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号欄のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	表記の確実性 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆者)以外の7名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料
 設置許可基準規則条文： 第37条
 項目： 解析コード
 作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日 署名： XXXXXXXXXX H29.6.7

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの備定 記載の参照としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	H29.6.7
2	用語の説 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
3	記述の整合性 本文の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。 文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。 文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
4	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記述に精粗に無理がなく組み立てられていること。 抜本的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
5	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-67号案の対アリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の精査のうち、KK-67号案にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	表記の参照 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.7

有効性評価確認チームの体制及び確認結果（解析コード）

● No. 1～6の確認（平成29年5月8日～平成29年6月7日）

■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■

● No. 7～11の確認

■■■■■ 平成29年6月7日
■■■■■ 平成29年6月7日

● No. 12 (No. 1～6の実施確認)

■■■■■ 平成29年6月7日

以上

確認チェックシート

対象資料：(EP申請書)のまとめ資料

特許許可基準規則条文：第4/条

項目：本文、添付

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.6

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンス の整理 記載の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29.6.13 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	
4	記述の整合性 自らの記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.13 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	↑	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-1/7号章のヒアリング、審査会までのコメントについて、全て対応できていること。		
11	発行各社の審査の論点のうち、KK-1/7号章にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 納記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.13 [Redacted]	H29.6.13 [Redacted]

チェック者リーダー H29.6.13 [Redacted]

H29.6.13 [Redacted]

条文			チェック者	
8条	補正書	本文、添八	原子炉安全技術G [Redacted] 設備技術G [Redacted] 建築技術G [Redacted] 防災安全G [Redacted] 火災防護T [Redacted] 技術計画G [Redacted] 設備技術G [Redacted] 建築技術G [Redacted] 火災防護T [Redacted] 技術計画G [Redacted] 技術計画G [Redacted] 技術計画G [Redacted]	
	本文	—		
	別添1	資料1		—
		資料2		—
		資料3		—
		資料4		—
		資料5		—
		資料6		—
		資料7		—
		資料8		—
		資料9		—
資料10		—		
別添2	—			
別添3	—			
41条	補正書	本文、添八		
	本文	—		
	1	—		
	2	—		
	3	—		
	4	—		
	5	—		
8	—			
43条	共7	—	設備技術G [Redacted] 工認所 [Redacted]	

確認チェックシート

対象資料：設置変更許可申請書

設置許可基準第8条文(第43条)

項目：添付書類ハ 1.1.7 rev.01

作成担当者：

表巻本文

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.14

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの精度 (記載の欄名としたエビデンスを含めて収録していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、図録等全て。) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A:2017.6.14 B:2017.6.14	2017.6.14
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	A:2017.6.14 B:2017.6.14	2017.6.14
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A:2017.6.14 B:2017.6.14	2017.6.14
4	文中に引用している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A:2017.6.14 B:2017.6.14	2017.6.14
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(又は引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A:2017.6.14 B:2017.6.14	2017.6.14
6	論点の妥当性 総括している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に無理がなく積み立てられていること。 採択前検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	A:2017.6.14 B:2017.6.14	2017.6.14
7	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	A:2017.6.14 B:2017.6.14	2017.6.14
8	KK-877号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	A:2017.6.14 B:2017.6.14	2017.6.14
9	先行各社の審査の抽点のうち、KK-877号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	A:2017.6.14 B:2017.6.14	2017.6.14
10	画記の簡潔 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執事した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	A:2017.6.14 B:2017.6.14	2017.6.14

確認チェックシート

対象資料：設置変更許可申請書

設置許可基準規則条文：第43条

項目：本文五号ロ、添付書類八 1.17, 1.102

プロジェクト名称 設置年月日、署名：H29.6.9

作成担当者：

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー承認日/署名
1	エビデンス の確立	A: H29.6.9 B: H29.6.9	H29.6.9
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.9 B: H29.6.9	H29.6.9
3	用語の統一	A: H29.6.9 B: H29.6.9	H29.6.9
4	記述の整合性	A: H29.6.9 B: H29.6.9	H29.6.9
5	文中に記述している数値、単位は、希望書の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.9 B: H29.6.9	H29.6.9
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、希望書の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.9 B: H29.6.9	H29.6.9
7	説明の妥当性	H29.6.9	H29.6.9
8	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に論理がなく組み立てられていること。	H29.6.9	H29.6.9
9	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.9	H29.6.9
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.9	H29.6.9
10	KK-67号欄のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.9	H29.6.9
11	発行各社の審査の観点のうち、KK-67号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.9	H29.6.9
12	全表	H29.6.9	H29.6.9

確認の確立

上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or 要約資料

設置許可基準規則条文：第44条

項目：(5)(X)(1)

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.12. [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの採集 原稿の採集としてエビデンスを全て採集していること。 (エビデンス；当該の申請書(又は要約資料)作成に用いた文書、図様類全て。)	添付資料参照	H29.6.12. [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位表が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、数値転写に間違いなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の事業の進捗のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	確認の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12. [Redacted]

補正書(本文)ダブルチェック実績管理表(へ(5)(X ii))

担当 箇所	No.1～6の確認	
	日付	A B
編集	H29.6.2	■■■■
計算	H29.6.2	■■■■
編集	H29.6.9	■■■■

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者
編集	H29.6.9	■■■■
計算	H29.6.12	■■■■

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：第44条

項目：44条(派八 安全設計)

作成担当者：[redacted]

プロジェクト総括 確認年月日、署名： H29.6.12 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー 確認日/署名
1	エビデンス の確定	記載の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録等全て。)	H29.6.12 [redacted]
2		エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	
4	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	
5		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」を参照している場合には十分に相互確認すること。	
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」を参照している場合には十分に相互確認すること。	
7	説明の妥当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、結果価値に無理がなく組み立てられていること。	
8		技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと。	
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	
10		MR-1/7号欄のヒアリング、審査会台でのコメントについて、全て対応できていること。	
11		先行各社の審査の観点のうち、MR-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
12	全額	上記の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.12 [redacted]

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(44条)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
機械	H25.6.2	■■■■	■■■■
機械	H25.6.9	■■■■	■■■■

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
機械	H25.6.9	■■■■

確認シート

対象資料：EP申請書 or まとめの資料

設置許可基準規則条文：第44条

項目：6.7

作成担当者：[redacted]

プロジェクト-拡張 確認年月日、署名：H29.6.12 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確実 記載の原簿としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て、) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	H29.6.12 [redacted]
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
3	記述の整合性 自派の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
4	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起草範囲に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
7	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
9	KK-4.7号欄のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
10	先行各社の審査の論点のうち、KK-6.7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
11	申請の確認 上記1~10の確認を含め、作成者(直接執事した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第45条

項目： ホ(3)(ロ)B(a)

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマナー シキ-確認日/署名
1	エビデンス/記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある記述となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	100-6/7号条のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、100-6/7号条にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	添付資料参照	
12	誤記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：第45条

項目：49条(第8 安全設計)

作成担当者：[redacted]

プロジェクト総題 確認年月日：番号：H29.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンスの確定	添付資料参照	H29.6.12 [redacted]
2	エビデンス	添付資料参照	↑
3	用語の統一	添付資料参照	
4	記述の整合性	添付資料参照	
5	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、請求範囲に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携等、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-07号條のニアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-07号條にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全章 図記の整理 上層1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [redacted]

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(45条)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	口付	A	口
機械	H20.6.2	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H20.6.5	[REDACTED]	[REDACTED]

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の再確認	
	口付	確認者
機械	H20.6.9	[REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：印申請書 or まとめ資料
 設置許可基準規則条文：第45条
 項目：5.4
 作成担当者：[redacted]

プロジェクト経歴 確認年月日、番号：H29.6.12 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/番号
1	エビデンス記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録種全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語統一表に記載されている用語に一貫されていること	添付資料参照	
4	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起筆転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との重複を含め、一貫性のある説明となっていること。また、異体的な混在となっていないこと。	添付資料参照	
10	KK-6/7号場のアライナ、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	本行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号場にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	確認の確証 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [redacted]

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(5.4)

95

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
機械	H29.5.10	████████	████████
機械	H29.5.16,17	████████	████████
機械	H29.5.17	████████	████████
機械	H29.5.19	████████	████████
機械	H29.5.31	████████	████████
機械	H29.6.0	████████	████████

担当 箇所	No7~12の確認及びNo1~6の常駐確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.9	████████████████

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめの資料

設置許可基準規則条文：第46条

項目：ホ(3)(1)ba)

作成担当者：[redacted]

プロジェクト名称：建設年月日、署名：H29.6.12.

No	確認項目	異形作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー履歴日/署名
1	エビデンス の確定	記載の現物としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	H29.6.12 [redacted]
2		エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	↑
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	
4	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	
5		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
7	説明の妥当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に無理がなく組み立てられていること。	
8		技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	
10		KK-0/7号欄のコメントについて、全て対応できていること。	
11		先行各社の審査の論点のうち、KK-0/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
12	全般	誤記の修正 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.12 [redacted]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：第46条

項目：46条(五)八 安全設計)

作成担当者：[redacted]

プロジェクト名称 確認年月日、署名： [redacted] 2019.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確立 記載の項としてエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	2019.6.12 [redacted]
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	[redacted]
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	[redacted]
4	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	[redacted]
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	[redacted]
6	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載範囲に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	[redacted]
7	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	[redacted]
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	[redacted]
9	KK-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	[redacted]
10	実行各社の審査の議点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	[redacted]
11	上記1～5の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	[redacted]
12	全般	添付資料参照	2019.6.12 [redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめの資料

設置許可基準規則条文：第46条

項目：5.5

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー 確認日/署名
1	エビデンス の羅列 記載の重複としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめの資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(並しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む基準事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめの資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-67号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	本行各社の審査の観点のうち、KK-67号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	記述の確認 上記1-6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 XXXXXXXXXX

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(5.5)

46

担当箇所	№11～6の確認		
	日付	A	B
機械	H28.5.10	■■■■	■■■■
機械	H28.5.10,17	■■■■	■■■■
機械	H28.5.17	■■■■	■■■■
機械	H28.5.18	■■■■	■■■■
機械	H28.5.18	■■■■	■■■■
機械	H28.5.23	■■■■	■■■■
機械	H28.5.24	■■■■	■■■■
機械	H28.5.31	■■■■	■■■■
電気計装	H28.5.29	■■■■	■■■■
機械	H28.6.6	■■■■	■■■■
機械	H28.6.7	■■■■	■■■■
機械	H28.6.10	■■■■	■■■■

担当箇所	№7～12の確認及び№1～6の実施確認	
	日付	確認者
機械	H28.6.10	■■■■
電気	H28.6.12	■■■■
計装	H28.6.12	■■■■

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：第46条

項目：6B

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンスの確実 (記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 自文の記述が、文中の章・項の番号、目・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照元の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照元の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	記述の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記録転写に間違いなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号欄のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般的確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(6.8)

16

担当 箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
換機	H29.5.11	■	■
機材	H29.5.16	■	■
機材	H29.5.19	■	■
機材	H29.5.31	■	■
計装	H29.5.29	■	■
機材	H29.6.10	■	■
計装	H29.6.5	■	■

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo.1～6の実施確認	
	日付	確認書
機材	H29.6.10	■
計装	H29.6.5	■

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：46条、59条

項目：添付書類1-3.4

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト名称 確認年月日、番号： H29.6.7

No	確認項目	資料作成箇所 確認日の確認者	プロジェクトマネー サイン確認日/署名
1	エビデンスの根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録簿等。)	A: [Redacted] B: 2017.6.5	2017.6.6 [Redacted]
2	エビデンスは、当該として妥当性を確認したものであること。	A: B:	↓
3	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: B:	↓
4	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: 2017.6.4 B: 2017.6.4	2017.6.6 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	/
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	/
7	説明の要 当性	2017.6.5 [Redacted]	2017.6.6 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、記載基準を言明する事項への対応に漏れがないこと	2017.6.5 [Redacted]	/
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連絡を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	2017.6.5 [Redacted]	/
10	KK-67号案のピアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	2017.6.5 [Redacted]	/
11	発行各社の審査の議点のうち、KK-67号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	2017.6.5 [Redacted]	↓
12	全般 ※記の確認 上記1-9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	2017.6.5 [Redacted]	2017.6.6 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準項則条文：第47条

項目：ホ(3)(ロ)h(a)

作成担当者：[redacted]

プロジェクト続報 確認年月日、署名：H29.6.12 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 附属日/確認者	プロジェクトマネー ジャー/確認日/署名
1	エビデンスの徹底 記載の程度としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	[redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	[redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	[redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	[redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	[redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	[redacted]
8	技術的更新内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	[redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	[redacted]
10	KK-6/7号他のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	[redacted]
11	先行各社の審査の勘点のうち、KK-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	[redacted]
12	添記の確認 上層1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H27.6.12 [redacted]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基本規則条文：第47条

項目：47条(第八 安全設計)

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無難がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1～8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第47条

項目： 5.6

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]
2	エビデンスは, 当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が, 文中の章・項の番号, 図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値, 単位は, 参照先の図・表と整合していること。また, 単位系が統一されていること。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号, タイトル等が, 参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また, 起來転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また, 技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め, 一貫性のある説明となっていること。また, 具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング, 審査会合でのコメントについて, 全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち, KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め, 作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：第49条

項目：ホ(4)(V)

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成場所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、副・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：第48条

項目：48条(添八 安全設計)

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29-6-12 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	↓
12	全般 誤記の確認 上記1～11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29-6-12 XXXXXXXXXX

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(48条)

担当 箇所	No.1～6の確認	
	日付	A B
機械	H29.6.2	■■■■ ■■■■
機械	H29.6.5	■■■■ ■■■■
機械	H29.6.7	■■■■ ■■■■
機械	H29.6.10	■■■■ ■■■■

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.10	■■■■■■■■■■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第48条

項目： 5.10

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト総括 確認年月日、署名： H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス(当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。))	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載内容に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-8/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-8/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 語記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(5.10) 42

担当箇所	日付	No.1~6の確認	
		A	B
機械	H28.5.10	■■■■	■■■■
機械	H29.5.16.17	■■■■	■■■■
機械	H29.5.17	■■■■	■■■■
機械	H29.5.19	■■■■	■■■■
機械	H29.5.31	■■■■	■■■■
機械	H29.6.5	■■■■	■■■■
機械	H29.6.6	■■■■	■■■■
機械	H30.6.8	■■■■	■■■■

担当箇所	日付	No.7~12の確認及びNo.1~6の実施確認	
		A	B
機械	H29.6.9	■■■■	■■■■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめの資料

整備許可基本規則条文： 第49条

項目： R(3)(III)a

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に漏りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般的 漏記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]

補正書(本文)ダブルチェック実績管理表(リ) (3) (iii) a)

担当 箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
補機	H25.6.2	[REDACTED]	[REDACTED]
機橋	H25.6.5	[REDACTED]	[REDACTED]

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者
機橋	H25.6.9	[REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：第49条

項目：49条(浦八 安全設計)

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、番名：H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 建設日/確認者	プロジェクトマネー ジャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に漏れが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の諸点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(49条)

指通 箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
機械	H29.6.2	■	■
機械	H29.6.5	■	■
機械	H29.6.8	■	■

指通 箇所	No.7～12の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.9	■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第48条

項目： 9.2

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記述の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29-6-12 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KX-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KX-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	↓
12	全般 誤記の確認 上記1～8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(9.2)

50

担当 箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
機城	H29.5.11	■■■■■	■■■■■
機城	H29.5.10	■■■■■	■■■■■
機城	H29.5.10	■■■■■	■■■■■
機城	H29.5.31	■■■■■	■■■■■
機城	H29.6.5	■■■■■	■■■■■
機城	H29.6.6	■■■■■	■■■■■
機城	H29.6.9	■■■■■	■■■■■

担当 箇所	No7～12の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者
機城	H29.6.9	■■■■■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第50条

項目： R(3)(III)b

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認員/確認書	プロジェクトマネージャー 確認員/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基本規則条文： 第50条

項目： 50業(播八、安全設計)

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結が無種がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の議点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(50条)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
機械	H29.6.2	■■■■	■■■■
機械	H29.6.5	■■■■	■■■■
機械	H29.6.10	■■■■	■■■■

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.10	■■■■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第50条

項目： 9.3

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、巻名： H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第51条

項目： リ(3)(iii)c

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト総括 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の権限としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記承転記に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の諸点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第51条

項目： 51条(造八 安全設計)

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは, 当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が, 文中の章・項の番号, 図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値, 単位は, 参照先の図・表と整合していること。また, 単位系が統一されていること。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号, タイトル等が, 参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また, 起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また, 技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め, 一貫性のある説明となっていること。また, 具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング, 審査会合でのコメントについて, 全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の途点のうち, KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全社 原記の確認 上記1~6の確認を含め, 作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 XXXXXXXXXX

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(51条)

担当 箇所	No.1~6の確認	
	日付	A B
橋組	H29.6.2	[Redacted] [Redacted]
橋組	H29.6.3	[Redacted] [Redacted]
橋組	H29.6.3	[Redacted] [Redacted]

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
橋組	H29.6.9	[Redacted]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめの資料
 設置許可基準編制条文：第51条
 項目：9.4
 作成担当者：[redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.12 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー/原題目/署名
1	エビデンス の整理	記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめの資料)作成に用いた文書、記録類全て、) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	H29.6.12 [redacted]
2	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	
3	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	
4		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位数が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
5		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
6	説明の妥当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に無理がなく組み立てられていること。	
7		技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	
8		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめの資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	
9		KK-477号紙のエアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	
10		実行各社の審査の観点のうち、KK-477号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
11			
12	全数	型記の整理 上記1~10の確認を含め、作成者(直轄執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.12 [redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第52条

項目： R(3)(III)d

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト名称 確認年月日、署名： H19.6.12. [Redacted]

No.	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー/確認日/署名
1	エビデンスの確実 証書の複製としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H19.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の言・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記述範囲に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的範囲内容に漏りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携言明、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	各行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全数 記述の確実 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H19.6.12 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：第52条

項目：52条(第8 安全設計)

作成担当者：[redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、番号：H29.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確立 記事の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	[redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	[redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	[redacted]
5	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	[redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	[redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記号転写に無理がなく読み立てられていること。	添付資料参照	[redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	[redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	[redacted]
10	KK-07号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	[redacted]
11	先行各社の審査の跡点のうち、KK-07号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	[redacted]
12	全頁 表記の確認 上記1~5の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [redacted]

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(52条)

担当 箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
機橋	H29.6.2	■■■■	■■■■
機橋	H29.6.8	■■■■	■■■■
機橋	H29.6.10	■■■■	■■■■
計器	H29.6.5	■■■■	■■■■

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo.1～6の実施確認	
	日付	確認者
機橋	H29.6.10	■■■■
計器	H29.6.12	■■■■

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：第52条

項目：9.5

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確立	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]
2		添付資料参照	
3	用語の精	添付資料参照	
4	記述の整合性	添付資料参照	
5		添付資料参照	
6		添付資料参照	
7	説明の妥当性	添付資料参照	
8		添付資料参照	
9		添付資料参照	
10		添付資料参照	
11		添付資料参照	
12	全総	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]

1 証拠の権限としたエビデンスを全て収集していること。
(エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作版に用いた文書、記録類全て。)

2 エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。

3 用語統一表に記載されている用語に統一されていること

4 記述の整合性: 本文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。

5 文中に引用している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。
特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。

6 文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。
特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。

7 説明の妥当性: 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に無理がなく組み立てられていること。

8 技術的検討内容に過りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと

9 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。

10 KR-6/7号種のアラインング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。

11 先行各社の審査の論点のうち、KR-6/7号種にも関連する事項について対応漏れがないこと。

12 全総: 協定の確認
上記1~8の確認を含め、作成者(直接執事した者)以外の3名でダブルチェックしていること。

確認チェックシート
 対象資料：EP申請書 or まとめ資料
 該電許可基準規則条文：第53条
 項目：B(4)(前)
 作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー/確認日/署名
1	エビデンスの配定	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]
2		添付資料参照	
3	用語の統一	添付資料参照	
4	記述の整合性	添付資料参照	
5		添付資料参照	
6		添付資料参照	
7	説明の妥当性	添付資料参照	
8		添付資料参照	
9		添付資料参照	
10		添付資料参照	
11		添付資料参照	
12	全座 原記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準補則条文： 第53条

項目： 53条(第8 安全設計)

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト名称 確認年月日、番名： H29.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シキ一勝理日/署名
1	エビデンスの整合 総覧の提供としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当番の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、配線図全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(互しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起來転居に無連がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-07号通のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の履歴のうち、KK-07号通にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 諸記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(53条)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日時	A	B
機械	H29.6.2	■■■■	■■■■
機械	H29.6.5	■■■■	■■■■
機械	H29.6.6	■■■■	■■■■

担当 箇所	No.7~11の確認及びNo1~6の実施確認	
	口付	確認者
機械	H29.6.9	■■■■

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or までの資料

設置許可基準現則条文：第53条

項目：9.6

作成担当者：[redacted]

プロジェクト締結 確認年月日、署名：H29.6.12 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンス の確定	添付資料参照	H29.6.12 [redacted]
2		添付資料参照	
3	用語の統一	添付資料参照	
4	記述の整合性	添付資料参照	
5		添付資料参照	
6		添付資料参照	
7	説明の妥当性	添付資料参照	
8		添付資料参照	
9		添付資料参照	
10		添付資料参照	
11		添付資料参照	
12	全巻	添付資料参照	H29.6.12 [redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめの資料
 設置許可基準規則条文： 第54条
 項目： 二(3)(II)
 作成担当者： [Redacted]

プロジェクト名称 確認年月日、署名： H29.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー 確認日/署名
1	エビデンス の確定	記載の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	H29.6.12 [Redacted]
2		エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	↑
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	
4	記述の重 合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	
5		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
7	説明の妥 当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	
8		技術的説明内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的に説明となっていること。	
10		KK-07号機のアラインング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	
11		先行会社の審査の論点のうち、KK-07号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
12	全般	確認の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.12 [Redacted]

補正書(本文)ダブルチェック実績管理表(ニ(3)(II))

担当箇所	No.1~6の確認		
	目次	A	B
概算	H29.6.2		
計装	H29.6.2		
概算	H29.6.5		
概算	H29.6.10		
計装	H29.6.5		

担当箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	目次	確認者
概算	H29.6.10	
計装	H29.6.12	

確認チェックシート

対象資料： ①甲請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第54条

項目： 54条(第8 安全設計)

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、番号： H25.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの原典 記載の信憑性としてエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の甲請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H25.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的説明内容に漏れがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な伏線となっていること。	添付資料参照	
10	KK-67号條のヒアリング、委員会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	各行各社の審査の論点のうち、KK-67号條にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全稿 添記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の3名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H25.6.12 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料
 登録許可基準規則本文：第4条 54条
 項目：4.3
 作成担当者：[redacted]

プロジェクト軌道 確認年月日、署名：H29.6.12 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 掲載日/確認者	プロジェクトマネー ジャー/確認日/署名
1	エビデンス の確定	記載の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	H29.6.12 [redacted]
2		エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	
3	用語の誤	用語表一覧に記載されている用語に統一されていること	
4	記述の整 合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	
5		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単数系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
7	論理の妥 当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載結論に論理がなく組み立てられていること。	
8		技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的説明となっていること。	
10		KK-5/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	
11		先行各社の審査の論点のうち、KK-4/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
12	全紙 誤記の確認	上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.12 [redacted]

確認チェックシート

対象資料：重大事故等対処設備について

設置許可基準規則条文：第55条

項目：全般

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.8 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確立 記述の根拠としたエビデンスを全て収用していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、図録録全て。)	[Redacted]	H29.6.8 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。		
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること		
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。		
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。		
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、継承転結に懸念がなく組み立てられていること。	H29.6.7 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.7 [Redacted]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.7 [Redacted]	
10	66-67号條のトアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.7 [Redacted]	
11	発行各社の審査の論点のうち、KK-97号條にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.7 [Redacted]	
12	全般的 誤記の確認 上記1~4の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.7 [Redacted]	H29.6.8 [Redacted]

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(55条、本文・補足)

11/17/6,9

担当 箇所	No.1～9の確認			
	日付	A	日付	B
安全	H29.5.11		H29.5.11	
安全	H29.5.11		H29.5.15	
安全	H29.5.12		H29.5.15	
安全	H29.5.15		H29.5.15	
安全	H29.5.15		H29.5.15	
安全	H29.5.15		H29.5.19	
安全	H29.5.15		H29.5.19	
安全	H29.5.19		H29.5.19	
安全	H29.5.19		H29.5.19	
安全	H29.5.19		H29.5.16	
安全	H29.5.19		H29.5.19	
安全	H29.5.17		H29.5.17	
安全	H29.5.17		H29.5.19	
安全	H29.5.17		H29.5.19	
安全	H29.5.17		H29.5.19	
安全	H29.5.19		H29.5.19	
安全	H29.5.25		H29.5.31	
安全	H29.5.26		H29.5.31	
計装	H29.5.27		H29.5.27	
安全	H29.6.5		H29.6.5	

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準別添文：第56条

項目：リ(3)(四)F

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト名称：確認年月日、署名：H29.6.12

No	確認項目	異同確認箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー 確認日/署名
1	エビデンス の確立	記載の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録簿全て。)	H29.6.12 [Redacted]
2		エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	
4	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、脚・表タイトル等と整合していること。	
5		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位表が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
7	説明の妥当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起草段階に無理がなく組み立てられていること。	
8		技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	
10		KK-6/7号欄のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	
11		先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
12	全般	誤記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.12 [Redacted]

補正書(本文)ダブルチェック実績管理表(リ)(3)(iii)f.)

担当箇所	No.1~6の確認		
	口付	A	B
機核	H29.9.2		
機核	H29.9.9		
機核	H29.9.10		

担当箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	口付	確認者
機核	H29.9.10	

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第56条

項目： 56条(添八 安全設計)

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日 署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に靡理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の値点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 XXXXXXXXXX

補正書(安全設計)ダブルチェック実績管理表(56条)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
戦線	H29.6.2		
後方	H29.6.5		

担当 箇所	No.7~13の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
戦線	H29.6.9	

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第56条

項目： 5.7

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起來結論に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(5.7)

58

担当箇所	No1~6の確認		
	日時	A	B
機城	H29.5.10		
機城	H29.5.19		
機城	H29.5.17		
機城	H29.5.19		
機城	H29.5.23		
機城	H29.5.31		
機城	H29.5.31		
機城	H29.6.2		
機城	H29.6.8		

担当箇所	No7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日時	確認者
機城	H29.6.9	

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第57条

項目： 本文 資金計画 等

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、巻名： H29. 6. 13 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29. 6. 12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起草経路に無理がなく組み立てられていること。	別紙参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	別紙参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	別紙参照	
10	KK-6/7号機の高アリング、審査会台でのコメントについて、全て対応できていること。	別紙参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	別紙参照	
12	全般 誤記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別紙参照	↓ H29. 6. 12 [Redacted]

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(10.1.2.10.2)

担当 部署	No.1～6の確認		
	日付	A	B
電気	H29.5.30	■	-
電気	H29.5.31	■	■
電気	H29.5.31	■	■
電気	H29.5.31	-	■
電気	H29.5.31	-	■
電気	H29.5.31	-	■
電気	H29.6.1	■	■
電気	H29.6.1	-	■
機械	H29.6.2	■	-
電気	H29.6.2	-	■
電気	H29.6.2	■	■
電気	H29.6.9	■	■
電気	H29.6.9	-	■
電気	H29.6.12	■	■

担当 部署	No.7～12の確認及びNo.1～6の実施確認	
	日付	確認者
電気	H29.6.12	■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文 第58条

項目 5.4

作成担当者: [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名: H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	実行各社の審査の踏点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 調記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書

設置許可基準規則条文：第59条(原子炉制御室)

項目：EP本文、添付ハの6(計測制御設備)

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シヤ-確認日/署名
1	エビデンス の確定	記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	2017.6.12 [Redacted]
2		エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	
4	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	
5		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」を参照している場合には十分に相互確認すること。	
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」を参照している場合には十分に相互確認すること。	
7	説明の妥当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	2017.6.12 [Redacted]
8		技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」との連携含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	
10		KK-6/7号様のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	
11		先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
12	全般	誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	2017.6.12 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第59条

項目： 9.1(表、図のみ)

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス; 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記述転写に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書

設置許可基準規則条文：第61条(緊急時対策所)
 項目：EP本文、添付八の10(その他設備)
 作成担当者： [redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シヤ-確認日/署名
1	エビデンスの 確定	記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: 2017.5.31 B: 2017.5.31
2		エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	[redacted]
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	[redacted]
4	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: 2017.5.31 B: 2017.5.31
5		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 2017.5.31 B: 2017.5.31
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 2017.5.31 B: 2017.5.31
7	説明の妥当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	2017.6.12
8		技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	[redacted]
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[redacted]
10		KK-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	[redacted]
11		先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[redacted]
12	全般	誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	2017.6.12 [redacted]

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(9.1)

49

担当 箇所	No1～6の確認		
	日付	A	B
機組	H29.5.19		
機組	H29.5.19		
機組	H29.5.24		
機組	H29.5.31		
機組	H29.6.6		
機組	H29.6.9		

担当 箇所	No7～12の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者
機組	H29.6.9	

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第02条

項目： 52条(第八 安全設計)

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.13 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.13 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	[REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	添付資料参照	
12	全般 添記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.13 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第62条

項目： 10.12

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.13 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス; 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.13 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載経路に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1-6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.13 [REDACTED]

補正書(添八)ダブルチェック実績管理表(10.12)

62

担当 部署	No.1~6の確認		
	日付	A	H
電気	H29.5.30		
電気	H29.5.31		
電気	H29.6.13		

担当 部署	No7~12の確認及びNo1~6の実証確認	
	日付	確認者
電気	H29.6.13	

確認チェックシート

対象資料: 設置変更許可申請書

設置許可基準規則条文: -

項目: 本文 第八(その他設備, 記載の適正化等) プロジェクト統括 確認年月日, 署名: H29.6.15

作成担当: 2017.6.15

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンス の確立 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録類全て。)	2017.6.15 2017.6.15	2017.6.15
2	エビデンスは, 当社として妥当性を確認したものであること。	2017.6.15 2017.6.15	2017.6.15
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	2017.6.15 2017.6.15	2017.6.15
4	記述の整合性 目次の記述が, 文中の章・項の番号, 図・表タイトル等と整合していること。	2017.6.15 2017.6.15	2017.6.15
5	文中に記載している数値, 単位は, 参照先の図・表と整合していること。また, 単位系が統一されていること。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	2017.6.15 2017.6.15	2017.6.15
6	文中に引用している図・表番号, タイトル等が, 参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	2017.6.15 2017.6.15	2017.6.15
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また, 起筆直結に矛盾がなく組み立てられていること。	2017.6.15	2017.6.15
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また, 技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	2017.6.15	2017.6.15
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め, 一貫性のある説明となっていること。また, 具体的な説明となっていること。	2017.6.15	2017.6.15
10	KK-0/7号機のヒアリング, 審査会でのコメントについて, 全て対応できていること。	2017.6.15	2017.6.15
11	発行各社の要受の観点のうち, KK-0/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	2017.6.15	2017.6.15
12	全社 確認の確認 上記1~11の確認を含め, 作成者(直接執筆した者)以外の3名でダブルチェックしていること。	2017.6.15	2017.6.15

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： ー

項目： 追加1別添

作成担当者：

プロジェクト統括 確認年月日 署名: H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス)当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-4/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-4/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 添記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： -

項目： 追補2. II

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記述の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録箱全て。)	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結が無難がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-8/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-8/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	↓
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料 EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文: 技術的能力

項目: 本文

作成担当者: [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日, 署名: H29.6.7 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の複製としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録類全て。)	確認日: H29.6.4 確認者: [Redacted] 最終確認: H29.6.7	H29.6.6 [Redacted]
2	エビデンスは, 当社として妥当性を確認したものであること。	確認日: H29.6.4 確認者: [Redacted] 最終確認: H29.6.7	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	確認日: H29.6.2 確認者: 野手 [Redacted] 最終確認: H29.6.7	
4	記述の整合性 目次の記述が, 文中の章・項の番号, 図・表タイトル等と整合していること。	確認日: H29.6.2 確認者: 野手 [Redacted] 最終確認: H29.6.7	
5	文中に記載している数値, 単位は, 参照先の図・表と整合していること。また, 単位系が統一されていること。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: H29.6.2 確認者: 野手 [Redacted] 最終確認: H29.6.7	
6	文中に引用している図・表番号, タイトル等が, 参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: H29.6.2 確認者: 野手 [Redacted] 最終確認: H29.6.7	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また, 起承転結に無遅がなく組み立てられていること。	H29.6.4 [Redacted]	
8	技術的検討内容に漏れが無いこと。また, 技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.4 [Redacted]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め, 一貫性のある説明となっていること。また, 具体的な説明となっていること。	H29.6.4 [Redacted]	
10	KK-6/7号機のヒアリング, 審査会合でのコメントについて, 全て対応できていること。	H29.6.4 [Redacted]	
11	先行各社の審査の論点のうち, KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.4 [Redacted]	
12	全般 誤記の修正 上記1~8の確認を含め, 作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.4 [Redacted]	H29.6.6 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料 EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文: 技術的能力

項目: 添付書類十

作成担当者: [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名: H29.6.7 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	確認日: H29.6.4 確認者: [Redacted] 最終確認: H29.6.8 [Redacted]	H29.6.6 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	確認日: H29.6.4 確認者: [Redacted] 最終確認: H29.6.8 [Redacted]	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	確認日: H29.6.2 確認者: [Redacted] 最終確認: H29.6.8 [Redacted]	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	確認日: H29.6.2 確認者: [Redacted] 最終確認: H29.6.8 [Redacted]	
5	文中に記載している数値、単位は、参照元の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: H29.6.2 確認者: [Redacted] 最終確認: H29.6.8 [Redacted]	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照元の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: H29.6.2 確認者: [Redacted] 最終確認: H29.6.8 [Redacted]	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、結果結論に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.4 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.4 [Redacted]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.4 [Redacted]	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.4 [Redacted]	
11	先行各社の審査の諸点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.4 [Redacted]	
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.8 [Redacted]	H29.6.6 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or 主とめ資料

設置許可基準規則条文：SA対策に必要な技術的能力

項目：表

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー/確認日/署名
1	エビデンス の徹底 記載の複製したエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス、当該の申請書(又は主とめ資料)作成に用いた文書、最終報告等。)	別添参照	H29.6.11 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	
3	用語統一表に記載されている用語に一括されていること。	別添参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「主とめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(広く引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「主とめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に論理がなく組み立てられていること。	H29.6.9 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「主とめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-67号標のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行会社の要請の諸点のうち、KK-67号標にも掲載する事項について対応漏れがないこと。		
12	全編 当該の履歴 上記1-10の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.11 [Redacted]

確認シエクシート 別添

SA対策に必要な技術的能力

(表1 手順の概要)

確認日: H29.6.9

チームリーダー

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.9	[Redacted]
No.2		[Redacted]
No.3	・第一次 H29.4.20	・第一次 [Redacted]
No.4	・第二次 H29.6.9	・第二次 [Redacted]
No.5		[Redacted]
No.6		[Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめの資料

設置許可基本規則条文： SA対策に必要な技術的能力

項目： 表2

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の複製としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別添参照	H29.6.11 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.9 [Redacted]	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	[Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted]	[Redacted]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted]	[Redacted]
11	先行各社の審査の議点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted]	[Redacted]
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.11 [Redacted]

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力

(表2 必要人数・時間)

確認日: H29.6.9

チームリーダー:



確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.8	[Redacted] [Redacted]
No.2		
No.3	・第一次 H29.5.19	・第一次 [Redacted] [Redacted]
No.4		
No.5	・第二次 H29.6.3	・第二次 [Redacted] [Redacted]
No.6		

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめて資料

設置許可基準規則条文： SA対策に必要な技術的能力

項目： [redacted]

作成担当者： [redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、巻名： H29.6.2 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー確認日/要否
1	エビデンスの徹底 記載の権限としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめて資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別添参照	H29.6.2 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	[redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	[redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	[redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめて資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめて資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.29 [redacted]	[redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	[redacted]	[redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめて資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[redacted]	[redacted]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	[redacted]	[redacted]
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応遅れがないこと。	[redacted]	[redacted]
12	全般 議記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.2 [redacted]

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 ()

確認日: H29.6.2

チームリーダー:



確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.2	[Redacted]
No.2		[Redacted]
No.3	第一次 H29.4.10	[Redacted]
No.4		[Redacted]
No.5	第二次 H29.5.31	[Redacted]
No.6		[Redacted]

確認子エッセンスシート
 対象資料：ER申請書が「まともな資料」

設置許可基準規則条文：SA対象に必要な技術的能力

項目：1.2
 作成担当：[redacted]

プロジェクト名称 確認年月日、番号：H29.6.2

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シヤ-確認日/番号
1	エビデンス の確立	別添参照	H29.6.2
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	[redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まともな資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まともな資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.29	[redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まともな資料」)との関連性の、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-3/7号欄のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	誤記の検証 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執事)または7名以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.2

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1, 2)

確認日: H29.6.2 チームリーダー

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.2	[Redacted]
No.2		[Redacted]
No.3	・第一次 H29.4.13	[Redacted]
No.4		[Redacted]
No.5	・第二次 H29.5.31	[Redacted]
No.6		[Redacted]

確認チェックシート
対象資料：(記申請書 or 添付資料)

設置許可基準規則条文：SA対象に必要な技術的能力

項目：1.3
作成担当者：[Redacted]

プロジェクト番号 確認年月日 要名：H29.6.2

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シフト確認日/要名
1	エビデンス記載の表としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録簿等。)	別途参照	H29.6.2
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別途参照	[Redacted]
3	用語表に記載されている用語に統一されていること	別途参照	
4	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別途参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別途参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別途参照	
7	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.29	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	発行会社の番書のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	前記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の者でダブルチェックしていること。	別途参照	H29.6.2

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1,3)

確認日: H29.6.2 チームリーダー

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.2	[Redacted]
No.2		[Redacted]
No.3	・第一次 H29.4.12	・第一次 [Redacted]
No.4		
No.5	・第二次 H29.6.1	・第二次 [Redacted]
No.6		

確認チェックシート

対象資料：(EP申請書) or (まとめ資料)

該置許可基準規則条文：SA対策に必要な技術的能力

項目：1.4
作成担当者：[Redacted]

プロジェクト軌道 確認年月日、署名：H29.6.2

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー 確認日/署名
1	エビデンスの確立 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別添参照	H29.6.2
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[Redacted]
7	誤謬の突 当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.29	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む委京事項への対応に漏れがないこと	[Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted]	[Redacted]
10	KK-077号機のアリテイング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted]	[Redacted]
11	先行各社の審査の議点のうち、KK-077号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted]	[Redacted]
12	全般 調記の確認 上記1~11の確認をまとめ、作成者(直接執事した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.2

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1, 4)

確認日: H29.6.2 チームリーダー

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.2	[Redacted]
No.2	[Redacted]	[Redacted]
No.3	・第一次 H29.4.18	・第一次 [Redacted]
No.4		
No.5	・第二次	・第二次
No.6		

確認子エックシート

対象資料: EP申請書 or 要約書

設置許可基準規則条文: SA対策に必要な技術的能力

項目: 1.5
作成担当者: [Redacted]

プロジェクト番号: H29.6.2

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンス の選定	エビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録紙全て。)	H29.6.2 [Redacted]
2		エビデンスは, 当社として妥当性を確認したものであること。	
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照
4	記述の整合性	目次の記述が, 文中の章・項の番号, 図・表タイトル等と整合していること。	別添参照
5		文中に記載している数値, 単位は, 参照先の図・表と整合していること。また, 単位累が併一されていること。特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照
6		文中に引用している図・表番号, タイトル等が, 参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照
7	説明の妥当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また, 因果経路に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.30 [Redacted]
8		技術的検前内容に誤りがないこと。また, 技術基準を含む委求事項への対応に漏れがないこと	
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め, 一貫性のある説明となっていること。また, 具体的な説明となっていること。	
10		OK-67号欄のヒアリング, 審査会合でのコメントについて, 全て対応できていること。	
11		先行各社の審査の進捗のうち, OK-67号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
12	全册	図記の確認 上記1~8の記録を含め, 作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.2 [Redacted]

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1.5)

確認日: H29.6.2 チームリーダー

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.2	[Redacted]
No.2		
No.3	H29.4.18	[Redacted]
No.4		
No.5	H29.5.31	[Redacted]
No.6		

確認チェックシート

対象資料： (EP申請書) or (まとめ資料)

設置許可基準規則条文： SA対象に必要な技術的能力

項目： 1.6
作成担当者： [Redacted]

プロジェクト経歴 確認年月日、番号： H29.6.2

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/番号
1	エビデンス記載の項目としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て、)	別添参照	H29.6.2 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	[Redacted]
3	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[Redacted]
7	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.20 [Redacted]	[Redacted]
8	技術的説明内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	[Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted]	[Redacted]
10	KK-07号規のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted]	[Redacted]
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-07号規にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted]	[Redacted]
12	全照 語記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.2 [Redacted]

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1.6)

確認日: H29.6.2

チームリーダー

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.2	[Redacted]
No.2		[Redacted]
No.3	・第一次 H29.4.18	[Redacted]
No.4		[Redacted]
No.5	・第二次 H29.5.31	[Redacted]
No.6		[Redacted]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文：5A対策に必要な技術的能力

項目：1.7

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日 署名：H29.6.2 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー 確認日/署名
1	エビデンスの確立 記述の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別添参照 H29.6.2	[Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(広く引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.30 [Redacted]	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	[Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted]	[Redacted]
10	KX-677号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted]	[Redacted]
11	先行各社の審査の論点のうち、KX-677号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted]	[Redacted]
12	総記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.2 [Redacted]

確認予エックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1.7)

確認日: H29.6.2

チームリーダー:



確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.2	[Redacted]
No.2		[Redacted]
No.3	・第一次 H29.4.18	・第一次 [Redacted]
No.4		[Redacted]
No.5	・第二次 H29.5.31	・第二次 [Redacted]
No.6		[Redacted]

確認チェックシート

対象資料：(EP申請書) or (要約資料)

設置許可基準規則案文：SA対象に必要な技術的能力

項目：1.8

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.2

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの補正 記載の複製したエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又は要約資料)作成に用いた文書、出願書等。)	別添参照	H29.6.2 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	[Redacted]
3	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	
4	目次の記述が、文中の章・項の番号、節・表タイトル等と整合していること。	別添参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「要約資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「要約資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
7	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.30 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	[Redacted]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「要約資料」)との関連性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted]	
10	KK-477号規のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted]	
11	先行各社の審査の要点のうち、KK-477号規にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted]	
12	書記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.2 [Redacted]

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1.8)

確認日: H29.6.2 チームリーダー

確認項目	1	確認日	確認者
No.1		H29.6.2	[Redacted]
No.2			[Redacted]
No.3	・第一次	H29.4.17	[Redacted]
No.4			[Redacted]
No.5	・第二次	H29.5.31	[Redacted]
No.6			[Redacted]

確認チェックシート
対象資料：EP申請書 or まとめ資料

製造許可基準規則委文：SA対策に必要な技術的能力

項目：1.9
作成担当者：[redacted]

プロジェクト経緯 確認年月日、署名：H29.6.2 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンス記載の項としたエビデンスを全て収集していること。 エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別添参照	H29.6.2 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に論理がなく組み立てられていること。	H29.5.30 [redacted]	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準をきむ要求事項への対応に漏れがないこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号欄のピアリング、審査委員でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の進捗のうち、KK-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全組 確認の確証 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.2 [redacted]

確認シート別添

SA対策に必要な技術的能力 (1.9)

～)

確認日: H29.6.2 チームリーダー



確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.2	[Redacted]
No.2		
No.3	・第一次 H29.4.14	・第一次 [Redacted]
No.4		
No.5	・第二次 H29.5.31	・第二次 [Redacted]
No.6		

確認ટેક્ષ્ટシート

対象資料: EP申請書 or 要約資料

設置許可基準規則条文: SA対策に必要な技術的能力

項目: 1.10

作成担当者: [Redacted]

プロジェクト報告 確認年月日, 署名: H29.6.2 [Redacted]

No	確認項目	実務作業内容 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 直轄員/署名
1	エビデンスの確実 記述の簡潔としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス, 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録類全て。)	別添参照	H29.6.2 [Redacted]
2	エビデンスは, 当社として要資料を精選したものであること。	別添参照	[Redacted]
3	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	[Redacted]
4	記述の適合性 目次の記述が, 文中の章・項の番号, 図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	[Redacted]
5	文中に記載している数値, 単位は, 参照先の図・表と整合していること。また, 単位系が統一されていること。特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号, タイトル等が, 参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また, 継承軸組に整理がなぐ組み立てられていること。	H29.5.31 [Redacted]	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また, 技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	[Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め, 一貫性のある説明となっていること。また, 具体的な説明となっていること。	[Redacted]	[Redacted]
10	KK-07号機のヒアリング, 審査会でのコメントについて, 全て対応できていること。	[Redacted]	[Redacted]
11	先行各社の審査の要点のうち, KK-07号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted]	[Redacted]
12	全編 頭記の確認 上記1~4の確認を含め, 作成者(直轄執事した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.2 [Redacted]

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1. 10)

確認日: H29.6.2

チームリーダー

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.2	[Redacted]
No.2		[Redacted]
No.3	・第一次 H29.4.17	・第一次 [Redacted]
No.4		
No.5	・第二次 H29.5.30	・第二次 [Redacted]
No.6		

確認チャックシート

対象資料：(EP申請書) or (まとめ資料)

装置許可基準規則条文：SA対策に必要な技術的能力

項目：1,11

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：1129.6.2 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日ノ確認者	プロジェクトマネー シキヤー確認日ノ署名
1	エビデンスの確立 記述の重複としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：申請の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、出納簿全て、) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	1129.6.2 [Redacted]
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	別添参照	
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、題・表タイトル等と整合していること。	別添参照	
4	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単価系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
6	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、総称統括に無関係なく組み立てられていること。	H29.5.31 [Redacted]	
7	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと		
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との用語等の、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
9	KK-67号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。		
10	先行各社の審査の観点のうち、KK-67号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
11	前記の確認 上記1~5の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。		
12	全般	別添参照	H29.6.2 [Redacted]

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1、11)

確認日: H29.6.2 チームリーダー

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.2	[Redacted]
No.2		[Redacted]
No.3	・第一次 H29.5.13	[Redacted]
No.4		[Redacted]
No.5	・第二次 H29.6.2	[Redacted]
No.6		[Redacted]

確認デッキンシート

対象資料： EP申請書、まとめ資料

致電許可基準別添文：技術的能力

項目：112放射線物質の拡散を抑制するための手順等

作成担当者：[redacted]

プロジェクト統括 確認年月日：署名： H29.6.9 [redacted]

No	確認項目	実施作業箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/確認者
1	エビデンス の概要 (エビデンス収集の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	確認日 H29.6.9 確認者 [redacted] 最終確認日/確認者 [redacted]	プロジェクトマネージャー 確認日/確認者 H29.6.9 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	確認日 H29.6.9 確認者 [redacted] 最終確認日/確認者 [redacted]	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	確認日 H29.6.9 確認者 [redacted] 最終確認日/確認者 [redacted]	
4	記述の整 合性 頁次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	確認日 H29.6.9 確認者 [redacted] 最終確認日/確認者 [redacted]	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日 H29.6.9 確認者 [redacted] 最終確認日/確認者 [redacted]	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日 H29.6.9 確認者 [redacted] 最終確認日/確認者 [redacted]	
7	説明の妥 当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起源・経緯に無理がなく組み立てられていること。	確認日 H29.6.9 確認者 [redacted] 最終確認日/確認者 [redacted]	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準をきむ要求事項への対応に漏れがないこと	確認日 H29.6.9 確認者 [redacted] 最終確認日/確認者 [redacted]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携等、一貫性のある説明となっていること。また、具体的 な説明となっていること。	確認日 H29.6.9 確認者 [redacted] 最終確認日/確認者 [redacted]	
10	KK-47等標準のアラインング、審査会までのコメントについて、全て対応できていること。	確認日 H29.6.9 確認者 [redacted] 最終確認日/確認者 [redacted]	
11	実行会社の審査の観点のうち、KK-47/号線にも関連する事項について対応漏れがないこと。	確認日 H29.6.9 確認者 [redacted] 最終確認日/確認者 [redacted]	
12	全段 原記の検証 上記1-11の検証を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックがしていること。	確認日 H29.6.9 確認者 [redacted] 最終確認日/確認者 [redacted]	プロジェクトマネージャー 確認日/確認者 H29.6.9 [redacted]

※エビデンスチェック者：高尾/小園/中沢/国松(KT6)、酒井(KT6)/斎藤(K6直営)/塚田(K6直営)/佐藤(K計画)/
山本(K防風)/新田(K防災)

確認チェックシート

対象資料： EP申請書、**まとめ資料**

設置許可基準補則条文、SA対策に必要な技術的能力

項目： 1.13

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日 署名： H29.6.13

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンス の徹底 記述の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 [エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録紙全て、] エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照 H29.6.13	[Redacted]
2	用語の併 用 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	
3	記述の整 合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	
4	文中にお集している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 併に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、申請書の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 併に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
6	説明の妥 当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.13 [Redacted]	
7	技術的検討内容に漏れがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	[Redacted]	
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的説明となっていること。	[Redacted]	
9	KK-07号欄のニアリング、審査命令でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted]	
10	発行各社の審査の踏点のうち、KK-07号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted]	
11	論記の簡潔 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.13

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1、13)



確認日: H29.6.13 チームリーダー

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.13	[Redacted]
No.2		
No.3	・第一次 H29.5.19	[Redacted] [Redacted]
No.4		
No.5	・第二次 H29.6.2	[Redacted] [Redacted]
No.6		

確認シート

対象資料：EP申請書(※) 資料

設置許可基準規則条文：SA対策に必要な技術的能力

項目：1.1.4

作成担当者：[redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.8 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー 確認日/確認者
1	エビデンスの適定 エビデンスの根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類まで。)	別添参照	H29.6.8 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	別添参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
7	誤謬の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、継承転写に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.7 [redacted]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携関係、一貫性のある説明となっていること。また、異様な説明となっていること。		
10	KK-077号進のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-077号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	集記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.8 [redacted]

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1.14)

確認日: H29.6.17

チームリーダー: [Redacted]

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.7	[Redacted]
No.2		[Redacted]
No.3	・第一次	[Redacted]
No.4	H29.4.20	[Redacted]
No.5	・第二次	[Redacted]
No.6	H29.6.2	[Redacted]

確認チェックシート
 対象資料：EP申請書 or 要約資料

特許可基準規則条文：SA対象に必要な技術的能力
 項目：1.15
 作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、番号：H29.6.13

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記述の項目としてエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当社の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類等。)	別添参照	H29.6.13 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	
4	記述の整合性 頁次の記述が、頁中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	
5	文中に引用している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
7	記述の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起筆範囲に無意味な括弧が組み立てられていること。	H29.6.13 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を査む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、図体的な説明となっていること。		
10	KR-017号種のアライング、審査書までのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の非意の論点のうち、KR-017号種にも関連する事項について対応漏れが無いこと。		
12	全体の確認 上記1-11の確認を含め、作成者(直接執事した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.13 [Redacted]

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1.15)

確認日: H29.6.12 チームリーダー



確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.10	[Redacted]
No.2		
No.3	・第一次	[Redacted]
No.4	H29.4.24	
No.5	・第二次	[Redacted]
No.6	H29.6.6	

確認チェックシート
対象資料： 印申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： SA対策に必要な技術的能力

項目： 1/6
作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、番号： H29.6.8 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シキ一部項目/番号
1	エビデンスの指定 記述の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録用紙等。)	別添参照	H29.6.8 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	[Redacted]
3	用語統一者に採録されている用語に統一されていること	別添参照	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	[Redacted]
5	文中に引用している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[Redacted]
6	文中に引用している語・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(注)引用していること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	[Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、経年経時に兼用がなぐ組み立てられていること。	H29.6.7 [Redacted]	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	[Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted]	[Redacted]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted]	[Redacted]
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted]	[Redacted]
12	誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の者でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.8 [Redacted]

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力 (1.16)

確認日: H29.6.7 チームリーダー: [Redacted]

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.7	[Redacted]
No.2		[Redacted]
No.3	H29.4.18	[Redacted]
No.4		[Redacted]
No.5	H29.6.2	[Redacted]
No.6		[Redacted]

確認チェックシート

対象資料：「まとめ資料

設置許可基準規則条文：SA対応の改訂受入経緯的資料

項目：1.17

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト経緯 確認年月日、署名： H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シマ-確認日/署名
1	エビデンス の確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	H29.4.26 [REDACTED]	H29.6.12 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	H29.4.26 [REDACTED]	[REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	H29.6.9 [REDACTED]	[REDACTED]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章、項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	H29.6.9 [REDACTED]	[REDACTED]
5	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.6.9 [REDACTED]	[REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.6.9 [REDACTED]	[REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.4.9 [REDACTED]	[REDACTED]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.6.9 [REDACTED]	[REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.9 [REDACTED]	[REDACTED]
10	PK-67号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.9 [REDACTED]	[REDACTED]
11	発行各社の審査の論点のうち、PK-67号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.9 [REDACTED]	[REDACTED]
12	申請の簡潔 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.9 [REDACTED]	H29.6.12 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書(※) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

対象資料：EP申請書(※) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

設置許可基準規程条文、技術的協力

項目：1.18緊急時対策所の居住性に関する手順等

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト番号：H29.6.15

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/確認者
1	エビデンスの根拠としてエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作業に用いた文書、記録等全て。)	確認日:H29.6.15 確認者:池田/権貴/本島/香川/野手/廣瀬 最終確認日:H29.6.15	H29.6.15
2	エビデンスは、単独として妥当性を確認したものであること。	確認日:H29.6.15 確認者:池田/権貴/本島/香川/野手/廣瀬 最終確認日:H29.6.15	
3	用語統一表に記載されている用語に一括一されていること。	確認日:H29.6.15 確認者:池田/権貴/本島/香川/野手/廣瀬 最終確認日:H29.6.15	
4	記述の整合性	確認日:H29.6.15 確認者:池田/権貴/本島/香川/野手/廣瀬 最終確認日:H29.6.15	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日:H29.6.15 確認者:池田/権貴/本島/香川/野手/廣瀬 最終確認日:H29.6.15	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(広く引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日:H29.6.15 確認者:池田/権貴/本島/香川/野手/廣瀬 最終確認日:H29.6.15	
7	説明の妥当性	確認日:H29.6.15 確認者:池田/権貴/本島/香川/野手/廣瀬 最終確認日:H29.6.15	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと。	確認日:H29.6.15 確認者:池田/権貴/本島/香川/野手/廣瀬 最終確認日:H29.6.15	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	確認日:H29.6.15 確認者:池田/権貴/本島/香川/野手/廣瀬 最終確認日:H29.6.15	
10	KR-6/7号機のエアリング、審査委員会でのコメントについて、全て対応できていること。	確認日:H29.6.15 確認者:池田/権貴/本島/香川/野手/廣瀬 最終確認日:H29.6.15	
11	実行委員の審議の論点のうち、KR-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	確認日:H29.6.15 確認者:池田/権貴/本島/香川/野手/廣瀬 最終確認日:H29.6.15	
12	確認の履歴 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執理した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	確認日:H29.6.15 確認者:池田/権貴/本島/香川/野手/廣瀬 最終確認日:H29.6.15	H29.6.15

確認プロジェクト
対象資料：EP申請書(まとめ資料)

設置許可基準規則全文：技術的能力

項目：1.19通信運送に関する手順等

作成担当者：[redacted]

プロジェクト統括 確認年月日：署名： [redacted] H29.6.2

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの相違 記載の種別としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：申請の申請書(又はまとめ資料)作部に用いた文書、添付資料にて。)	確認日: H29.6.2 確認者: 尾形/大塚/尾形 最終確認: H29.6.2	H29.6.2
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	確認日: H29.6.2 確認者: 尾形/大塚/尾形 最終確認: H29.6.2	[redacted]
3	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	確認日: H29.6.2 確認者: 尾形/大塚/尾形 最終確認: H29.6.2	[redacted]
4	記述の整合性 当該の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	確認日: H29.6.2 確認者: 尾形/大塚/尾形 最終確認: H29.6.2	[redacted]
5	文中に引用している数値、単位は、申請書の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: H29.6.2 確認者: 尾形/大塚/尾形 最終確認: H29.6.2	[redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: H29.6.2 確認者: 尾形/大塚/尾形 最終確認: H29.6.2	[redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記述に暗に論理がなく組み立てられていること。	確認日: H29.6.2 確認者: 尾形/大塚/尾形 最終確認: H29.6.2	[redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準をきむ要求事項への対応に漏れが無いこと	確認日: H29.6.2 確認者: 尾形/大塚/尾形 最終確認: H29.6.2	[redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携性、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	確認日: H29.6.2 確認者: 尾形/大塚/尾形 最終確認: H29.6.2	[redacted]
10	KK-ル/号種のエイリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	確認日: H29.6.2 確認者: 尾形/大塚/尾形 最終確認: H29.6.2	[redacted]
11	発行各社の事業の該当の点のうち、KK-ル/号種にも関連する事項について対応漏れがないこと。	確認日: H29.6.2 確認者: 尾形/大塚/尾形 最終確認: H29.6.2	[redacted]
12	類似の項目 上記1~11の確認をきめ、作成書(直接執事した書)以外の2名でダブルチェックしていること。	確認日: H29.6.2 確認者: 尾形/大塚/尾形 最終確認: H29.6.2	H29.6.2

確認チェックシート

対象資料：印申請書、写真、捺印済の申請書、
 取組許可要項規則案文、募集要項、
 取組可能者募集要項、
 取組可能者募集要項、
 取組可能者募集要項

プロジェクト名称：[redacted]、[redacted]
 年度：H29.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/確認者
1	エビデンスの適正 (エビデンス、当該の申請書(又はその資料)作成に用いた文書、記録等全て。)	[redacted]	[redacted]
2	エビデンスは、直接の転記(転写)に加え、当社としてそれ以上の裏取り確認ができないもの(一次エビデンス)を提出していること。	[redacted]	[redacted]
3	原子力発電管理システムの管理フォルダに保存されている用語統一表に記載されている用語に統一されていること	[redacted]	[redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	[redacted]	[redacted]
5	文中に引用している図表、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	[redacted]	[redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	[redacted]	[redacted]
7	記載の整合性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	[redacted]	[redacted]
8	技術的論点内容及び記載すべき事項に誤り、漏れがないこと。(技術基準を含む要求事項への対応を含む)	[redacted]	[redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な記載となっていること。	[redacted]	[redacted]
10	KK-077号規のリアリィング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	[redacted]	[redacted]
11	実行負荷の審査の観点のうち、KK-077号規にも該当する事項について対応漏れがないこと。	[redacted]	[redacted]
12	全般的 リアリィング、審査会でのコメントについて、工部、保安規定、マニュアル、手順書等の仕工程でも所定が必要な事項が引き継がれていること。	[redacted]	[redacted]
13	図記の確認 上記1～12の確認を含め、作成書(直筆執筆した書)以外の全てでダブルチェックしていること。	H29.6.12 [redacted]	H29.6.12 [redacted]

プロジェクトマネージャー

確認チェックシート

対象資料： 取組図書 of ままめ資料

添付 P.77 以降
取組可能能力審査基準
項目： 大塚建設様

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト総括 確認年月日、署名： 1999.6.11

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シフト確認日/署名
1	取組の概要としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	1999.6.11 [Redacted]	1999.6.11 [Redacted]
2	エビデンスは、取組の総記(申請書)に加え、当社としてそれ以上の取り違えがでないもの(二次エビデンス)を 確定していること。	↑	↑
3	電子ファイル管理システムの管理フォルダに保存されている用語集一式に記載されている用語に統一されていること。	↑	↑
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	↑	↑
5	文中に記述している数値、単位は、申請書の図・表と整合していること。また、単位換算が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	↑	↑
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、申請書の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	↑	↑
7	取組の発 願書 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、取組総括に矛盾がなく組み立てられていること。	↑	↑
8	技術的検討内容及び記載すべき事項に誤り、漏れが無いこと。(技術基準を含む要求事項への対応を含む)	↑	↑
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的 な事項となっていること。	↑	↑
10	RK-17号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	↑	↑
11	本行各社の審査の調達のうち、RK-17号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	↑	↑
12	ヒアリング、審査会でのコメントについて、工務、保安規定、マニュアル、手順書等の後工程でも対応が必要な事 項が引き継がれていること。	↑	↑
13	取組の発 願書 上1～12の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	1999.6.11 [Redacted]	1999.6.11 [Redacted]

77頁の77頁

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 or までの資料

原子炉専規制法条文：第43条の3の6

項目：第1項第2号(経理的基礎)

作成担当者：[redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.4

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンスの充足 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまでの資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.6.4 B: H29.6.4	H29.6.4
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.4 B: H29.6.4	H29.6.4
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.4 B: H29.6.4	H29.6.4
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.4 B: H29.6.4	H29.6.4
5	文中に記載している数値、単位は、申請書の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「までの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.4 B: H29.6.4	H29.6.4
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「までの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.4 B: H29.6.4	H29.6.4
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載順序に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.4	H29.6.4
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.4	H29.6.4
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「までの資料」)との重複を含め、一意性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.4	H29.6.4
10	KK-6/7号機のエブリッジ、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.4	H29.6.4
11	先行各社の審査の要点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.4	H29.6.4
12	全般 記載の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.4	H29.6.4

確認チェックシート
対象資料： ①申請書 or ②実務資料

設置許可基準規則条文： ①
項目： 添付書類四
作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日 署名： H29.6.9 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 発注日/確認者	プロジェクトマネー ジャー登録日/署名
1	エビデンスの確定 ①エビデンスを全て収集していること。 ②エビデンス：申請の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。 ③エビデンスは、当該として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.9 B: H29.6.9	H29.6.9 [Redacted]
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.9 B: H29.6.9	H29.6.9 [Redacted]
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.9 B: H29.6.9	H29.6.9 [Redacted]
4	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.9 B: H29.6.9	H29.6.9 [Redacted]
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.9 B: H29.6.9	H29.6.9 [Redacted]
6	説明の整合性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.9	H29.6.9 [Redacted]
7	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.9	H29.6.9 [Redacted]
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.9	H29.6.9 [Redacted]
9	KK-6/7号準則とアライン、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.9	H29.6.9 [Redacted]
10	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号準則にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.9	H29.6.9 [Redacted]
11	論点の補正 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.9	H29.6.9 [Redacted]
12	全般	H29.6.9	H29.6.9 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or 主たる資料 rev1

電子規程規程法条文： 第43条の3の6

項目： 第1語言2号（技術的輸入）

作成担当書： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.7

No	確認項目	資料作成箇所 図号/図記号	プロジェクトマネー ジ—図号日/年月
1	エビデンスの確実 記事の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又は主たる資料)作成に用いた文書、記録簿全て。)	A: H29.6.6 B: H29.6.6	H29.6.6
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.6 B: H29.6.6	H29.6.6
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.6 B: H29.6.6	H29.6.6
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・条の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.6 B: H29.6.6	H29.6.6
5	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単体系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.6 B: H29.6.6	H29.6.6
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.6 B: H29.6.6	H29.6.6
7	図表の妥当性 図表している内容に矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.6	H29.6.6
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術選考を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.6.6	H29.6.6
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)との連絡を含め、一意性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.6	H29.6.6
10	KK-6/7号欄のヒアリング、審査会台でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.6	H29.6.6
11	実行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.6	H29.6.6
12	全体の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆者)以外の名でダブルチェックしていること。	H29.6.6	H29.6.6

確認チェックシート

対象資料：添付6 地盤(地質) まとめ資料 [rev. 2]

設置許可基準規則条文：第3条、第38条

項目：3.1~3.4(地質)

作成担当者： []

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.14 []

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記述の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録簿全て。)	A: H29.6.14 [] B: H29.6.14 []	H29.6.14 []
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.14 [] B: H29.6.14 []	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.14 [] B: H29.6.14 []	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.14 [] B: H29.6.14 []	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.14 [] B: H29.6.14 []	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.14 [] B: H29.6.14 []	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.14 []	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.6.14 []	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.14 []	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.14 []	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.14 []	
12	全般 確認の確証 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.14 []	

確認チェックシート

対象資料：附付B 地盤(基礎地盤) 集約資料

設置許可基準規則条文：第3条, 第38条

項目：3.5~3.8(基礎地盤)

作成担当者：[REDACTED]

H29.5.30

プロジェクト統括 確認年月日, 署名: [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の種別としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又は集約資料)作成に用いた文書, 記録類全て。)	A: H29.5.24 [REDACTED] B: H29.5.24 [REDACTED]	H29.5.30 [REDACTED]
2	エビデンスは, 当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.24 [REDACTED] B: H29.5.24 [REDACTED]	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.24 [REDACTED] B: H29.5.24 [REDACTED]	
4	記述の整合性 目次の記述が, 文中の章・項の番号, 図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.24 [REDACTED] B: H29.5.24 [REDACTED]	
5	文中に記載している数値, 単位は, 参照先の図・表と整合していること。また, 単位系が統一されていること。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「集約資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.24 [REDACTED] B: H29.5.24 [REDACTED]	
6	文中に引用している図・表番号, タイトル等が, 参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「集約資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.24 [REDACTED] B: H29.5.24 [REDACTED]	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また, 起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.24 [REDACTED]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また, 技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.5.24 [REDACTED]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「集約資料」)との連携を含め, 一貫性のある説明となっていること。また, 具体的な説明となっていること。	H29.5.24 [REDACTED]	
10	KK-6/7号機のヒアリング, 審査委員会でのコメントについて, 全て対応できていること。	H29.5.24 [REDACTED]	
11	先行各社の審査の重点のうち, KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	H29.5.24 [REDACTED]	
12	全般 確認の履歴 上記1~8の確認を含め, 作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.24 [REDACTED]	

確認チェックシート

対象資料：「基準地震動の策定について(まとめ資料)」のうち、6/5以降の変更点についての確認チェック

設置許可基準規則条文：

項目：添付六 6. 地震

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.7 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.6.7 [REDACTED] B: H29.6.7 [REDACTED]	H29.6.7 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.7 [REDACTED] B: H29.6.7 [REDACTED]	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.7 [REDACTED] B: H29.6.7 [REDACTED]	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.7 [REDACTED] B: H29.6.7 [REDACTED]	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.7 [REDACTED] B: H29.6.7 [REDACTED]	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.7 [REDACTED] B: H29.6.7 [REDACTED]	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、経路経結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.7 [REDACTED]	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと。	H29.6.7 [REDACTED]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.7 [REDACTED]	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.7 [REDACTED]	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-4/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.7 [REDACTED]	
12	全般 確認の流程 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.7 [REDACTED]	H29.6.7 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：「基準地震動の算定について(まとめ資料)」のうち、0/1以降の変更点についての確認チェック

設置許可基準規則条文：

項目：添付六 5. 地震

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.5 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記述の概要としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録冊全て。)	A: H29.6.2 [REDACTED] B: H29.6.2 [REDACTED]	H29.6.5 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.2 [REDACTED] B: H29.6.2 [REDACTED]	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.2 [REDACTED] B: H29.6.2 [REDACTED]	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.2 [REDACTED] B: H29.6.2 [REDACTED]	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.2 [REDACTED] B: H29.6.2 [REDACTED]	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.2 [REDACTED] B: H29.6.2 [REDACTED]	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.2 [REDACTED]	
8	技術的検討内容に漏れが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.2 [REDACTED]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.2 [REDACTED]	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.2 [REDACTED]	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.2 [REDACTED]	
12	全般： 箇記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.2 [REDACTED]	H29.6.5 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： まとめ資料 基準地震動の策定について

設置許可基準規則条文： 第 4 条

項目：

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.5.31 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確立 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、結果結論に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと。	H29.5.31	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審議会会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31	
12	全般 誤記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：添付6 基準译波 まとめ資料 (1stV.2)

設置許可基準規則条文：第5条

項目：(基準译波)

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.13 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.6.13 B: H29.6.13	H29.6.13 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.13 B: H29.6.13	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.13 B: H29.6.13	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.13 B: H29.6.13	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.13 B: H29.6.13	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.13 B: H29.6.13	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果経路に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.13 [REDACTED]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.13 [REDACTED]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.13 [REDACTED]	
10	KK-6/7号機のヒアリング、委員会会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.13 [REDACTED]	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	H29.6.13 [REDACTED]	
12	全稿 誤記の確認 上記1～9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.13 [REDACTED]	↓

確認チェックシート

対象資料：添付6 地盤(火山) まとめ資料 (Rev. 2)

設置許可基準規則条文：第6条

項目：7.7(火山)

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、番号：H29.6.14 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の複製としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.6.13 B: H29.6.14	H29.6.14 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.13 B: H29.6.14	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.13 B: H29.6.14	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.13 B: H29.6.14	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.13 B: H29.6.14	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.13 B: H29.6.14	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に整理がなく組み立てられていること。	H29.6.14 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.14 [Redacted]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.14 [Redacted]	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.14 [Redacted]	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	H29.6.14 [Redacted]	
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.14 [Redacted]	

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 の **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 本文・別添1・別添2・別添3(機器)

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: B:	
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: B:	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: B:	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: B:	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.6.12 A: B: H29.6.12	H29.6.12 XXXXXXXXXX
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起米経路に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.12 XXXXXXXXXX	H29.6.12 XXXXXXXXXX
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.12 XXXXXXXXXX	H29.6.12 XXXXXXXXXX

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 本文・別添1・別添2・別添3 (様式)

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト総括 確認年月日、署名： H29.6.1 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の権限としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.6.1 B: H29.6.1	H29.6.1 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.1 B: H29.6.1	H29.6.1 XXXXXXXXXX
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.1 B: H29.6.1	H29.6.1 XXXXXXXXXX
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.1 B: H29.6.1	H29.6.1 XXXXXXXXXX
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位表が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.1 B: H29.6.1	H29.6.1 XXXXXXXXXX
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.1 B: H29.6.1	H29.6.1 XXXXXXXXXX
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に論理がなく組み立てられていること。	H29.5.30	H29.6.1 XXXXXXXXXX
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.30	H29.6.1 XXXXXXXXXX
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.30	H29.6.1 XXXXXXXXXX
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.30	H29.6.1 XXXXXXXXXX
11	先行各社の審査の諸点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.30	H29.6.1 XXXXXXXXXX
12	全般 誤記の確認 上記1～8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.1	H29.6.1 XXXXXXXXXX

確認チェックシート

対象資料： 設計基準対象施設について

設置許可基準規則条文： 第4条

プロジェクト統括 確認年月日, 署名: H29.6.5

項目: 第4条本文第1部の基準地震動関係の記載のうち、6/1以降の変更点についての確認チェック

作成担当者: [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収載していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録既全て。)	A: H29.6.2 B: H29.6.2	H29.6.5
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.2 B: H29.6.2	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.2 B: H29.6.2	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.2 B: H29.6.2	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.2 B: H29.6.2	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.2 B:	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.2	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.6.2	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.2	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.2	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.2	
12	全般 誤記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.2	H29.6.5

確認チェックシート

対象資料：設計基準対象施設について

設置許可基準規則条文：第4条

項目：第1部、別添-8【基準地震動関連分】

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.5.31 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.5.31 [REDACTED] B: H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.31 [REDACTED] B: H29.5.31 [REDACTED]	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.31 [REDACTED] B: H29.5.31 [REDACTED]	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.31 [REDACTED] B: H29.5.31 [REDACTED]	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 [REDACTED] B: H29.5.31 [REDACTED]	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 [REDACTED] B: H29.5.31 [REDACTED]	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [REDACTED]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.5.31 [REDACTED]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [REDACTED]	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審議会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [REDACTED]	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [REDACTED]	
12	全般 誤記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：設計基準対象施設について

設置許可基準規則条文：第4条

項目：第1項、第2項、別添-1、3、4、5、7、8【建築関係分】
(6/7以降の変更点反映)

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、番号： H29.6.6 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/番号
1	エビデンスの確定 記載の規程としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A 日	
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A 日	
3	用語の統一 申請書一式に記載されている用語に統一されていること	A 日	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A 日	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A 日	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A 日	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、結果報告に無理がなく組み立てられていること。		
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 資料の確認 上記7～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.6 [REDACTED]	H29.6.6 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：設計基準対象施設について

設置許可基準規則条文：第4条

項目：第1部、第2部、別添-1、3、4、5、7、8【図紙関連
分】

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： /29.5.31/ [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンス の確定 記述の視覚化したエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.5.31 [REDACTED] B: H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.31 [REDACTED] B: H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.31 [REDACTED] B: H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.31 [REDACTED] B: H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 [REDACTED] B: H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 [REDACTED] B: H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、基準統括に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に誤りが無いこと	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携等の、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
11	発行各社の委員の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
12	全般 調記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 ok まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 目次(全て) / (A)申請 / (全て) / (B)申請

目次(全て) / (B)申請 / (全て) / (A)申請 / (全て)

作成担当者： [redacted]

プロジェクト統括 確認年月日： 署名： H29.5.31 [redacted]

No	確認項目	実施作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの集定 記帳の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に論理が欠陥み立てられていること。	H29.5.31	H29.5.31 [redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.5.31	H29.5.31 [redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31	H29.5.31 [redacted]
10	KK-6/7号機とのアライン。審査会までのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31	H29.5.31 [redacted]
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31	H29.5.31 [redacted]
12	全篇 誤記の検出 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31	H29.5.31 [redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 別添-4 上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設への波及的影響の検討について (下巻)

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： 11/19/6/1 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンス の確定 施設の概観としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: 11/19/5/31 B: 11/19/5/31 C: 11/19/5/27	11/19/6/1 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: 11/19/5/31 B: 11/19/5/31 C: 11/19/5/27	11/19/6/1 [Redacted]
3	用語の統 一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: 11/19/5/31 B: 11/19/5/31 C: 11/19/5/27	11/19/6/1 [Redacted]
4	記述の整 合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: 11/19/5/31 B: 11/19/5/31 C: 11/19/5/27	11/19/6/1 [Redacted]
5	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 11/19/5/31 B: 11/19/5/31 D: 11/19/5/27	11/19/6/1 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 11/19/5/31 B: 11/19/5/31 C: 11/19/5/27	11/19/6/1 [Redacted]
7	説明の妥 当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果経路に無理がなく組み立てられていること。	11/19/5/31	11/19/6/1 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと。	11/19/5/31	11/19/6/1 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体 的な説明となっていること。	11/19/5/31	11/19/6/1 [Redacted]
10	KK-67号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	11/19/5/31	11/19/6/1 [Redacted]
11	先行各社の事業の調査のうち、KK-67号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	11/19/5/31	11/19/6/1 [Redacted]
12	全般 版記の確認 上記1-11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	11/19/5/31	11/19/6/1 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 別添-5 水平2方向及び鉛直方向地震力の適切な組合せに関する検討について (7枚巻)

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日 署名： H29.6.1 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 棟別日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の種類としてエビデンスを全て収めていること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記帳様式等。)	A: H29.5.21 B: H29.5.21 C: H29.5.21	H29.6.1 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.21 B: H29.5.21 C: H29.5.21	H29.6.1 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.21 B: H29.5.21 C: H29.5.21	H29.6.1 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.21 B: H29.5.21 C: H29.5.21	H29.6.1 [Redacted]
5	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.21 B: H29.5.21 C: H29.5.21	H29.6.1 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.21 B: H29.5.21 C: H29.5.21	H29.6.1 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に非難がなく組み立てられていること。	H29.5.21 [Redacted]	H29.6.1 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を全む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.5.21 [Redacted]	H29.6.1 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.21 [Redacted]	H29.6.1 [Redacted]
10	KK-6/7号機のヒアリング、要安全会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.21 [Redacted]	H29.6.1 [Redacted]
11	先行各社の要受の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.21 [Redacted]	H29.6.1 [Redacted]
12	全般 筆記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.21 [Redacted]	H29.6.1 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 ○ **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 別紙-1 建屋及び原子炉の地震応答解析モデルの詳細化について ※別紙1-1～1-4を除く範囲

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H28.5.27 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A:12/13/26 B:12/16/26	H28.5.26 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A:12/15/26 B:12/16/26	H28.5.26 [REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	A:12/9/26 B:12/16/26	H28.5.26 [REDACTED]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A:12/11/26 B:12/16/26	H28.5.26 [REDACTED]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A:12/13/26 B:12/16/26	H28.5.26 [REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A:12/13/26 B:12/16/26	H28.5.26 [REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、参考文献に無理がなく組み立てられていること。	H28.5.27 [REDACTED]	H28.5.27 [REDACTED]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと。	H28.5.27 [REDACTED]	H28.5.27 [REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H28.5.27 [REDACTED]	H28.5.27 [REDACTED]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H28.5.27 [REDACTED]	H28.5.27 [REDACTED]
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H28.5.27 [REDACTED]	H28.5.27 [REDACTED]
12	全般 原記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H28.5.27 [REDACTED]	H28.5.27 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：設計基準対象施設について

設置許可基準規則条文：第4条

項目：別紙-1 設置及び保守等の施設定期検査モデルの整備等について、本文、添付資料2～4、添付資料-1、別紙1-1、2、3-2【建築関係分】（15/1以降の変更点反映）

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト番号 確認年月日、署名： H29.6.6 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の複製としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: B:	
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: B:	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: B:	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、表・図タイトル等と整合していること。	A: B:	
5	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記述範囲に無理がなく組み立てられていること。		
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準をきむ要求事項への対応に漏れがないこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	PK-6/7等種のアリngua、審査会各でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の観点のうち、PK-6/7等種にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 原記の確認 上記1～11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	10/6/6 XXXXXXXXXX	H29.6.6 XXXXXXXXXX

確認チェックシート

対象資料：設計基準対象施設について

設置許可基準規則条文：第4条

項目：別添-1 種類及び原子炉の地震応答解析モデルの特長等について、本文、参考図表2-5、表付資料-1、別添1-1、2、1-2【建築関係分】

作成担当者： []

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.5.31 []

No.	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の権限としたエビデンスを全て取得していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て、)	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.21 []
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 []
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 []
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 []
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 []
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.4.31	H29.5.31 []
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、結果転記に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 []	H29.5.31 []
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと。	H29.5.31 []	H29.5.31 []
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 []	H29.5.31 []
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.4.31 []	H29.5.21 []
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.4.31 []	H29.5.21 []
12	全般 原記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 []	H29.5.31 []

確認チェックシート

対象資料：設計基準対象施設について

設置許可基準規則条文：第4条

項目：別紙-2 原子炉燃料容器コンクリート部の応力解析
に於ける弾塑性解析の採用について

作成担当者： []

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.5.31 []

No	確認項目	資料作成箇所 添削日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの選定 記取の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.5.26 [] B: H29.5.30 []	H29.5.30 []
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.26 [] B: H29.5.30 []	H29.5.30 []
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.26 [] B: H29.5.30 []	H29.5.30 []
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.26 [] B: H29.5.30 []	H29.5.30 []
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.26 [] B: H29.5.30 []	H29.5.30 []
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.26 [] B: H29.5.30 []	H29.5.30 []
7	説明の整合性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.30 []	H29.5.30 []
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.5.30 []	H29.5.30 []
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.30 []	H29.5.30 []
10	KK-3/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.30 []	H29.5.30 []
11	先行各社の要査の論点のうち、KK-3/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.30 []	H29.5.30 []
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.30 []	H29.5.30 []

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 別紙-4 使用済燃料貯蔵ラックの減衰定数について

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.5.31 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	H29.5.31 [Redacted] H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	H29.5.31 [Redacted] H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	H29.5.31 [Redacted] H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	H29.5.31 [Redacted] H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.5.31 [Redacted] H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.5.31 [Redacted] H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記述経路に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
11	先行各社の審査の指点的のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
12	全般 誤記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料：設計基準対象施設について

設置許可基準規則条文：第4条

項目：別添-5 厚子炉建屋屋根トラス及び主排気筒の評価モデルについて

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.5.31 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 [REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 [REDACTED]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 [REDACTED]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 [REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 [REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載内容に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に誤りが無いこと	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
10	KK-8/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-8/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
12	全般 誤記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 別紙-6 機器・配管系設備に関するその他手法の相違点について

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.5.31 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 頁数日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としてエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A14420.5.20 P309.6.30	H29.5.31 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A14420.5.20 P109.6.30	H29.5.31 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A14420.5.20 P309.6.30	H29.5.31 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A14420.5.20 P109.6.30	H29.5.31 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A14420.5.20 P109.6.30	H29.5.31 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A14420.5.20 P109.6.30	H29.5.31 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果経路に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
10	KK-4/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
11	先行各社の発表の論点のうち、KK-4/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
12	全般 該記の検証 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 の まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 別紙-7 機器・配管系の設備の既工認からの構造変更

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、番号： H29.5.31 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の模倣としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.31 [REDACTED]
2	エビデンスは、貴社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.31 [REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.31 [REDACTED]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.31 [REDACTED]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.31 [REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.31 [REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携きめ、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
12	全般 最終の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 別紙-8 下位クラス施設の波及的影響の検討について(耐震)

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.5.31 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 証拠の補綴としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録紙全て。)	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、結果結論に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
10	KK-0/7号提のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
11	先行各社の審査の議点のうち、KK-0/7号提にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
12	全般 記述の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の3名でダブルチェックしていること。	H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料 : 4巻 まとめ資料

設置許可基準規則条文: 第4条

項目: 第8巻 下位クラス権限の拡及非制約の検討について

プロジェクト統括 確認年月日, 署名: H29.5.31

作成担当者: [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の標榜としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録様全て。)	A: H29.5.31 E: H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
2	エビデンスは, 当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.31 E: H29.5.31	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.31 E: H29.5.31	
4	記述の整合性 目次の組述が, 文中の章・項の番号, 図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.31 E: H29.5.31	
5	文中に記載している数値, 単位は, 参照先の図・表と整合していること。また, 単位系が統一されていること。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 E: H29.5.31	
6	文中に引用している図・表番号, タイトル等が, 参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 E: H29.5.31	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また, 起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また, 技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.5.31 [Redacted]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め, 一貫性のある説明となっていること。また, 具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [Redacted]	
10	KK-6/7号稿のヒアリング, 審査会会でのコメントについて, 全て対応できていること。	H29.5.31 [Redacted]	
11	先行各社の審査の旨点のうち, KK-6/7号稿にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [Redacted]	
12	全般 漏記の確認 上記1~9の確認を含め, 作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [Redacted]	

確認チェックシート

対象資料：設計基準対象掲載について

設置許可基準規則条文：第4条

項目：別紙-8 下位クラス施設の波及的影響の検討について【建築関連分】

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト総括 確認年月日、署名：H29.5.31 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確実性 記載の複製としたエビデンスを全て収束していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.30 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.30 [REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.30 [REDACTED]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.30 [REDACTED]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.30 [REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.30 [REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、応募書類に矛盾がなく組み立てられていること。	H29.5.30 [REDACTED]	H29.5.30 [REDACTED]
8	技術的検討内容に漏りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと。	H29.5.30 [REDACTED]	H29.5.30 [REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.30 [REDACTED]	H29.5.30 [REDACTED]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.30 [REDACTED]	H29.5.30 [REDACTED]
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.30 [REDACTED]	H29.5.30 [REDACTED]
12	全般 誤記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.30 [REDACTED]	H29.5.30 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 の **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 別紙-ii 水平2方向及び鉛直方向の適切な組合せに関する検討について(機静前堂技術0所掌分 別紙参照)

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.5.31 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記録の複写としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.5.26 B: H29.5.26	H29.5.26 [REDACTED]
2	エビデンスは、当該として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.26 B: H29.5.26	H29.5.26 [REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	A: H29.5.26 B: H29.5.26	H29.5.26 [REDACTED]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、表・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.26 B: H29.5.26	H29.5.26 [REDACTED]
5	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.26 B: H29.5.26	H29.5.26 [REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.26 B: H29.5.26	H29.5.26 [REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと。	H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
10	KK-0/7号機のヒアリング、審議会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
11	先行会社の審査の論点のうち、KK-0/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31	H29.5.31 [REDACTED]
12	全般 前記の確認 上記1～8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.26	H29.5.26 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：設計基準対象施設について

設置許可基準規則条文：第4条

項目：別紙一り、水平方向及び鉛直方向の適切な組合せに関する検討について【建築業区分】(6/1以降の営業点反映)

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括、確認年月日、署名： H29.6.6 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記述の推奨としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当館の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	大田	
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	大田	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	大田	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	大田	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	大田	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	大田	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、根拠詳細に無難がなぐ埋み立てられていること。		
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に誤れが無いこと。		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KR-6/7号機とのアラインング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の踏点のうち、KR-6/7号機にも関連する事項について対応誤れがないこと。		
12	全般 記述の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.6 [REDACTED]	H29.6.6 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：設計基準対象施設について

設置許可基本規則条文：第4条

項目：別紙-9 水平方向及び鉛直方向の適切な組合せに関する検討について【建築関係分】

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.5.31 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 [REDACTED]
3	用語の統一 用語帳一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 [REDACTED]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 [REDACTED]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 [REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.21	H29.5.31 [REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、筋路明確に整理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.21 [REDACTED]
10	KK-617号権のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-617号権にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 別紙-10 基礎地盤傾斜が1/2,000を超えることに対する耐震設計方針について

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.5.31 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	K: H29.5.29 B: H29.5.31	H29.5.31 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.29 B: H29.5.30	H29.5.30 XXXXXXXXXX
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	K: H29.5.29 B: H29.5.30	H29.5.30 XXXXXXXXXX
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.29 B: H29.5.30	H29.5.30 XXXXXXXXXX
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.29 B: H29.5.30	H29.5.30 XXXXXXXXXX
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	K: H29.5.29 B: H29.5.30	H29.5.30 XXXXXXXXXX
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、継承転述に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31	H29.5.31 XXXXXXXXXX
8	技術的検討内容に裏切りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.5.31	H29.5.31 XXXXXXXXXX
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31	H29.5.31 XXXXXXXXXX
10	KK-8/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31	H29.5.31 XXXXXXXXXX
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-8/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31	H29.5.31 XXXXXXXXXX
12	全般 調記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.30	H29.5.30 XXXXXXXXXX

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 **or** まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第4条

項目： 別紙1-4 原子炉本体基礎の復元力特性について

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日 署名 H29.5.31 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 ページ目/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの検定 記載の検定としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス： 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録複合等。)	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 B: H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
10	KR-0/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
11	先行各社の審査の積点のうち、KR-0/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]
12	全般 誤記の補正 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31	H29.5.31 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料 ver.1

設置許可基準規則条文： 第 5 条 様40頁

項目： 1.1.1.1.1.1

作成担当者

プロジェクト統括 確認年月日、署名： 2019. 6. 14

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: 2017/06/14 B: 2017/6/14	2019. 6. 14
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: 2017/06/14 B: 2017/6/14	2019. 6. 14
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: 2017/06/14 B: 2017/6/14	2019. 6. 14
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: 2017/06/14 B: 2017/6/14	2019. 6. 14
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 2017/06/14 B: 2017/6/14	2019. 6. 14
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照元の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 2017/06/14 B: 2017/6/14	2019. 6. 14
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	2019/6/14	2019. 6. 14
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		2019. 6. 14
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		2019. 6. 14
10	KK-8/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		2019. 6. 14
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-8/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。		2019. 6. 14
12	全般 漏記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	2019/6/14	2019. 6. 14

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第5条

項目： 耐津波設計(機器耐震技術G担当箇所)

プロジェクト統括 確認年月日、署名： 429.6.2

作成担当者： 別紙参照

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の標頭としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録簿全て。)	A E 別紙参照	429.6.1 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A E 別紙参照	429.6.1 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A E 別紙参照	429.6.1 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A E 別紙参照	429.6.1 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A E 別紙参照	429.6.1 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A E 別紙参照	429.6.1 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	別紙参照	429.6.1 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	別紙参照	429.6.1 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	別紙参照	429.6.1 [Redacted]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	別紙参照	429.6.1 [Redacted]
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	別紙参照	429.6.1 [Redacted]
12	全般 原記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別紙参照	429.6.1 [Redacted]

H29.8.31



目次	担当	シングル	ダブル
別添1			
本文			
1.はじめに			
2. 調査設計方針			
3. 基本事項			
3.1 調査対象地域の調査			
3.2 敷地及び敷地周囲に打ける地盤及び地盤の配置等			
3.3 基準津波による敷地周辺の潮上・浸水域			
3.4 入力津波の選定			
3.5 水位変動、潮流変動の考慮			
3.6 設計または評価に用いる入力津波			
3.7 設計基準対象施設の津波防護方針			
3.8 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針			
3.9 敷地への浸水防止(外部防護)			
3.10 敷地への浸水防止(内部防護)			
3.11 重要な安全機能を有する施設の隔離(内部防護)			
3.12 水位変動に伴う取水性能低下による重要な安全機能への影響防止			
(1) 非常用海水冷却系の取水性能			
(2) 津波の二次的な影響による非常用海水冷却系の機能維持確保			
a. 貯水タンクに対する浸水性能			
b. 貯水タンクに付随する設備の浸水性能			
c. 浮上装置に付随する設備の浸水性能			
d. 浮上装置に付随する取水口付近の浮上物に対する浸水性能			
e. 取水口付近の浮上物に対する浸水性能			
f. 浮上装置の浮上時の浸水性能			
3.13 浸水防止			
3.14 重要施設等対象施設の津波防護方針			
3.15 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針			
3.16 敷地への浸水防止(外部防護)			
3.17 浸水による重大事故発生に回避するために必要な機能への影響防止(外部防護)			
3.18 重大事故発生に回避するために必要な機能を有する施設の隔離(内部防護)			
3.19 重要施設等対象施設の津波防護方針に付随する浸水性能の考慮			
3.20 浸水防止			
4. 施設・設備の設計・評価の方針及び条件			
4.1 津波防護施設の設計			
4.2 設備の設計			
4.3 設備の設計・評価の方針			
4.4 設備の設計・評価の方針・条件に関する設計事項			
別添2			
1. 調査対象地に対して地盤を維持する必要があること			
2. 調査対象地とする敷地以外の敷地が浸水することに対する影響評価について			
3. 津波シミュレーションに用いる数値計算モデルについて			
4. 地盤の地質等の変化による津波高上昇への影響について			
5. 敷地内の局所的な涌水の範囲について			
6. 管が破断の経路について			
7. 入力津波に用いる前提条件について			
8. 入力津波に対する水位分布について			
9. 敷地への浸水防止(外部防護)評価のための浸下量の算定について			
10. 津波防護施設の隔離の概要について			
11. 浸水時の浸水			
12. 内部防護において考慮する浸水の浸水範囲、浸水量について			
13. タービン排気冷却水系統と排気設備を設置するエリアの浸水範囲			
14. 浸水時の浸水範囲の境界に打ける浸水対策の浸水範囲、浸水範囲及び浸水時間			
15. 貯留量の算定について			
16. 津波による水位低下時の非常用海水ポンプの停止に関わる浸水及び非常用海水ポンプ停止後の浸水性能による高圧冷却水ポンプの取水性能への影響			
17. 基準津波に伴う浸水範囲について			
18. 敷地内施設が浸水範囲に打ける浸水対策の浸水範囲の分析結果について			
19. 海水ポンプの浸水性能について			
20. 浸水時の浸水範囲について			
21. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲について			
22. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			
23. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			
24. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			
25. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			
26. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			
27. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			
28. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			
29. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			
30. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			
31. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			
32. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			
33. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			
34. 浸水時の浸水範囲の浸水範囲の浸水範囲について			

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

H29.5.31

設置許可基準規則条文： 第5条-別添1

項目： E-1, 4.1, 添付4(参考), 添付15, 24, 29, 31, 32 プロジェクト総括 確認年月日, 署名:

作成担当: [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの健全 記載の複製としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス, 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録類全て。)	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.30
2	エビデンスは, 真実として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.30
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.30
4	記述の整合性 目次の記述が, 文中の章・項の番号, 頁・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.30
5	文中に記載している数値, 単位は, 参照先の図・表と整合していること。また, 単位系が統一されていること。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.30
6	文中に引用している図・表番号, タイトル等が, 参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に, 申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.30 B: H29.5.30	H29.5.30
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また, 起算開始に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.30	H29.5.30
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また, 技術基準を含む要求事項への対応に誤りが無いこと	H29.5.30	H29.5.30
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め, 一貫性のある説明となっていること。また, 具体的な説明となっていること。	H29.5.30	H29.5.30
10	KK-6/7号機のヒアリング, 審査会合でのコメントについて, 全て対応できていること。	H29.5.30	H29.5.30
11	先行各社の事業の論点のうち, KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.30	H29.5.30
12	全般 記述の確認 上記1~6の確認を含め, 作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.30	H29.5.30

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第3条

項目： ICMT資料は

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト番号 確認年月日 署名: H29.6.2 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 箇所名/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: [Redacted] B: [Redacted]	H29.5.21 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として実在性を確認したものであること。	A: [Redacted] B: [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: [Redacted] B: [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: [Redacted] B: [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: [Redacted] B: [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: [Redacted] B: [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果経路に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.31 [Redacted]	H29.6.31 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
10	KK-0/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-0/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料：耐津波設計について

設置許可基準規則条文：第6条

プロジェクト総括 確認年月日、署名： H29.5.31 [Redacted]

項目：別添1添付資料30 耐津波設計における津波荷重と余震荷重の組み合わせについて

作成担当者： [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.5.31 [Redacted] B: H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.31 [Redacted] B: H29.5.31 [Redacted]	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	A: H29.5.31 [Redacted] B: H29.5.31 [Redacted]	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.31 [Redacted] B: H29.5.31 [Redacted]	
5	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 [Redacted] B: H29.5.31 [Redacted]	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.31 [Redacted] B: H29.5.31 [Redacted]	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記述内容に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと。	H29.5.31 [Redacted]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [Redacted]	
10	KK-4/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [Redacted]	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [Redacted]	
12	全般 前記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： 耐凍波設計方針 まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第5条、第40条

項目：(本文)Ⅱ、1.3、1.4(原付)3,4,5,6,7,8,9,17,18,19 プロジェクトコード 確認年月日、署名：H29.6.13

作成担当者

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	H29.6.13 H29.6.13	H29.6.13
2	エビデンスは、直接の執記元(参照先)に加え、当社としてそれ以上の通り確認ができないもの(一次エビデンス)を確定していること。	H29.6.13 H29.6.13	
3	用語の統一 原子力設備管理部の管理フォルダに保存されている用語統一表に記載されている用語に統一されていること	H29.6.13 H29.6.13	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	H29.6.13 H29.6.13	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.6.13 H29.6.13	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.6.13 H29.6.13	
7	記載の矛盾 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起草経路に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.13	
8	技術的検討内容及び記載すべき事項に限り、漏れが無いこと。(技術基準を含む要求事項への対応を含む)	H29.6.13	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.13	
10	KK-6/7号機のアリリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.13	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応遅れがないこと。	H29.6.13	
12	全般 ヒアリング、審査会合でのコメントについて、工図、保安規定、マニュアル、手順書等の後工程でも対応が必要な事項が引き継いでいること。	H29.6.13	
13	原記の確認 上記1～12の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.13	

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 of まとめ資料

設置許可基準規則条文：第7条

項目：発電用原子炉施設への人の不法な侵入等の防止 プロジェクト総括 確認年月日、署名： [Redacted] 129.5.31

作成担当者 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 施設日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の職務としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: 129.5.22 B: 129.5.22	129.5.29 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: 129.5.22 B: 129.5.22	129.5.29 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: 129.5.22 B: 129.5.22	129.5.29 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: 129.5.22 B: 129.5.22	129.5.29 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 129.5.22 B: 129.5.22	129.5.29 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 129.5.22 B: 129.5.22	129.5.29 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	129.5.29	129.5.29 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を合む要求事項への対応に漏れが無いこと。	129.5.29	129.5.29 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	129.5.29	129.5.29 [Redacted]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	129.5.29	129.5.29 [Redacted]
11	先行各社の要旨の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	129.5.29	129.5.29 [Redacted]
12	全査 異記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	129.5.29	129.5.29 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第2条 注文：別添1～3

項目：資料12345678910

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.13 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンス の確定 記載の複製としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29.6.13 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
7	記述の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載點結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.13 XXXXXXXXXX	
8	技術的検討内容に漏れが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	↑	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 誤記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.13 XXXXXXXXXX	H29.6.13 XXXXXXXXXX

チェック者リーダー H29.6.13



H27.6.13



条文		チェック者		
8条	補正書	本文, 添八	原子炉安全技術G 設備技術G 建築技術G 防災安全G 火災防護T 技術計画G 設備技術G 建築技術G 火災防護T 技術計画G 技術計画G 技術計画G	
	本文	—		
	別添1	資料1		—
		資料2		—
		資料3		—
		資料4		—
		資料5		—
		資料6		—
		資料7		—
		資料8		—
		資料9		—
		資料10		—
別添2	—			
別添3	—			
41条	補正書	本文, 添八	設備技術G 工認P)	
	本文	—		
	1	—		
	2	—		
	3	—		
	4	—		
	5	—		
6	—			
43条	共7	—	設備技術G 工認P)	

確認チェックシート

対象資料： E7申請書 or エビデンス

設置許可基準規則条文： 第10条

項目： -

作成担当者： [Redacted]

H29.6.3

プロジェクト総括 確認年月日、署名： [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]

DBまとめ資料ダブルチェック実績管理表(10条)

担当 箇所	ダブルチェック実績		
	日付	担当者1	担当者2
計装	H29.5.29	[REDACTED]	[REDACTED]
計装	H29.5.31	[REDACTED]	[REDACTED]

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実地確認	
	日付	確認者
計装	H29.5.31	[REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第11条

項目： 露天別紙別添

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.3 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス; 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録類全て。)	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.11 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
10	KK-6/7号欄のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.21 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
11	先行各社の審査の議決のうち、KK-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.21 [Redacted]	H29.5.21 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： ~~EP申請書~~ **まとめ資料** (設計標準特許状に付し)

特許許可基準規則条文： 第12条

項目： H29.6.8特許

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日 署名： H29.6.8 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの選定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録全て。)	A: H29.6.3 B: H29.6.5	H29.6.8
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: B:	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	A: B:	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: B:	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.5 B: H29.6.5	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、請求範囲に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.5	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.5	H29.6.8

確認チェックシート

対象資料： ~~申請書~~ **まとめ資料** (申請書内関連資料について)

設置許可基準規則条文： 第12条

項目：

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括： 確認年月日、署名： H29.6.2 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: B: 別紙参照	H29.6.2 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: B:	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: B:	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: B:	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。		
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-0/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-0/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別紙参照	H29.6.2 [REDACTED]

DBまとめ資料ダブルチェック実績管理表(12条)

担当箇所	ダブルチェック実績	
	日付	担当者1 担当者2
安全	H29.5.29	■■■■
安全	H29.5.30	■■■■
安全	H29.5.31	■■■■
安全	H29.6.1	■■■■
機械	H29.5.30	■■■■
機械	H29.5.31	■■■■
機械	H29.5.31	■■■■
電気	H29.5.29	■■■■
電気	H29.5.28	■■■■
電気	H29.5.29	■■■■
電気	H29.5.30	■■■■
計装	H29.5.29	■■■■
計装	H29.5.29	■■■■
計装	H29.5.29	■■■■
計装	H29.5.30	■■■■
計装	H29.5.31	■■■■

担当箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
安全	H29.5.1	■■■■
機械	H29.6.1	■■■■
電気	H29.5.1	■■■■
計装	H29.6.1	■■■■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設備許可基準規則条文： 第14条

項目： 本文別添

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括： 確認年月日、番号： H29.6.3 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29.5.31 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
8	技術的検討内容に漏れが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審議会会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
11	先行各社の審査の積点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [Redacted]	H29.5.31 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第16条

項目： -

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 証拠の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.9 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に論理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の重点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 原記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 [REDACTED]

DBまとめ資料ダブルチェック実績管理表(16条)

担当箇所	ダブルチェック実施		
	日付	担当者1	担当者2
機械	H28.5.11	██████	中村 祐介
機械	H28.5.12	██████	中村 祐介
機械	H29.5.22	██████	中村 祐介
計装	H29.5.25	██████	大庭 篤士
計装	H29.5.30	██████	大庭 篤士
計装	H29.5.31	██████	沢田 崇文
機械	H29.6.8	██████	中村 祐介
電気	H29.6.8	██████	吉田 悠馬
計装	H29.6.7	██████	吉岡 大介
計装	H29.6.8	██████	沢田 崇文

担当箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.9	██████
電気	H29.6.9	██████
計装	H29.6.9	██████

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第17条

項目：まとめ資料

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.3 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.5.13 [Redacted] B: H29.5.27 [Redacted]	H29.6.2 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.15 [Redacted] B: H29.5.23 [Redacted]	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.19 [Redacted] B: H29.5.23 [Redacted]	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.15 [Redacted] B: H29.5.23 [Redacted]	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.15 [Redacted] B: H29.5.23 [Redacted]	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.15 [Redacted] B: H29.5.23 [Redacted]	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起案総括に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.26 [Redacted]	
8	技術的検討内容に漏れが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.5.26 [Redacted]	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.26 [Redacted]	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.26 [Redacted]	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.26 [Redacted]	
12	全般 誤記の修正 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.26 [Redacted]	H29.6.2 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： E7申請書 07 まとめ資料

審査許可基準規則条文： 第24条

項目： -

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.3 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29.5.31 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	H29.5.31 [REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	H29.5.31 [REDACTED]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	H29.5.31 [REDACTED]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29.5.31 [REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	H29.5.31 [REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
11	先行各社の審査の重点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.5.31 [REDACTED]

DBまとめ資料ダブルチェック実績管理表(24条)

担当 種別	ダブルチェック実績		
	日付	担当者1	担当者2
計数	H29.5.20	■■■■	■■■■
計数	H29.5.31	■■■■	■■■■

担当 種別	No.7～12の確認表7/NNo1～6の実査確認	
	日付	確認者
計数	H29.5.31	■■■■

確認チェックシート

対象資料：別添資料 (rev.1)

設置許可基準規則条文：第26条 (原子炉制御室等)

項目：
作成担当者： []

プロジェクト統括 確認年月日、署名： 2019.6.14 []

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名	
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: B: (別紙参照)	2019.6.14 []	
2	エビデンスは、当社として受当性を確保したものであること。	A: B: (別紙参照)	[]	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: B: (別紙参照)		
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、箇・表タイトル等と整合していること。	A: B: (別紙参照)		
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B: (別紙参照)		
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B: (別紙参照)		
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、根拠根拠に無理がなく組み立てられていること。	(別紙参照)		
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に誤れが無いこと	(別紙参照)		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	(別紙参照)		
10	KK-3/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	(別紙参照)		
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-3/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	(別紙参照)		
12	全職 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	(別紙参照)		2019.6.14 []

DBまとめ資料ダブルチェック実績管理表(26条)

担当 業務	ダブルチェック実績		
	日付	担当者1	担当者2
安全	H20.5.10	■■■■	■■■■
設備	H20.6.2	■■■■	■■■■
課係	H20.11.14	■■■■	■■■■

担当 業務	No.7~13の確認及びNo.1~6の実施確認	
	日付	確認者
安全	H20.5.01	■■■■
設備	H20.6.2	■■■■
課係	H20.6.14	■■■■

確認チェックシート

対象資料：まとめ資料

設置許可基準規則条文：第31条

項目：

作成担当者：

プロジェクト統括 確認年月日、署名：1-29-6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、配承転記に無理がなく読み立てられていること。	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]
10	KK-4/7号機のアライング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-4/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]
12	全般 誤記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第33条

項目： 本文別添

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、番名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果経路に無理がなく組み立てられていること。	別紙参照	
8	技術的検討内容に漏りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	別紙参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	別紙参照	
10	KK-6/7号頃のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	別紙参照	
11	先行各社の審査の議点のうち、KK-6/7号期にも関連する事項について対応漏れがないこと。	別紙参照	
12	全般 議記の確認 上記1~6の確認をきめ、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別紙参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX

DBまとめ資料ダブルチェック実績管理表(33条)

担当 箇所	ダブルチェック実績		
	日付	担当者1	担当者2
電気	H28.5.17	■■■■■	■■■■■
電気	H29.5.17	■■■■■	■■■■■
電気	H29.5.18	■■■■■	■■■■■
電気	H29.5.18	■■■■■	■■■■■
電気	H29.5.19	■■■■■	■■■■■
電気	H29.5.23	■■■■■	■■■■■
電気	H29.5.24	■■■■■	■■■■■
電気	H29.5.24	■■■■■	
電気	H28.5.25	■■■■■	■■■■■
電気	H28.5.28	■■■■■	■■■■■
電気	H29.5.28	■■■■■	■■■■■
電気	H29.5.29	■■■■■	■■■■■
電気	H29.5.30	■■■■■	■■■■■
電気	H29.5.30	-	■■■■■
電気	H29.5.31	-	■■■■■
電気	H29.8.7	■■■■■	■■■■■

担当 箇所	№7～12の確認及び№1～6の実績確認	
	日付	確認者
電気	H28.6.9	■■■■■

確認チェックシート

対象資料：別添資料 (rev.1)

設置許可基準規則条文：34条(緊急時対策所)

項目：

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.14 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名	
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: 2017.8.14 [REDACTED] B: 2017.8.14 [REDACTED]	H29.6.14 [REDACTED]	
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: 2017.8.14 [REDACTED] B: 2017.8.14 [REDACTED])	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: 2017.8.14 [REDACTED] B: 2017.8.14 [REDACTED]		
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: 2017.8.14 [REDACTED] B: 2017.8.14 [REDACTED]		
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 2017.8.14 [REDACTED] B: 2017.8.14 [REDACTED]		
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 2017.8.14 [REDACTED] B: 2017.8.14 [REDACTED]		
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果経路に無理がなく積み立てられていること。	H29.6.14 [REDACTED]		
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと			
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。			
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。			
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。			
12	全般 記述の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執事した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.14 [REDACTED]		H29.6.14 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or (まとめ資料)

設置許可基準規則条文： 第35条

項目： -

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト総括 確認年月日、署名： H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 総数の把握としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.9 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の諸点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 漏記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 [REDACTED]

DBまとめ資料ダブルチェック実績管理表(35条)

担当 箇所	ダブルチェック実績		
	日付	担当者1	担当者2
電気	H29.5.25	██████	██████
電気	H29.5.27	██████	██████
電気	H29.5.29	██████	██████
電気	H29.5.29	██████	-
電気	H29.5.30	-	██████
電気	H29.5.30	██████	██████
電気	H29.6.9	██████	██████
電気	H29.6.8	██████	██████

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
電気	H29.6.9	██████

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第37条

項目： 有効性評価

作成担当者： [redacted]

プロジェクト名称 確認年月日、番号： H29.6.9 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 証拠の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.9 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起草経緯に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 記述の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 [redacted]

有効性評価確認チームの体制及び確認結果（有効性評価）

● No. 1～6の確認（平成29年5月8日～平成29年6月9日）

[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

● No. 7～11の確認

[Redacted]

平成29年6月9日

平成29年6月9日

● No. 12（No. 1～6の実施確認）

[Redacted]

平成29年6月9日

以上

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第37条

項目： 事故シーケンス選定, PRA

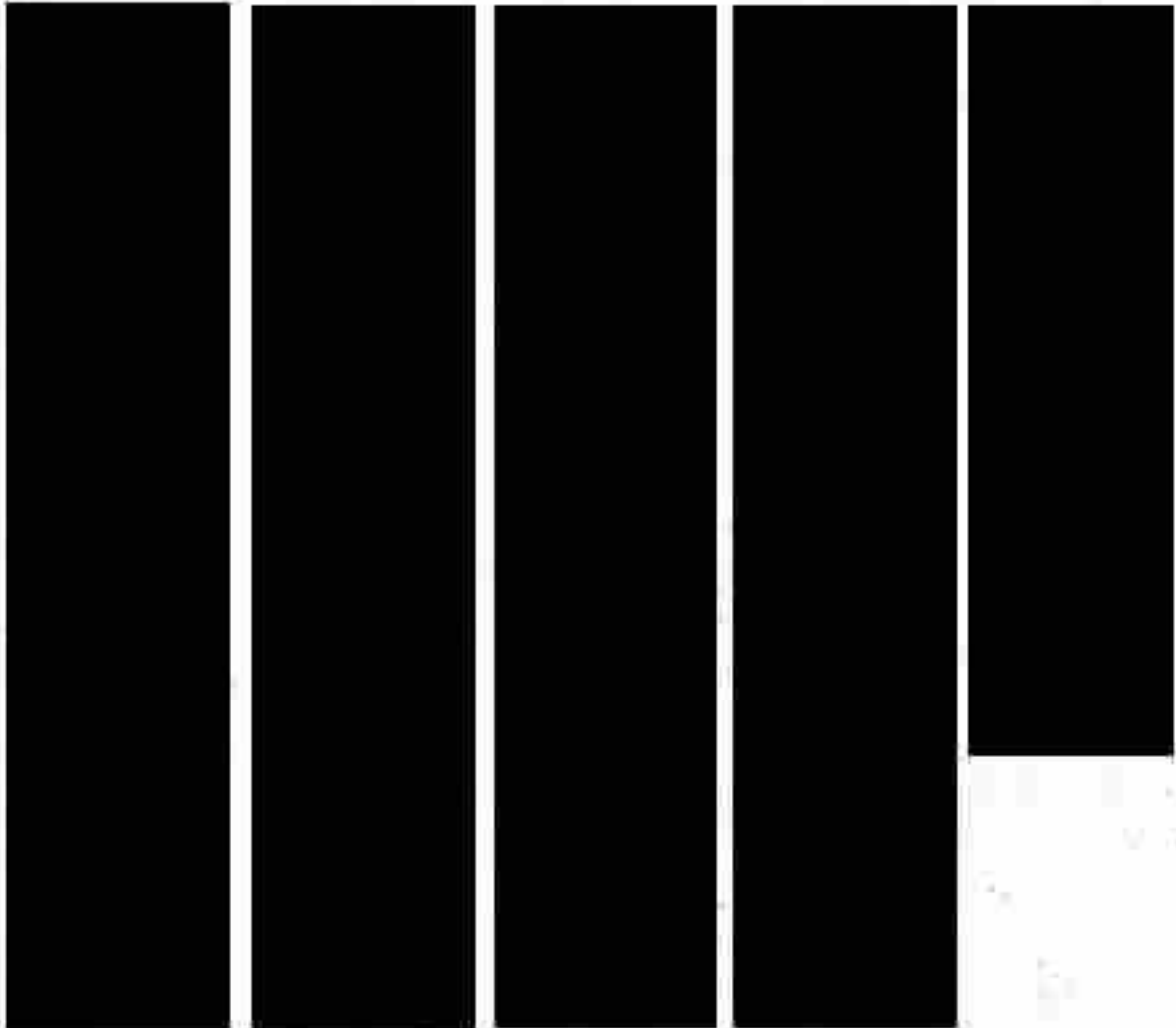
作成担当者： [redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、番名： H29.6.9 [redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記事の種類としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.9 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	[redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと。	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-0/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-0/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 調記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 [redacted]

有効性評価確認チームの体制及び確認結果（PRA）

- No. 1～6の確認（平成29年5月8日～平成29年6月9日）



- No. 7～11の確認



平成29年6月9日（地震PRA、^波津PRA、船舶シナシ）
平成29年6月9日（船舶シナシ、船舶LLC、船舶シナシ）
平成29年6月9日（船舶LLC、船舶シナシ、船舶シナシ）

- No. 12（No. 1～6の実施確認）



平成29年6月9日

以上

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： -

項目： PCV

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと。	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 最終の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 ↓ XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(PCV)

担当 箇所	No.1～8の確認		
	Date	A	B
橋樑	H29.6.31	■	■
橋樑	H29.6.0	■	■
橋樑	H29.6.7	■	■
橋樑	H29.6.0	■	■

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo.1～8の実施確認	
	Date	確認者
橋樑	H29.6.9	■

確認チェックシート

対象資料：重大事故等対策の有効性評価について

設置許可基準規則条文：付録2 原子炉格納容器限界温度・限界圧力に関する評価結果

項目：(第4資料) 原子炉格納容器本体(コンクリート部)
別添-12 MUPB00耐折モデルの島台プランナーの適用性につ
いて【監修関連分】

作成担当者： []

プロジェクト結核 確認年月日、署名： H29.5.31 []

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンス の確定 記載の範囲としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録媒体。)	A: H29.5.30 [] B: H29.5.30 []	H29.5.30 []
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.5.30 [] B: H29.5.30 []	H29.5.30 []
3	用語の統一 用語他一書に記載されている用語に統一されていること	A: H29.5.30 [] B: H29.5.30 []	H29.5.30 []
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.5.30 [] B: H29.5.30 []	H29.5.30 []
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.30 [] B: H29.5.30 []	H29.5.30 []
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.5.30 [] B: H29.5.30 []	H29.5.30 []
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、根拠根拠に論理がなく積み立てられていること。	H29.5.30 []	H29.5.30 []
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に誤りが無いこと	H29.5.30 []	H29.5.30 []
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との関連を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.30 []	H29.5.30 []
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.30 []	H29.5.30 []
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.30 []	H29.5.30 []
12	全般 誤記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.30 []	H29.5.30 []

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第37条

項目： 解析コード

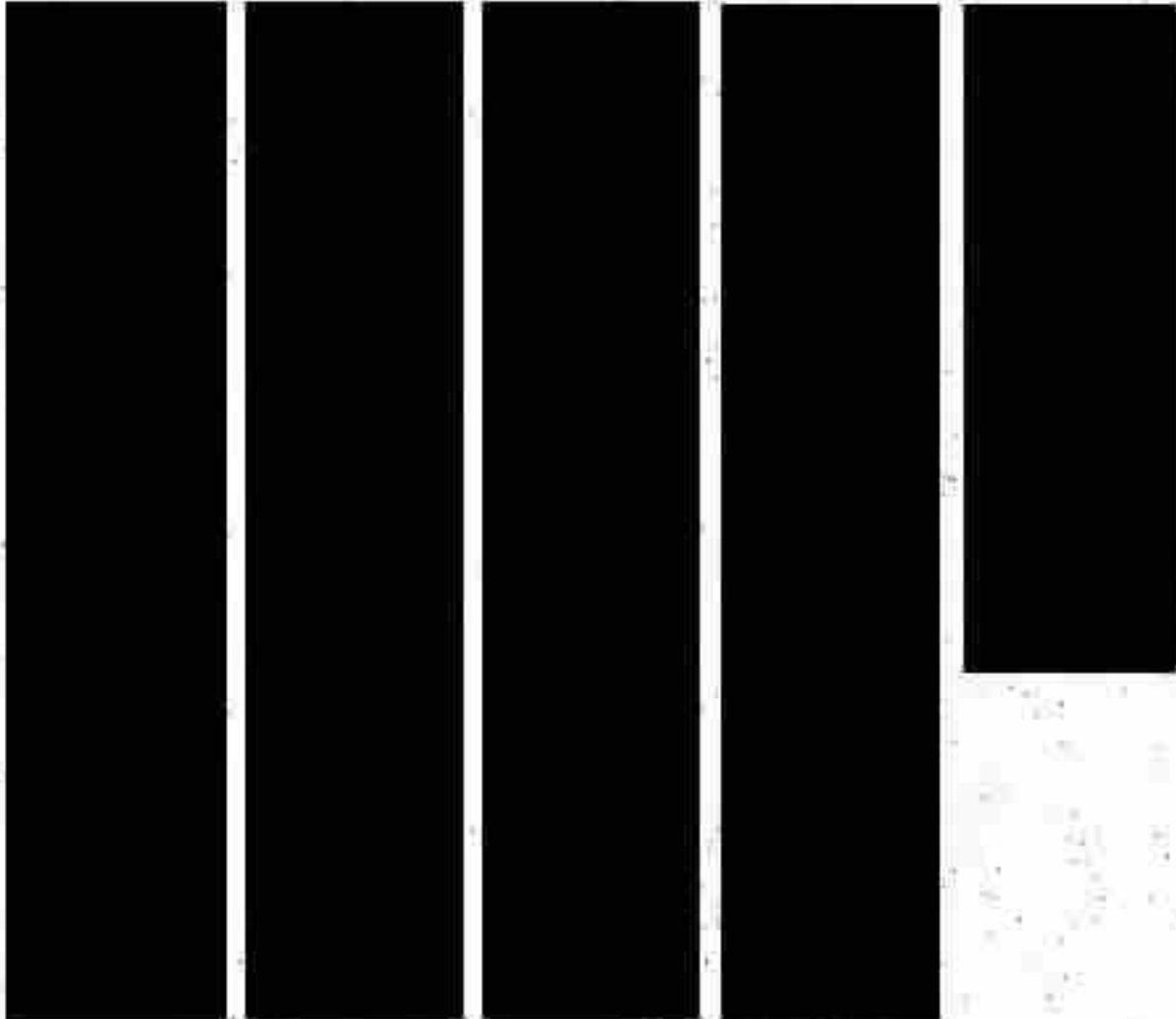
作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.7 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の推薦としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.7 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果経緯に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.7 [REDACTED]

有効性評価確認チームの体制及び確認結果（解析コード）

- No. 1～6の確認（平成29年5月8日～平成29年6月7日）



- No. 7～11の確認



平成29年6月7日

平成29年6月7日

- No. 12（No. 1～6の実施確認）



平成29年6月7日

以上

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基本規則条文： 第39条 まとめ資料本文、補足説明資料

項目： 36条 資料全項目（別紙-1参照）

作成担当者： 別紙-1参照

プロジェクト統括 確認年月日、番号： 2019.6.14

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の規模としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙-1参照	2019.6.14
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。		2019.6.14
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること		2019.6.14
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。		2019.6.14
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。		2019.6.14
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙-1参照	2019.6.14
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	2019.6.13	2019.6.14
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		2019.6.14
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		2019.6.14
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		2019.6.14
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	2019.6.13	2019.6.14
12	全般的 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別紙-1参照	2019.6.14

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第21条 3項 補足資料

項目： 4-1, 2, 3, 4, 5, 6

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.13 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の権限としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29.6.13 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	別紙参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.13 XXXXXXXXXX	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと。	↑	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 誤記の確認 上記1~10の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.13 XXXXXXXXXX	H29.6.13 XXXXXXXXXX

チェック者リーダー H29.6.13 [Redacted]

H29.6.13 [Redacted]

条文			チェック者	
8条	補正書	本文, 添八	原子炉安全技術G [Redacted] 設備技術G [Redacted] 建築技術G [Redacted] 防災安全G [Redacted] 火災防護T [Redacted] 技術計画G [Redacted] 設備技術G [Redacted] 建築技術G [Redacted] 火災防護T [Redacted] 技術計画G [Redacted] 技術計画G [Redacted] 技術計画G [Redacted]	
	本文	—		
	別添1	資料1		—
		資料2		—
		資料3		—
		資料4		—
		資料5		—
		資料6		—
		資料7		—
		資料8		—
		資料9		—
		資料10		—
	別添2	—		
別添3	—			
41条	補正書	本文, 添八		
	本文	—		
	1	—		
	2	—		
	3	—		
	4	—		
	5	—		
6	—			
43条	共7	—	設備技術G [Redacted] 工誌P [Redacted]	

確認チェックシート

対象資料：重大事故等対応設備について

設置許可基準規則条文：第43条

項目：2.3

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、署名：H29.6.4 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確保 記録の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A:H29.5.31 [REDACTED] B:H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A:H29.5.31 [REDACTED] B:H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A:H29.5.31 [REDACTED] B:H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A:H29.5.31 [REDACTED] B:H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A:H29.5.31 [REDACTED] B:H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A:H29.5.31 [REDACTED] B:H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に誤りが無いこと	H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
10	KK-4/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-4/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
12	全般 漏記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料：「EPA申請書」or「まとめ資料」(重大事故等対処設備について(補足説明資料))

設置許可基準規則条文：43条

項目：ボーア

作成担当者：

プロジェクト統括 確認年月日、番号：H29.6.9

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンスの徹底 記載の種別としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録簿全て。)	A: E: <u>別紙参照</u>	H29.6.9 <u> </u>
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: E:	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: E:	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: E:	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: E:	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: E:	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。		
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 確認の徹底 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	<u>別紙参照</u>	H29.6.9 <u> </u>

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(43条, 補足説明, 共1)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
安全	H20.6.9	■	■
安全	H20.6.9	■	■

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
安全	H20.6.9	■

確認チェックシート

対象資料：重大事故等対策設備について（補足説明資料）

設置許可基準規則条文：第43条

項目：共-2 rev.01 改訂計画文書 17

作成担当者： [redacted] 3回 10/10/17 確認 17

プロジェクト統括 確認年月日 署名： H29.6.14 [redacted]

No.	確認項目	責任作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A:2017.6.7 [redacted] B:2017.6.9 [redacted]	2017.6.14 [redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A:2017.7.7 [redacted] B:2017.6.9 [redacted]	2017.6.14 [redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A:2017.6.7 [redacted] B:2017.6.9 [redacted]	2017.6.14 [redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A:2017.6.7 [redacted] B:2017.6.9 [redacted]	2017.6.14 [redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A:2017.6.7 [redacted] B:2017.6.9 [redacted]	2017.6.14 [redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A:2017.6.7 [redacted] B:2017.6.9 [redacted]	2017.6.14 [redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載範囲に無理がなく組み立てられていること。		
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	2017.6.9 [redacted]	2017.6.14 [redacted]
10	KK-4/7号機のとアライン。審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-4/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。		
12	金校 講記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	2017.6.9 [redacted]	2017.6.14 [redacted]

確認チェックシート

対象資料：重大事故等対応設備について（補足説明資料）

設置許可基準規則条文：第43条

項目：共-2

作成担当者：[REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、番号：H29.6.4 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A:H29.5.31 [REDACTED] B:H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A:H29.5.31 [REDACTED] B:H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A:H29.5.31 [REDACTED] B:H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A:H29.5.31 [REDACTED] B:H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A:H29.5.31 [REDACTED] B:H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A:H29.5.31 [REDACTED] B:H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記承転写に懸念がなく読み立てられていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
10	KK-6/7号機のアリリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
11	先行各社の審査の議点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(原稿執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.5.31 [REDACTED]	H29.6.2 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： 申請書 → **まとめ資料** (申請書及び関係資料について (申請書以外))

設置許可基準規則条文： 第41条

項目： 水-4

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： 2017.6.2 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て取揃えていること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。) 【本分野(他SA)関連資料のエビデンスはまとめ資料以外、エビデンスは無い。】	A: [Redacted] B: [Redacted]	[Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: [Redacted] B: [Redacted]	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: 2017.6.2 / [Redacted] B: 2017.6.2 / [Redacted]	2017.6.2 / [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: [Redacted] B: [Redacted]	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: [Redacted] B: [Redacted]	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: 2017.6.2 / [Redacted] B: 2017.6.2 / [Redacted]	[Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	2017.6.2 / [Redacted]	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	[Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted]	[Redacted]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted]	[Redacted]
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted]	[Redacted]
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	2017.6.2 / [Redacted]	2017.6.2 / [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第43条

項目： 共-5

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、番号： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の種別としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.12 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、回答総括に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 確認の確証 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.12 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(共-5)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
機械	H29.5.29		
機械	H29.5.30		

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.9	

確認チェックシート

対象資料： IP申請書 or (まとめ資料)

設置許可基準規則条文： 第43条

項目： 北7

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.13 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29.6.13 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.13 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	↑	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	↑	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	↑	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	↑	
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.13 [Redacted]	H29.6.13 [Redacted]

チェック者リーダー H29.6.13 [Redacted]

H29.6.13 [Redacted]

条文		チェック者		
8条	補正書	本文、添八	原子炉安全技術G [Redacted] 設備技術G [Redacted] 建築技術G [Redacted] 防災安全G [Redacted] 火災防護T [Redacted] 技術計画G [Redacted] 設備技術G [Redacted] 建築技術G [Redacted] 火災防護T [Redacted] 技術計画G [Redacted] 技術計画G [Redacted] 技術計画G [Redacted]	
	本文	—		
	別添1	資料1		
		資料2		
		資料3		
		資料4		
		資料5		
		資料6		
		資料7		
		資料8		
		資料9		
資料10				
別添2	—			
別添3	—			
41条	補正書	本文、添八		
	本文	—		
	1	—		
	2	—		
	3	—		
	4	—		
	5	—		
6	—			
43条	共7	—	工認内 [Redacted] 設備技術G [Redacted]	

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第44条

項目： 3.1

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクトコード 確認年月日 署名: H29.6.3 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.2 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、継承経路に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.2 ↓ XXXXXXXXXX

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第44条

項目： 第44条

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日 署名: H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書,記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-4/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-4/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全図 図記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(44条, 補足説明)

担当 箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
機械	H29.5.23	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.5.24	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.5.30	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.5.31	[REDACTED]	[REDACTED]
計装	H29.5.31	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.6.0	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.6.9	[REDACTED]	[REDACTED]
電気	H29.6.8	[REDACTED]	[REDACTED]
計装	H29.6.8	[REDACTED]	[REDACTED]

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.9	[REDACTED]
電気	H29.6.9	[REDACTED]
計装	H29.6.9	[REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第45条

項目： 32

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日 番号: H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当議の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.8 ↓ XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(45条, 本文)

担当 箇所	No.1~6の確認	
	日付	確認者
機械	H29.5.19	
機械	H29.5.19	
機械	H29.5.23	
機械	H29.5.26	
機械	H29.5.28	
機械	H29.5.30	
機械	H29.5.31	
機械	H29.5.31	
機械	H29.5.31	
機械	H29.5.1	
電気	H29.5.2	
計装	H29.5.27	
機械	H29.5.8	

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~4の実施確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.7	
電気	H29.6.7	
計装	H29.6.7	

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第45条

項目： 第45条

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記述の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.7 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一書に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起草経緯に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要件事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全数 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(45条, 補足説明)

担当 箇所	No.1~8の確認		
	日付	A	B
機械	H29.5.24	■■■■	■■■■
機械	H29.5.25	■■■■	■■■■
機械	H29.5.30	■■■■	■■■■
機械	H29.6.8	■■■■	■■■■
機械	H29.6.9	■■■■	■■■■
電気	H29.6.11	■■■■	■■■■

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo.1~6の実施確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.4	■■■■
電気	H29.6.9	■■■■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第40条

項目： 3.3

作成担当： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 添付日/添付者	プロジェクトマネージャー確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の補拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一書に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的技術内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-5/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 論記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(46条, 本文)

担当箇所	No.1~6の確認		
	口付	A	目
機械	H28.5.10	■■■■	■■■■
機械	H28.5.20	■■■■	■■■■
機械	H28.5.20	■■■■	■■■■
機械	H28.5.30	■■■■	■■■■
機械	H29.5.30	■■■■	■■■■
機械	H28.5.31	■■■■	■■■■
機械	H29.5.31	■■■■	■■■■
機械	H29.5.31	■■■■	■■■■
機械	H29.5.1	■■■■	■■■■
電気	H29.5.2	■■■■	■■■■
針灸	H29.5.27	■■■■	■■■■
機械	H29.6.5	■■■■	■■■■
機械	H29.6.8	■■■■	■■■■
機械	H29.6.7	■■■■	■■■■
機械	H29.6.7	■■■■	■■■■
電気	H29.6.7	■■■■	■■■■

担当箇所	No.7~12の確認及びNo.1~8の実施確認	
	口付	確認者
機械	H29.6.7	■■■■
電気	H29.6.7	■■■■
針灸	H29.6.7	■■■■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第46条

項目： 第46条

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日 署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)、特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記述経路に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	抜粋的統計内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-5/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-5/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 本文の確認 上記1～8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第47条

項目： 3.4

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、場名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、結果総括に論理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に誤りがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-4/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の議点のうち、KK-4/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	↓
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(47条, 本文)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
屋根	H29.5.19	■■■■	■■■■
屋根	H29.5.19	■■■■	■■■■
屋根	H29.5.20	■■■■	■■■■
屋根	H29.5.20	■■■■	■■■■
屋根	H29.5.30	■■■■	■■■■
屋根	H29.5.30	■■■■	■■■■
屋根	H29.5.31	■■■■	■■■■
屋根	H29.5.31	■■■■	■■■■
屋根	H29.5.31	■■■■	■■■■
屋根	H29.6.1	■■■■	■■■■
電気	H29.6.2	■■■■	■■■■
計装	H29.5.27	■■■■	■■■■
屋根	H29.6.3	■■■■	■■■■
屋根	H29.6.3	■■■■	■■■■

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
屋根	H29.6.7	■■■■
電気	H29.6.17	■■■■
計装	H29.6.17	■■■■

確認チェックシート


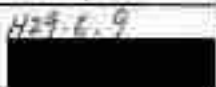
対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第47条

項目： 第47条

作成担当者： 小池 隆太郎

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.9 
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号種のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の請点のうち、KK-6/7号種にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(47条, 補足説明)

担当 部署	No.1~6の確認		
	日付	A	B
機械	H20.5.23	■■■■	■■■■
機械	H20.5.25	■■■■	■■■■
機械	H20.5.30	■■■■	■■■■
機械	H20.5.30	■■■■	■■■■
機械	H20.5.30	■■■■	■■■■
機械	H20.5.31	■■■■	■■■■
機械	H20.6.8	■■■■	■■■■
機械	H20.6.8	■■■■	■■■■
電気	H20.6.8	■■■■	■■■■
計装	H20.6.8	■■■■	■■■■

担当 部署	No.7~12の確認及びNo.1~6の実績確認	
	日付	確認者
機械	H20.6.9	■■■■■■
電気	H20.6.9	■■■■■■
計装	H20.6.9	■■■■■■

確認チェックシート

対象資料： IP申請書 or (まとの資料)

設置許可基準規則条文： 第48条

項目： 3.5

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日 署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定	記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとの資料)作成に用いた文書、記録簿全て。)	H29.6.8 [Redacted]
2		エビデンスは、当該として妥当性を確認したものであること。	↑
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	
4	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	
5		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位数が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
7	説明の妥当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果転換に無理がなく組み立てられていること。	
8		技術的説明内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとの資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	
10		KK-07号條のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	
11		先行各社の審査の論点のうち、KK-07号條にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
12	全般	誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.8 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： IP申請書 or ①主とめ資料

設備許可基準規則条文： 第48条

項目： 第48条

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト結核 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の種類としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス；当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録録全て。)	添付資料参照	H29.6.9 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 自家の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載範囲に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携等の、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KX-07号機のピアリング、審査全案でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KX-07号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全社 誤記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 [Redacted]

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(48条、補足説明)

担当 部署	No.7~8の確認		
	日付	A	B
機械	H29.5.24	████████	████████
機械	H29.5.25	████████	████████
機械	H29.5.25	████████	████████
機械	H29.5.29	██████	██████
機械	H29.5.30	████████	████████
機械	H29.5.31	████████	████████
機械	H29.5.31	████████	██████
機械	H29.6.5	██████	██████
機械	H29.6.7	████████	██████
機械	H29.6.8	████████	████████
機械	H29.6.8	████████	██████
電気	H29.6.8	████████	████████
計装	H29.6.8	████████	████████

担当 部署	No.7~12の確認及び(No.1~6の実地確認)	
	日付	確認者
機械	H29.6.9	████████
電気	H29.6.9	████████
計装	H29.6.9	████████

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or (まとめ資料)

設置許可基準規則条文： 第40条

項目： 3.5

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日： 2019.6.12

No	確認項目	資料作成場所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確立 記事の視認としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記述欄全て。)	添付資料参照	[Redacted] 2019.6.8
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している敬称、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果経路に論理がなく積み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に漏れがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の調査の調査の調査のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	[Redacted] 2019.6.8

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(49条, 本文)

担当 箇所	No.1～6の確認	
	日付	A B
機械	H28.5.10	
機械	H28.5.10	
機械	H29.5.26	
機械	H29.5.29	
機械	H29.5.30	
機械	H29.5.30	
機械	H29.5.31	
機械	H29.5.31	
機械	H29.5.31	
機械	H29.5.31	
機械	H29.5.1	
電気	H29.5.2	
計測	H29.5.27	
機械	H29.5.6	
機械	H29.5.6	

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo.1～6の実績確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.7	
電気	H29.6.7	
計測	H29.6.7	

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **主とめ資料**

登録許可基準規則条文： 第49条

項目： 第49条

作成担当者

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シヤー確認日/署名
1	エビデンス の提供 記事の題名としたエビデンスを全て収載していること。 (エビデンス：当該の申請書(又は主とめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.9
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内製造箇所(又は他分野の「主とめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内製造箇所(又は他分野の「主とめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	記述の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、継承範囲に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に誤れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内製造箇所(又は他分野の「主とめ資料」)との連携言明、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-07号欄のピアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の進捗のうち、KK-07号欄にも掲載する事項について対応誤れがないこと。	添付資料参照	
12	誤記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or (まとめ資料)

設置許可基準規則条文： 第50条

項目： 3.7

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト番号 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンス の確定 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.8 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、節・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、総論結論に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号欄のヒアリング、審査会自でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般的 誤記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.8 [Redacted]

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(50条, 本文)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
機械	H29.5.19	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.5.22	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.5.23	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.5.28	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.5.30	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.5.30	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.5.31	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.5.31	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.5.31	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.5.31	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.6.1	[REDACTED]	[REDACTED]
電気	H29.6.2	[REDACTED]	[REDACTED]
計装	H29.5.27	[REDACTED]	[REDACTED]
計装	H29.5.31	[REDACTED]	[REDACTED]
安全	H29.5.31	[REDACTED]	[REDACTED]
安全	H29.5.31	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.6.5	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.6.8	[REDACTED]	[REDACTED]
機械	H29.6.9	[REDACTED]	[REDACTED]

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo.1~6の実地確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.7	[REDACTED]
電気	H29.6.7	[REDACTED]
計装	H29.6.7	[REDACTED]
安全	H29.6.7	[REDACTED]

確認子エックシート

対象資料： EIP申請書 or (まとめ資料)

設置許可基準規則条文： 第50条

項目： 第50条

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト名： 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンス の確定	記載の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	H29.6.9 [Redacted]
2		エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	↑
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	
4	記述の整合性	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	
5		文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	
7	誤謬の妥当性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載記載に矛盾がなく組み立てられていること。	
8		技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との用語含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	
10		KK-079号機の出アライン、要変更台でのコメントについて、全て対応できていること。	
11		先行各社の変更の論点のうち、KK-079号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	
12	全盤	確認の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.9 [Redacted]

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(50条, 補足説明)

担当 部署	No.1~6の確認	
	日付	A B
機械	H29.5.24	■■■■ ■■■■
機械	H29.5.25	■■■■ ■■■■
機械	H29.5.26	■■■■ ■■■■
機械	H29.5.30	■■■■ ■■■■
機械	H29.5.31	■■■■ ■■■■
機械	H29.5.31	■■■■ ■■■■
計装	H29.5.31	■■■■ ■■■■
機械	H29.6.5	■■■■ ■■■■
機械	H29.6.5	■■■■ ■■■■
機械	H29.6.6	■■■■ ■■■■
機械	H29.6.6	■■■■ ■■■■
機械	H29.6.6	■■■■ ■■■■
電気	H29.6.6	■■■■ ■■■■
電気	H29.6.6	■■■■ ■■■■
計装	H29.6.6	■■■■ ■■■■

担当 部署	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.9	■■■■■■■■■■
電気	H29.6.9	■■■■■■■■■■
計装	H29.6.9	■■■■■■■■■■

確認チェックシート

対象資料： IP申請書 or (まとの資料)

設置許可基準規則集文：第50条

項目：別添1

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの検定	添付資料参照	H29.6.9 [Redacted]
2		添付資料参照	
3	用語の統一	添付資料参照	
4	記述の整合性	添付資料参照	
5		添付資料参照	
6		添付資料参照	
7	誤りの妥当性	添付資料参照	
8		添付資料参照	
9		添付資料参照	
10		添付資料参照	
11		添付資料参照	
12	全総 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(統括候補した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or (まとめ資料)

設備許可基準規則条文：第50条

項目：別添2

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の種別としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.5 [Redacted]
2	エビデンスは、冊子として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、総論転論に無関係な論拠がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	種別的検討内容に誤りがないこと。また、仕訳基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との重複を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号巻のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の重点のうち、KK-6/7号巻にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全巻 誤記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 [Redacted]

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(別添2)

担当箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
機組	H29.5.12	■	■
電気	H29.6.31	■	■
計装	H29.6.31	■	■
安全	H29.4.17	■	■
安全	H29.6.2	■	■
機組	H29.6.8	■	■
電気	H29.6.8	■	■
計装	H29.6.7	■	■
計装	H29.6.8	■	■

担当箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実施確認	
	日付	確認者
機組	H29.6.9	■
電気	H29.6.9	■
計装	H29.6.9	■
安全	H29.6.9	■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or (まとも資料)

設置許可基準規則条文： 第51条

項目： 3.3

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの根拠 (記述の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとも資料)作成に用いた文書、記録簿全て。))	添付資料参照	H29.6.9 [Redacted]
2	エビデンスは、当該として実効性を確認したものであること。	添付資料参照	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとも資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとも資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果経路に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとも資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-07号機のヒアリング、審査余剰でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-07号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 確認の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 [Redacted]

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(51条, 本文)

担当 部署	No.1~6の確認		
	日付	A	B
機械	H29.5.19		
機械	H29.5.19		
機械	H29.5.20		
機械	H29.5.30		
機械	H29.5.30		
機械	H29.5.31		
機械	H29.5.31		
機械	H29.5.1		
電気	H29.5.2		
計装	H29.5.27		
機械	H29.5.0		
機械	H29.5.5		
機械	H29.5.7		

担当 部署	No.7~12の確認及びNo1~6の実数確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.7	
電気	H29.6.9	
計装	H29.6.7	

確認チェックシート

対象資料： EIP申請書 or 主たる資料

設置許可基準規則条文：第51条

項目：第51条

作成担当者

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の証拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又は主たる資料)作成に用いた文書、記録類全て。) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照 H29.6.9	
2	用語の統一	添付資料参照	
3	記述の整合性	添付資料参照	
4	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位差が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	説明の妥当性	添付資料参照	
7	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
9	KK-6/7号欄のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
10	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
11	誤記の確認	添付資料参照	
12	全般	添付資料参照	H29.6.9

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第52条

項目： 3.9

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のアリリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の箇点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第52条

項目： 第52条

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス: 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29-6.9 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起筆結尾に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29-6.9 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(52条, 補足説明)

担当 箇所	No.1～80の確認		
	日付	A	B
機械	H29.5.28		
機械	H29.5.29		
機械	H29.5.30		
機械	H29.5.31		
計装	H29.5.31		
機械	H29.6.5		
機械	H29.6.9		
電気	H29.6.8		
計装	H29.6.7		
計装	H29.6.8		

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.9	
電気	H29.6.9	
計装	H29.6.9	

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 & **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第53条

項目： 3.10

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.3 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記録の複製としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.2 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと。	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機の高アリアング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の満点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.2 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(53条, 本文)

担当箇所	No.1～6の確認	
	日付	A
機械	H29.5.19	■
機械	H29.5.26	■
機械	H29.5.30	■
機械	H29.6.31	■
機械	H29.5.31	■
機械	H29.6.1	■
電気	H29.8.2	■
計装	H29.5.27	■
計装	H29.5.31	■

担当箇所	No.7～12の確認及びNo1～6の実査確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.2	■
電気	H29.6.2	■
計装	H29.6.2	■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第53条

項目： 第53条

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、番名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-5/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-5/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1～8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(53条, 補足説明)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
機械	H29.5.23	██████	██████
機械	H29.5.24	██████	██████
機械	H29.5.30	██████	██████
機械	H29.5.31	██████	██████
計装	H29.5.31	██████	██████
機械	H29.6.9	██████	██████
電気	H29.6.9	██████	██████
計装	H29.6.9	██████	██████

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo.1~6の実施確認	
	日付	確認者
機械	H29.6.9	██████
電気	H29.6.9	██████
計装	H29.6.9	██████

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 の **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第53条

項目： 別添3

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の複製したエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス; 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の議点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 調記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(別添3)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
機械	H28.5.18	■	■
計装	H28.5.31	■	■
計装	H28.5.31	■	■
計装	H28.5.31	■	■
電気	H28.6.8	■	■
計装	H28.6.8	■	■

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の実基確認	
	日付	確認者
機械	H28.6.9	■
電気	H28.6.9	■
計装	H28.6.9	■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第54条

項目： 3.11

作成担当者： [REDACTED]

プロジェクト統括 確認年月日、番号： H29.6.12 [REDACTED]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.8 [REDACTED]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	[REDACTED]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機とのアライン。審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執業した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.8 [REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第54条

項目： 第54条

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、番名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/番名
1	エビデンスの確定 記載の権柄としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29-6-9 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、継承統括に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に漏りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 鎮記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	↓ H29-6-9 XXXXXXXXXX

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第56条

項目： 3.13

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のとアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(56条, 本文)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
機城	H29.5.19	■■■■	■■■■
機城	H29.5.22	■■■■	■■■■
機城	H29.5.22	■■■■	■■■■
機城	H29.5.24	■■■■	■■■■
機城	H29.5.28	■■■■	■■■■
機城	H29.5.30	■■■■	■■■■
機城	H29.5.30	■■■■	■■■■
機城	H29.5.31	■■■■	■■■■
機城	H29.5.31	■■■■	■■■■
機城	H29.6.1	■■■■	■■■■
計装	H29.5.27	■■■■	■■■■
機城	H29.5.5	■■■■	■■■■
機城	H29.5.5	■■■■	■■■■

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo.1~6の実査確認	
	日付	確認者
機城	H29.6.7	■■■■
計装	H29.6.9	■■■■

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第56条

項目： 第56条

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、番号： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の補題としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録全て。)	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること、また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的横断内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-5/7号欄のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-5/7号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 熟記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(56条, 補足説明)

担当箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
補正	H29.5.28	[Redacted]	[Redacted]
検核	H29.5.30	[Redacted]	[Redacted]
検核	H29.5.30	[Redacted]	[Redacted]
検核	H29.5.30	[Redacted]	[Redacted]
検核	H29.5.31	[Redacted]	[Redacted]
検核	H29.6.5	[Redacted]	[Redacted]
検核	H29.6.5	[Redacted]	[Redacted]
検核	H29.6.5	[Redacted]	[Redacted]
検核	H29.6.8	[Redacted]	[Redacted]

担当箇所	No.7～13の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者
補正	H29.6.9	[Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： 第57条

項目： 本文、納品

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の標頭としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	別紙参照	H29.6.9 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別紙参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別紙参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別紙参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別紙参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に論理がなく組み立てられていること。	別紙参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	別紙参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	別紙参照	
10	HK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	別紙参照	
11	先行各社の審査の諸点のうち、HK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	別紙参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別紙参照	H29.6.9 [Redacted]

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(57条、補足説明)

担当 箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
電気	H29.6.1		
電気	H29.6.1		
電気	H29.6.1		
電気	H29.6.1		
電気	H29.6.1		
電気	H29.6.1		
電気	H29.6.1		
電気	H29.6.1		
電気	H29.6.1		
電気	H29.6.4		
電気	H29.6.4		
機械	H29.6.5		
機械	H29.6.7		
機械	H29.6.8		
機械	H29.6.8		
計装	H29.6.8		
電気	H29.6.5		
電気	H29.6.5		
電気	H29.8.6		
電気	H29.8.6		
電気	H29.8.8		
電気	H29.8.8		
電気	H29.8.8		
電気	H29.8.9		
電気	H29.8.9		

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第58条

項目： 3.15

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト総括 確認年月日、署名 H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の種別としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-5/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	全般 誤記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(58条, 本文)

担当 部署	No.1~6の確認		
	日付	A	B
計装	H29.5.29		
計装	H29.5.29		
電気	H29.6.2		
計装	H29.5.7		

担当 部署	No.7~12の確認及びNo1~6の再抽確認	
	日付	確認者
計装	H29.6.7	
電気	H29.6.7	

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第58条

項目： 第58条

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス; 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書, 記録類全て。)	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、取組統括に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のピアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	添付資料参照	
12	全票 原記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.8 XXXXXXXXXX

確認シート

対象資料： 事との資料

設置許可基準規則条文： 第59条(原子炉制室)

項目： 第3.18(等.1)

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括： 確認年月日： 署名： 2023.6.14 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンスの決定	記事の題名としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又は事との資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: B: (別紙参照)
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。		A: B: (別紙参照)
3	用語の統一	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: B: (別紙参照)
4	記述の整合性	目次の記述が、又中の章・項の番号、箇・系タイトル等と整合していること。	A: B: (別紙参照)
5		文中に引用している数値、単位は、歩掛先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「事との資料」を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B: (別紙参照)
6		文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「事との資料」を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B: (別紙参照)
7	説明の要領性	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記述範囲に無関係な内容が混在していること。	(別紙参照)
8		夜系約集封内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	(別紙参照)
9		申請書内関連箇所(又は他分野の「事との資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	(別紙参照)
10		KK-07号機のアリダング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	(別紙参照)
11		先行各社の審査の進捗のうち、KK-07号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	(別紙参照)
12	確認の満足	上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆者)以外の3名でダブルチェックしていること。	A: B: [Redacted]

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(59条, 補足説明)

担当 箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
橋脚	H29.5.29	[Redacted]	[Redacted]
渡ばく	H29.9.1		
渡ばく	H29.9.1		
渡ばく	H29.6.1		
渡ばく	H29.6.1		
渡ばく	H29.6.1		
渡ばく	H29.6.1		
渡ばく	H29.6.2		
渡ばく	H29.6.2		
渡ばく	H29.6.2		
渡ばく	H29.6.2		
渡ばく	H29.6.2		
渡ばく	H29.6.3		
渡ばく	H29.6.4	[Redacted]	[Redacted]
渡ばく	H29.6.4		
SGTS	H29.5.29		
SGTS	H29.6.2		
設備	H29.5.28		
設備	H29.5.31		
設備	H29.6.2		
SGTS	H29.6.9		
SGTS	H29.6.9		
設備	H29.6.9		
設備	H29.6.9		
設備	H29.6.14		

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認者
安全	H29.6.5	[Redacted]
設備	H29.6.2	
SGTS	H29.6.5	
設備	H29.6.14	

確認チェックシート

対象資料： までの資料

改定許可基準規則条文： 第60条

項目：

作成担当者：

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.13

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シテ 確認日/署名
1	エビデンス の整理 エビデンス： 記事の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス： 当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録両方で。)	H29.5.11	H29.6.9
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	H29.5.11	H29.6.9
3	用語の統一 用語部一表に記載されている用語に統一されていること	H29.6.7	H29.6.9
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	H29.6.9	H29.6.9
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.6.9	H29.6.9
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.6.9	H29.6.9
7	説明の妥当性 記述している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.9	H29.6.9
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.6.9	H29.6.9
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携等の、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.7	H29.6.9
10	KK-07号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.9	H29.6.9
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-07号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.9	H29.6.9
12	調記の確認 上記1~6の確認を合め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.9	H29.6.9

確認チェックシート

対象資料： までの資料

設置許可基準規程条文： 第01条 (緊急時対策所)

項目： 3.10(rev.1)

作成担当者

プロジェクト統括 確認年月日、署名： 2023.6.14

No	確認項目	資料作成箇所 課題日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンスの構造 エビデンスの項目としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はその資料)作成に用いた文書、記録類全て。) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: B: (別紙参照)	2023.6.14 [Redacted]
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	A: B: (別紙参照)	
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: B: (別紙参照)	
4	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、属出先が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B: (別紙参照)	
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(逆しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B: (別紙参照)	
6	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記号統括に無理がなく組み立てられていること。	A: B: (別紙参照)	
7	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと。	(別紙参照)	
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	(別紙参照)	
9	KK-07号欄のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	(別紙参照)	
10	先行各社の審査の請点のうち、KK-07号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	(別紙参照)	
11	図記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(調核執事した者)以外の3名でダブルチェックしていること。	(別紙参照)	2023.6.14 [Redacted]

*1 越えく抵減のための設備(SGTS)の取型に関するもの

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表 (61条, 本文)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
安全	H20.5.10		
安全	H20.5.15		
安全	H20.5.31		
安全	H20.6.5		
設備	H20.5.22		
設備	H20.5.22		
設備	H20.5.23		
設備	H20.5.24		
建物	H20.5.26		
設備	H20.5.10		
設備	H20.5.31		
設備	H20.5.31		
設備	H20.4.1		
建物	H20.6.2		
建物	H20.6.2		
設備	H20.6.8		
設備	H20.6.9		
設備	H20.6.14		

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo1~6の戻付確認	
	日付	確認表
設備	H20.6.2	
設備	H20.6.14	

確認チェックシート

対象資料： まとめ資料（補足説明）

設置許可基準別表文：第01条（緊急時対策所）

項目：3.18(Rev.1)

作成担当者： [Redacted]


プロジェクト統括 確認年月日、署名： 429.6.14 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンス記載の要約としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: (別紙参照) B: (別紙参照)	[Redacted]
2	エビデンスは、資料として業当性を確認したものであること。	A: (別紙参照) B: (別紙参照)	[Redacted]
3	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: (別紙参照) B: (別紙参照)	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: (別紙参照) B: (別紙参照)	[Redacted]
5	文中に記述している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」を参照している場合は十分に相互確認すること。	A: (別紙参照) B: (別紙参照)	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」を参照している場合は十分に相互確認すること。	A: (別紙参照) B: (別紙参照)	[Redacted]
7	誤用している内容に論理的矛盾がないこと。また、記述転写に懸念がなく組み立てられていること。	A: (別紙参照) B: (別紙参照)	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	(別紙参照)	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	(別紙参照)	[Redacted]
10	XX-477号機のヒアリング、審査会までのコメントについて、全て対応できていること。	(別紙参照)	[Redacted]
11	発行会社の要約の観点のうち、XX-477号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	(別紙参照)	[Redacted]
12	添記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	(別紙参照)	[Redacted]

*1 概ぼく低減のための設備(SGTS)の審査項目の

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(61条, 補足説明)

担当 箇所	No.1～60の確認		
	日付	A	R
安全	H29.8.10		—
安全	H29.8.15		—
安全	H29.8.21		
安全	H28.6.5		
設備	H29.5.22		
設備	H29.5.22		
設備	H29.5.23		
設備	H29.5.24		
建物	H29.5.26		
設備	H29.5.30		
設備	H29.5.31		
設備	H29.5.31		
設備	H29.6.1		
建物	H29.8.2		
建物	H29.8.2		
設備	H29.8.5		
設備	H29.8.9		
設備	H29.8.14		

担当 箇所	No.7～120の確認及びNo1～6の実施確認	
	日付	確認済
設備	H29.8.2	
設備	H29.6.14	

確認チェックシート

対象資料： ED申請書 or ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

設置許可基準規則条文：第62条

項目：3.18

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括： 確認年月日： 署名： H29.6.12

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの指定 記載の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録等を。) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	H29.6.8 [Redacted]
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	[Redacted]
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	[Redacted]
4	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	[Redacted]
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	[Redacted]
6	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、根拠材料に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	[Redacted]
7	技術的検証内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	[Redacted]
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	[Redacted]
9	KK-67号案のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	[Redacted]
10	先行各社の審査の議点のうち、KK-67号案にも該当する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	[Redacted]
11	前記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執事した者)以外の名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	[Redacted]
12	全表	添付資料参照	H29.6.8 [Redacted]

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(62条, 本文)

担当 箇所	No.1~6の確認		
	日付	A	B
電気	H28.5.30		
電気	H28.5.30		
電気	H28.8.1		
電気	H28.8.8		

担当 箇所	No.7~12の確認及びNo.1~6の実施確認	
	日付	確認者
電気	H28.6.8	

確認チェックシート

対象資料： IP申請書 or **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 第62条

項目： 第62条

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー 確認日/確認者
1	エビデンスの確立 記載の題名としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記載欄全て。)	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、図承転記に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的技術内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-67号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-67号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	図説の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆者以外)の2名でダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.9 XXXXXXXXXX

SAまとめ資料ダブルチェック実績管理表(62条, 補足説明)

担当 箇所	No.1～6の確認		
	日付	A	B
電気	H29.5.29	[REDACTED]	[REDACTED]
電気	H29.5.29	[REDACTED]	[REDACTED]
電気	H29.5.29	[REDACTED]	—
電気	H29.5.29	—	[REDACTED]
電気	H29.5.29	[REDACTED]	[REDACTED]
電気	H29.5.27	[REDACTED]	[REDACTED]
電気	H29.5.29	[REDACTED]	[REDACTED]
電気	H29.5.30	[REDACTED]	[REDACTED]
電気	H29.6.6	[REDACTED]	[REDACTED]
電気	H29.6.8	[REDACTED]	[REDACTED]

担当 箇所	No.7～12の確認及びNo1～6の実証確認	
	日付	確認者
電気	H29.6.9	[REDACTED]

確認チェックシート

対象資料： 印申請書 or (表とめ資料)

設置許可基準規則条文

項目： その他設備(3.20～24)

作成担当者

プロジェクト名称 建設年月日 番名: H29.6.13

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/番名
1	エビデンス記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録簿全て。)	添付資料参照	H29.6.13
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付資料参照	↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付資料参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付資料参照	
5	文中に記述している数値、単位は、申請書の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付資料参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	添付資料参照	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	添付資料参照	
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	添付資料参照	
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	添付資料参照	
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	添付資料参照	
12	添記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の者がダブルチェックしていること。	添付資料参照	H29.6.13

確認チェックシート

対象資料： IP申請書 () 事とめ資料

改定許可基準規則条文： 技術的能力

項目： 1.0 兼大事放等対策における共通事項

作成担当： [Redacted]

プロジェクト横断 確認年月日 番号： 101169

No	確認項目	受審者所属 課題名/確認者	プロジェクトマネー シマ/確認日/署名
1	エビデンス の概要 記載の前提としたエビデンスを全て反映していること。 (エビデンス： 当該の申請書(又はまとの資料)作成に用いた文書、記録等全て。)	[Redacted]	[Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	[Redacted]	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	[Redacted]	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	[Redacted]	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	[Redacted]	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(詳しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	[Redacted]	[Redacted]
7	前提の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、結果和結に論理がなく組み立てられていること。	[Redacted]	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	[Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとの資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted]	[Redacted]
10	KK-IP7等種のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted]	[Redacted]
11	先行各社の審査の時点のうち、KK-IP7号種にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted]	[Redacted]
12	記載の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直轄執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	[Redacted]	[Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめの資料

設置許可基準規則条文： SA対象に必要な技術的能力

項目： 申請書資料 八〇.1

作成担当者：

プロジェクト統括 確認年月日 署名： 2019.6.8

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー チェック確認日/署名
1	エビデンス の確実 エビデンスとしてエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録等にて。) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	H29.6.8
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	
4	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
6	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.1	
7	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.6.1	
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.1	
9	KK-67号欄のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.1	
10	先行各社の審査の踏点のうち、KK-67号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.1	
11	添記の確証 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.8

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力

(添付資料 1.0.1)

確認日: H29.6.2 チームリーダー:

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.1	[Redacted]
No.2		
No.3	・第一次 H29.4.11	・第一次 [Redacted]
No.4		
No.5	・第二次 H29.6.2	・第二次 [Redacted]
No.6		

権認チャェックシート

対象資料： 印申請書 **※ 主たる資料**

取准許可基準規則条文： 技術的能力

項目： 1.0.2可搬型震大事故等対応施設画像場所及びアグセスルートについて(防災安全0分)

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト概要 竣工年月日 署名: H29.6.15

No	確認項目	資料作成場所 確認日/確認者	プロジェクトマネー サイン/確認日/署名
1	エビデンスの構成 (エビデンス) 記事の題名としたエビデンスを全て掲載していること。 (エビデンス) 当該の申請書(又は主たる資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	[Redacted] [Redacted]	H29.6.15 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	[Redacted] [Redacted]	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	[Redacted] [Redacted]	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	[Redacted] [Redacted]	[Redacted]
5	文中に引用している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位等が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	[Redacted] [Redacted]	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	[Redacted] [Redacted]	[Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、応募記載に無理がなく組み立てられていること。	[Redacted] H29.6.9	[Redacted]
8	技術的検討内容一貫性が無いこと。また、技術基準を言及する事項への対応に漏れが無いこと	[Redacted] H29.6.9	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted] H29.6.9	[Redacted]
10	KK-6の各種のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted] H29.6.9	[Redacted]
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6の各種にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted] H29.6.9	[Redacted]
12	誤記の修正 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執事した者)以外の者でダブルチェックしていること。	[Redacted] H29.6.9	H29.6.15 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： 印刷請求書 の 要約と複製

登録許可基準規程第 11 条 第 1 項 第 1 号

作成担当者： [Redacted]

確認年月日、署名： H29.6.9

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/確認者
1	エビデンスの決定	H29.6.9 H29.6.9	H29.6.9
2	エビデンスは、原簿の転記元(参照先)に加え、当該としてそれ以上の通り確認が可能なもの(一家エビデンス)を決定していること。	H29.6.9 H29.6.9	H29.6.9
3	原子力規制庁の管理フォルダに保存されている用紙類一式に記録されている用語に統一されていること	H29.6.9 H29.6.9	H29.6.9
4	目次の記述が、文中の家・項の番号、目・表タイトル等と整合していること。	H29.6.9 H29.6.9	H29.6.9
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位数が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.6.9 H29.6.9	H29.6.9
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	H29.6.9 H29.6.9	H29.6.9
7	記載の内容に誤謬の矛盾がないこと。また、図表転記に弊害がなく組み立てられていること。	H29.6.9	H29.6.9
8	技術的技術内容及び記載すべき事項に誤り、漏れがないこと。(技術基準を含む要求事項への対応を含む)	H29.6.9	H29.6.9
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある語彙となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.9	H29.6.9
10	MS-Word 等のワーキング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.9	H29.6.9
11	先行各社の審査の進捗のうち、MS-Word 等にも関連する事項について対応確認が完了していること。	H29.6.9	H29.6.9
12	ワーキング、審査会でのコメントについて、工務、保安精査、マニュアル、手順書等の後工程でも対応が必要な事項が引き継がれていること。	H29.6.9	H29.6.9
13	調査の進展 上記1~12の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の者でダブルチェックしていること。	H29.6.9	H29.6.9

確認シート

対象資料： EP申請書 (or 要約書)

設置許可基準規則本文： 技術的能力

項目： 10.3号備品等の確保及び保管場所について

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト番号 確認年月日 署名： 1129.6.2

No	確認項目	資料作成場所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンス記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	確認日: 1129.6.1 確認者: [Redacted]	1129.6.2 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	確認日: 1129.6.1 確認者: [Redacted]	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	確認日: 1129.6.1 確認者: [Redacted]	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	確認日: 1129.6.1 確認者: [Redacted]	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: 1129.6.1 確認者: [Redacted]	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: 1129.6.1 確認者: [Redacted]	[Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	1129.6.1 [Redacted]	[Redacted]
8	技術的領域内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に誤りが無いこと	1129.6.1 [Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一意性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	1129.6.1 [Redacted]	[Redacted]
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	1129.6.1 [Redacted]	[Redacted]
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	1129.6.1 [Redacted]	[Redacted]
12	記述の確認 上記1~10の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	1129.6.1 [Redacted]	1129.6.2 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 技術的能力

項目： 1.0.4外部からの支援について

作成担当者 **[Redacted]**

プロジェクト統括 確認年月日、署名： **[Redacted]** 129.6.2

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の種別としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	[Redacted] 確認日: 129.6.2 確認者: [Redacted]	H29.6.2 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	[Redacted] 確認日: 129.6.2 確認者: [Redacted]	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	[Redacted] 確認日: 129.6.2 確認者: [Redacted]	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	[Redacted] 確認日: 129.6.2 確認者: [Redacted]	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	[Redacted] 確認日: 129.6.2 確認者: [Redacted]	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	[Redacted] 確認日: 129.6.2 確認者: [Redacted]	[Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に基礎的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく読み立てられていること。	[Redacted] 確認日: 129.6.2 確認者: [Redacted]	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準をまひ要求事項への対応に選れが無いこと	[Redacted] 確認日: 129.6.2 確認者: [Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted] 確認日: 129.6.2 確認者: [Redacted]	[Redacted]
10	KK-077号種のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted] 確認日: 129.6.2 確認者: [Redacted]	[Redacted]
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-077号種にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted] 確認日: 129.6.2 確認者: [Redacted]	[Redacted]
12	全般 確認の徹底 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	[Redacted] 確認日: 129.6.2 確認者: [Redacted]	H29.6.2 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 (※ まとめた資料)

版権許可基準規則条文： 技術的能力

項目： 1.0.5重大事故等への対応に係る文書体系

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト番号： H29.6.2

No	確認項目	資料作成箇所 項目名/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/確認者
1	エビデンスの確度としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	[Redacted] [Redacted] 最終確認: K08.6	H29.6.2 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: K08.6	[Redacted]
3	用語統一表に収録されている用語に統一されていること	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
4	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位数が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
7	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起來転換に無理がなく組み立てられていること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を言及する事項への対応に漏れがないこと	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
10	KX-6/7号條のヒアリング、審査会言でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
11	先行各社の要本の観点のうち、KX-6/7号條にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
12	前記の事項 上記1~6の準拠を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	H29.6.2 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or 特許料資料

設置許可基準規則条文： SA型車に必要技術的能力

項目： 特許料 1.0.1

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト番号 確認年月日 署名： H29.6.12 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー 確認日/確認者
1	エビデンスの確定 記載の項目としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録等全て。)	別添参照	H29.6.11 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、節・表タイトル等と整合していること。	別添参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記述範囲に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.9 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-67号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-67号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全段 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.11 [Redacted]

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力

(添付資料 1.0.6)

確認日:

H29.6.9

チームリーダー:

[Redacted]

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.2	[Redacted]
No.2		
No.3	・第一次 H29.5.9	・第一次 [Redacted]
No.4	・第二次 H29.6.3	[Redacted]
No.5		
No.6		

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

設置許可基準規則条文： SA対策に必要な技術的能力

項目： 添付資料 1.1.7

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.8

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー 確認日/署名
1	エビデンス の確定 記載の模範としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文章、記録類全て。) エビデンスは、書社として妥当性を確認したものであること。	集約参照 H29.6.8	[Redacted]
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	集約参照	
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	
4	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
6	説明の整合性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。 技術的検討内容に漏りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.8 [Redacted]	
7	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。 KK-077号機のコアリング、審査会台でのコメントについて、全て対応できていること。		
8	先行各社の審査の議点のうち、KK-077号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
9	議点の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執事した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H29.6.8

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力

(添付資料 1.0.7)

確認日: H29.6.7

チャームリーダー:

確認項目	確認日	確認者
No.1	H29.6.5	[Redacted]
No.2		
No.3	第一次 H29.5.29	[Redacted]
No.4		
No.5	第二次 H29.6.6	[Redacted]
No.6		

x Rev.0に対して全て修正箇所を及戻ししていること
 確認品の追加検査について、既に完了しているもの。H29.6.12
 に最終確認実施。

確認シート

対象資料： EP申請書 (まとめ変更)
 設置許可基準規則条文： 技術的能力
 項目： 1.0.5大津波警報発令時の原子炉停止操作等について
 作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.9 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シヤ- 確認日/署名
1	エビデンス の健全 エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	確認日 H29.6.9 確認者 [Redacted] 最終確認 H29.6.9	[Redacted] [Redacted]
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	確認日 H29.6.9 確認者 [Redacted] 最終確認 H29.6.9	[Redacted]
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	確認日 H29.6.9 確認者 [Redacted] 最終確認 H29.6.9	[Redacted]
4	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日 H29.6.9 確認者 [Redacted] 最終確認 H29.6.9	[Redacted]
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日 H29.6.9 確認者 [Redacted] 最終確認 H29.6.9	[Redacted]
6	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、請求範囲に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.9 [Redacted]	[Redacted]
7	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.6.9 [Redacted]	[Redacted]
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との整合性、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な数値となっていること。	H29.6.9 [Redacted]	[Redacted]
9	KK-67号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.9 [Redacted]	[Redacted]
10	先行各社の審査の経緯のうち、KK-67号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.9 [Redacted]	[Redacted]
11	図記の確認	H29.6.9 [Redacted]	[Redacted]
12	全般 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.9 [Redacted]	H29.6.9 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料：EP申請書 (※ までの資料)

登録許可基準項目対象文：技術的能力

項目：1.0.8重大事故等の対応に係る教育及び訓練について

作成担当：[Redacted]

プロジェクト名称：[Redacted] 申請年月日：[Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 申請日/確認者	プロジェクトマネージャー 申請日/確認者
1	エビデンス の確定 (エビデンスは、申請書の添付書類(又はその資料)作成に用いた文書、記録類を含め、) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	添付書類: [Redacted] 確認者: [Redacted] 申請日: [Redacted]	[Redacted] 申請日: [Redacted]
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	添付書類: [Redacted] 確認者: [Redacted] 申請日: [Redacted]	[Redacted]
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	添付書類: [Redacted] 確認者: [Redacted] 申請日: [Redacted]	[Redacted]
4	文中に記述している表注、脚注は、参照先の図・表と整合していること。また、単位数が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付書類: [Redacted] 確認者: [Redacted] 申請日: [Redacted]	[Redacted]
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(逆しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	添付書類: [Redacted] 確認者: [Redacted] 申請日: [Redacted]	[Redacted]
6	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載範囲に無理がなく組み立てられていること。	申請日: [Redacted] 確認者: [Redacted]	[Redacted]
7	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	申請日: [Redacted] 確認者: [Redacted]	[Redacted]
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある図表となっていること。また、誤体 的な説明となっていること。	申請日: [Redacted] 確認者: [Redacted]	[Redacted]
9	XX-YY号欄のコメントについて、全て対応できていること。	申請日: [Redacted] 確認者: [Redacted]	[Redacted]
10	発行者の審査の観点のうち、XX-YY号欄にも関連する事項について対応漏れがないこと。	申請日: [Redacted] 確認者: [Redacted]	[Redacted]
11	誤記の確認 上記1~11の項目を含め、作成表(直前執筆した表)以外の名でダブルチェックしていること。	申請日: [Redacted] 確認者: [Redacted]	[Redacted]
12	全量	申請日: [Redacted] 確認者: [Redacted]	[Redacted]

確認子エックシート

対象資料：EP申請書 **（まとも資料）**

般許可基準規則条文：技術的能力

項目：1.0.10重大事故等の体制について

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日：署名： 1129.6.15 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 申請日/確認者	プロジェクトマネー シヤ 確認日/署名
1	エビデンス 記述の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 の確定 (エビデンス、当該の申請書(又はまとも資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	申請日: 1129.5.27 確認者: [Redacted]	1129.6.15 [Redacted]
2	エビデンスは、自社として妥当性を確認したものであること。	申請日: 1129.5.27 確認者: [Redacted]	[Redacted]
3	用語統一表に記載されている用語に統一されていること	申請日: 1129.5.27 確認者: [Redacted]	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、節・表タイトル等と整合していること。	申請日: 1129.5.27 確認者: [Redacted]	[Redacted]
5	文中に引用している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとも資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	申請日: 1129.5.27 確認者: [Redacted]	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとも資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	申請日: 1129.5.27 確認者: [Redacted]	[Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記載趣旨に無理がなく組み立てられていること。	申請日: 1129.5.27 確認者: [Redacted]	[Redacted]
8	技術的検討内容に漏りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	申請日: 1129.5.27 確認者: [Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとも資料」)との連携きめ、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	申請日: 1129.5.27 確認者: [Redacted]	[Redacted]
10	1129.6.7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	申請日: 1129.5.27 確認者: [Redacted]	[Redacted]
11	先行会社の審査の観点のうち、1129.6.7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	申請日: 1129.5.27 確認者: [Redacted]	[Redacted]
12	副読の確証 上記1~8の確認をきめ、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	申請日: 1129.5.27 確認者: [Redacted]	1129.6.15 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 (まとめ資料)

放置許可基準規程条文： 技術的能力

項目： 1.0.11重大事故等発生時の乗用原子炉主任技術者の役割について

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト経路： 確認年月日、履名： H29.6.2

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの種別 記載の種別としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て、) エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.2	H29.6.2 [Redacted]
2	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
3	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
4	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
5	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
6	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、記号・略称に無理がなく組み立てられていること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
7	技術的技術内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
8	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との整合性、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
9	KK-6/7号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
10	発行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
11	図説の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	[Redacted]
12	全総	[Redacted] [Redacted] 最終確認: H29.6.1	H29.6.2 [Redacted]

確認チャックシート

対象資料： EIP申請書 (まとめ資料)

設置許可基準検討条文： 技術的能力

項目： 1.0.12 権限第一原子力発電所の事故発生を防止するための措置について

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト経過、確認年月日、署名： H29.6.15 [Redacted]

No	確認項目	資料作成履歴 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの概要 (エビデンスを全て収録していること、エビデンス： 当稿の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	確認日: 2023.6.15 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.15	H29.6.15 [Redacted]
2	エビデンスは、当社において実証を要したものであること。	確認日: 2023.6.15 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.15	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	確認日: 2023.6.15 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.15	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	確認日: 2023.6.15 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.15	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: 2023.6.15 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.15	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: 2023.6.15 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.15	[Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に無理がなく組み立てられていること。	確認日: 2023.6.15 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.15	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	確認日: 2023.6.15 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.15	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)との整合性、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	確認日: 2023.6.15 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.15	[Redacted]
10	PK-67等個別ヒアリング、審査者までのコメントについて、全て対応できていること。	確認日: 2023.6.15 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.15	[Redacted]
11	主行各社の審査の観点のうち、PK-67等にも関連する事項について対応漏れがないこと。	確認日: 2023.6.15 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.15	[Redacted]
12	図記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	確認日: 2023.6.15 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.15	H29.6.15 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 6号 まとめ資料

設置許可基準規則条文：技術的能力

項目：1.0.18緊急時対策要員の作業時における装備について

作成担当書： [Redacted]

プロジェクト総括 確認年月日、署名： [Redacted]

H29.6.2

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの構成 記述の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	確認日: 2023.5.24 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.1	H29.6.2 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	確認日: 2023.5.24 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.1	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	確認日: 2023.5.24 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.1	[Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、副次タイトル等と整合していること。	確認日: 2023.5.24 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.1	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: 2023.5.24 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.1	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: 2023.5.24 確認者: [Redacted] 最終確認: 2023.6.1	[Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起原経路に無理がなく組み立てられていること。	2023.6.1	[Redacted]
8	技術的技術内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	H29.6.1	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.1	[Redacted]
10	KK-6/7号棟のアリリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.1	[Redacted]
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-6/7号棟にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.1	[Redacted]
12	全観 上記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.1	H29.6.2 [Redacted]

確認シート

対象資料： 印申請書 or まとめ資料

致送許可基準別添文： SA対象に必要な技術的能力

項目： 添付資料 / E-017

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H24.6.8 [Redacted]

No	確認項目	資料作成場所 確認日/確認者	プロジェクトマネー シッター/確認日/署名
1	エビデンス の確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録部全て。)	別添参照	H24.6.8 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	別添参照	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	別添参照	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章、項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	別添参照	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	別添参照	
7	誤明の妥 当性 誤明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H24.6.8 [Redacted]	
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-077号機のヒアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	発行各社の審査の箇条のうち、KK-077号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全版 誤記の確認 上記1~8の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	別添参照	H24.6.8 [Redacted]

確認チェックシート 別添

SA対策に必要な技術的能力

(別添資料 1.0.14)

確認日: H29.6.8

チームリーダー: [Redacted]

確認項目	確認日	確認者	
No.1	H29.5.31	[Redacted]	
No.2			
No.3	・第一次 H29.5.19	・第一次 [Redacted]	
No.4	H29.6.7	[Redacted]	
No.5			・第二次
No.6			

確認シート

対象資料： IP申請書 (まとの資料)

設置許可基準規則条文： 技術的能力

項目： 10.15 技術変更の長期にわたる状態維持に係る体制の整備について

作成担当者： [Redacted]

1429.6.2

No.	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジヤ 確認日/署名
1	エビデンスの範囲としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとの資料)作成に用いた文章、記録欄にて。)	確認日: 1429.5.31 確認者: [Redacted]	1429.6.2
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	確認日: 1429.5.31 確認者: [Redacted]	[Redacted]
3	用語統一表に収録されている用語に統一されていること	確認日: 1429.5.31 確認者: [Redacted]	[Redacted]
4	目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	確認日: 1429.5.30 確認者: [Redacted]	[Redacted]
5	文中に引用している数値、単位は、参考文献の図・表と整合していること。また、単位数が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: 1429.5.30 確認者: [Redacted]	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参考文献の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとの資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日: 1429.5.30 確認者: [Redacted]	[Redacted]
7	説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、結果説明に無理がなく組み立てられていること。	確認日: 1429.6.1 確認者: [Redacted]	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に誤れがないこと	確認日: 1429.6.1 確認者: [Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとの資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	確認日: 1429.6.1 確認者: [Redacted]	[Redacted]
10	KK-4/7号規のヒアリング、審査会までのコメントについて、全て対応できていること。	確認日: 1429.6.1 確認者: [Redacted]	[Redacted]
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-4/7号規にも関連する事項について対応箇所がないこと。	確認日: 1429.6.1 確認者: [Redacted]	[Redacted]
12	図記の確認 上記1~4の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	確認日: 1429.6.1 確認者: [Redacted]	1429.6.2

確認シート

対象資料：EP申請書 (※ 主たる資料)

設置許可基準規則条文：技術的能力

項目：10.16重大事故等発生時における停止考据の影射について

作成担当者：[Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日 署名 H29.6.15 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日 / 確認者	プロジェクトマネージャー 確認日 / 確認者
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収録していること。 (エビデンス、当該の申請書(又は主たる資料)作成に用いた文書、記録簿全て。)	確認日 H29.6.11 確認者 [Redacted]	H29.6.15 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	確認日 H29.6.11 確認者 [Redacted]	[Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	確認日 H29.6.11 確認者 [Redacted]	[Redacted]
4	記号の統一 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	確認日 H29.6.11 確認者 [Redacted]	[Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日 H29.6.11 確認者 [Redacted]	[Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	確認日 H29.6.11 確認者 [Redacted]	[Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起草段階に無理がなく組み立てられていること。	確認日 H29.6.11 確認者 [Redacted]	[Redacted]
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと	確認日 H29.6.11 確認者 [Redacted]	[Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「主たる資料」)との連絡を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	確認日 H29.6.11 確認者 [Redacted]	[Redacted]
10	NK-67号機のトアリング、審査会でのコメントについて、全て対応できていること。	確認日 H29.6.11 確認者 [Redacted]	[Redacted]
11	発行各社の審査の積点のうち、NK-67号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	確認日 H29.6.11 確認者 [Redacted]	[Redacted]
12	表記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	確認日 H29.6.11 確認者 [Redacted]	H29.6.15 [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 技術的能力

項目： プロジェクト統括 プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12

作成担当者： **[Redacted]** (秋-添付)

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記述の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.6.12 B: [Redacted]	H29.6.12 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: B:	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: B:	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: B:	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、趣意転載に無意味がなく組み立てられていること。		
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のアライング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.12 [Redacted]	H29.6.12 [Redacted]

ダブルチェック者：**[Redacted]**

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 技術的能力

項目： （ここに申請書等の名称を記載してください） プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12

作成担当者： XXXXXXXXXX

(R) (R)

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.6.12 B: XXXXXXXXXX	H29.6.12 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: ↑ B: ↑	↑ ↑
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: B:	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: B:	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく読み立てられていること。		
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	合観 議記の確認 上記1~11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.12 XXXXXXXXXX	H29.6.12 XXXXXXXXXX

ダブルチェック者: XXXXXXXXXX

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 **まとめ資料**

設置許可基準規則条文： 技術的能力

項目： ※申請書の審査項目と一致することを確認する必要がある場合はここに記入してください プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.12 [Redacted]

作成担当者： [Redacted] (担当)

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス：当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.6.10 B: [Redacted]	H29.6.10 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: B:	
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: B:	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: B:	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、取承認括に無理がなく組み立てられていること。		
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携等の、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の抜点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 記述の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.10 [Redacted]	H29.6.10 [Redacted]

ダブルチェック者： [Redacted]

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 **or** まとめ資料

設置許可基準規則条文： 技術的能力

項目： **（引用）プロジェクト総括** 確認年月日： H29.6.12

作成担当者： **（引用）**

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス、当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.6.10 B: （引用）	H29.6.10 （引用）
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: B: （引用）	（引用）
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: B:	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: B:	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。		
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全総 上記の確認 上記1～6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.10 （引用）	H29.6.10 （引用）

ダブルチェック者： **（引用）**

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

原子炉等規制法条文： 第43条の3の6

項目： 第1項第2号(経理的基础)

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： H29.6.9 XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネー ジャー確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録等全て。)	A: 2017.6.9 XXXXXXXXXX B: 2017.6.9 XXXXXXXXXX	2017.6.9 XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: 2017.6.9 XXXXXXXXXX B: 2017.6.9 XXXXXXXXXX	2017.6.9 XXXXXXXXXX
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること。	A: 2017.6.9 XXXXXXXXXX B: 2017.6.9 XXXXXXXXXX	2017.6.9 XXXXXXXXXX
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: XXXXXXXXXX B: XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: XXXXXXXXXX B: XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: XXXXXXXXXX B: XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、因果関係に無理がなく組み立てられていること。	2017.6.9 XXXXXXXXXX	2017.6.9 XXXXXXXXXX
8	技術的検討内容に誤りがないこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れがないこと。	2017.6.9 XXXXXXXXXX	2017.6.9 XXXXXXXXXX
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	2017.6.9 XXXXXXXXXX	2017.6.9 XXXXXXXXXX
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会会でのコメントについて、全て対応できていること。	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
11	先行各社の審査の議点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
12	全般 誤記の確認 上記1~9の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	2017.6.9 XXXXXXXXXX	2017.6.9 XXXXXXXXXX

確認チェックシート

対象資料: EP申請書 or まとめ資料

添付資料は、技術基準等準拠条文: 第43条の2

項目: まとめ資料 (別紙)

作成担当者: []

プロジェクト統括 確認年月日、署名: H29.6.4 []

No	確認項目	資料作成場所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て、)	A: H29.6.4 [] B: H29.6.4 []	H29.6.4 []
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.4 [] B: H29.6.4 []	H29.6.4 []
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.4 [] B: H29.6.4 []	H29.6.4 []
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.4 [] B: H29.6.4 []	H29.6.4 []
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.4 [] B: H29.6.4 []	H29.6.4 []
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.4 [] B: H29.6.4 []	H29.6.4 []
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく読み立てられていること。	H29.6.4 []	H29.6.4 []
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に漏れが無いこと	H29.6.4 []	H29.6.4 []
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.4 []	H29.6.4 []
10	KK-8/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.4 []	H29.6.4 []
11	先行各社の審査の観点のうち、KK-8/7号機にも関連する事項について対応漏れが無いこと。	H29.6.4 []	H29.6.4 []
12	全般 誤記の確認 上記1-11の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.4 []	H29.6.4 []

* p5 工事計画を除く

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料 *rev1*

原子炉等規制法条文： 第43条の3の8

項目： 第1項第2号(技術的能力)

作成担当者： XXXXXXXXXX

プロジェクト統括 確認年月日、署名： *H29.6.8* XXXXXXXXXX

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス;当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: <i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX B: <i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX	<i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: <i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX B: <i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX	<i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX
3	用語の統一 用語統一欄に記載されている用語に統一されていること	A: B:	
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: B:	
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: <i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX B: <i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX	<i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: B:	
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起業統括に無理がなく組み立てられていること。	<i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX	<i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に誤りが無いこと		
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携を含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。		
10	KK-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。		
11	先行各社の審査の論点のうち、KK-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。		
12	全般 原記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	<i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX	<i>H29.6.8</i> XXXXXXXXXX

確認チェックシート

対象資料： EP申請書 or まとめ資料

原子炉等規制法条文： 第43条の3の6

項目： 第1項第2号(技術的能力)

作成担当者： [Redacted]

プロジェクト統括 確認年月日 署名: H29.6.4 [Redacted]

No	確認項目	資料作成箇所 確認日/確認者	プロジェクトマネージャー 確認日/署名
1	エビデンスの確定 記載の根拠としたエビデンスを全て収集していること。 (エビデンス:当該の申請書(又はまとめ資料)作成に用いた文書、記録類全て。)	A: H29.6.4 B: H29.6.4	H29.6.4 [Redacted]
2	エビデンスは、当社として妥当性を確認したものであること。	A: H29.6.4 B: H29.6.4	H29.6.4 [Redacted]
3	用語の統一 用語統一表に記載されている用語に統一されていること	A: H29.6.4 B: H29.6.4	H29.6.4 [Redacted]
4	記述の整合性 目次の記述が、文中の章・項の番号、図・表タイトル等と整合していること。	A: H29.6.4 B: H29.6.4	H29.6.4 [Redacted]
5	文中に記載している数値、単位は、参照先の図・表と整合していること。また、単位系が統一されていること。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.4 B: H29.6.4	H29.6.4 [Redacted]
6	文中に引用している図・表番号、タイトル等が、参照先の図・表と整合していること(正しく引用していること)。 特に、申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)を参照している場合には十分に相互確認すること。	A: H29.6.4 B: H29.6.4	H29.6.4 [Redacted]
7	説明の妥当性 説明している内容に論理的矛盾がないこと。また、起承転結に無理がなく組み立てられていること。	H29.6.2 [Redacted]	H29.6.4 [Redacted]
8	技術的検討内容に誤りが無いこと。また、技術基準を含む要求事項への対応に誤りが無いこと	H29.6.2 [Redacted]	H29.6.4 [Redacted]
9	申請書内関連箇所(又は他分野の「まとめ資料」)との連携も含め、一貫性のある説明となっていること。また、具体的な説明となっていること。	H29.6.2 [Redacted]	H29.6.4 [Redacted]
10	KX-6/7号機のヒアリング、審査会合でのコメントについて、全て対応できていること。	H29.6.2 [Redacted]	H29.6.4 [Redacted]
11	先行各社の審査の要点のうち、KX-6/7号機にも関連する事項について対応漏れがないこと。	H29.6.2 [Redacted]	H29.6.4 [Redacted]
12	全般 誤記の確認 上記1~6の確認を含め、作成者(直接執筆した者)以外の2名でダブルチェックしていること。	H29.6.4 [Redacted]	H29.6.4 [Redacted]

プロジェクト統括 最終確認年月日・署名: H29.6.7

H29.6.7

H29.6.7

H29.6.7

コメントあり(反映確認): ☆ コメントなし: ○

まとめ資料	内容	担当統括	宮田	三嶋	谷	小林
地盤・地震・津波・火山	敷地周辺海域の地質・地質構造について		○	○	☆	○
	敷地周辺陸域の地質・地質構造について		○	○	☆	○
	敷地近傍の地質・地質構造について		○	○	☆	○
	敷地の地質・地質構造について		○	○	☆	○
	基準地震動の策定について		○	○	○	☆
	原子炉建屋等の基礎地盤及び周辺斜面の安定性について		○	○	☆	○
	津波評価について		○	○	☆	○
設計基準対象施設	火山影響評価について		○	○	☆	○
	4条 地震による損傷の防止		☆	○	☆	☆
	5条 津波による損傷の防止		☆	○	☆	○
	6条 外部からの衝撃による損傷の防止		☆	☆	☆	☆
	7条 発電用原子炉施設への人の不法な侵入等の防止		○	○	○	○
	8条 火災による損傷の防止		☆	☆	○	○
	9条 漏水による損傷の防止等		☆	☆	☆	○
	10条 誤操作の防止		○	☆	○	○
	11条 安全避難通路等		○	☆	○	○
	12条 安全施設		☆	☆	○	○
	14条 全交流動力電源喪失対策設備		☆	☆	○	○
	16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設		☆	☆	○	☆
	17条 原子炉冷却材圧力バウンダリ		☆	☆	○	○
	24条 安全保護回路		☆	☆	○	○
	26条 原子炉制御室等		☆	☆	☆	☆
重大事故等対策の有効性評価(補足説明資料を含む)	31条 監視設備		○	☆	○	○
	33条 保安電源設備		☆	☆	☆	○
	34条 緊急時対策所		☆	☆	☆	☆
	35条 通信連絡設備		○	☆	○	○
	1.重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方		☆	☆	○	○
	付録1 事故シナリオグループ及び重要事故シナリオ等の選定について		☆	☆	☆	☆
	付録2 原子炉格納容器限界温度・圧力に関する評価結果		☆	☆	○	☆
重大事故等対策の有効性評価(補足説明資料を含む)	付録3 重大事故等対策の有効性評価に係るシリアクシデント解析コードについて		☆	○	○	○
	2.運転中の原子炉における重大事故に至るおそれがある事故		☆	☆	○	○
	3.運転中の原子炉における重大事故		☆	☆	○	○
	4.使用済燃料プールにおける重大事故に至るおそれがある事故		☆	☆	○	○
	5.運転停止中の原子炉における重大事故に至るおそれがある事故		☆	☆	○	○
	6.必要な要員及び資源の評価		☆	○	☆	○
	1.1 重大事故等対処設備の設備分類		☆	○	○	○
	2.1.2 耐震設計の基本方針		☆	☆	☆	☆
	2.1.3 津波による損傷の防止		○	○	○	○
	2.2 火災による損傷の防止		☆	☆	○	○
	2.3 重大事故等対処設備に関する基本設計方針		☆	☆	○	○
	3.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための設備		☆	☆	○	○
	3.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備		☆	☆	○	○
	3.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備		☆	☆	○	○
	3.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備		☆	☆	○	○
3.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための設備		○	☆	○	○	
3.6 原子炉格納容器内の冷却等のための設備		☆	☆	○	○	
3.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備		☆	☆	○	○	
3.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための設備		☆	☆	○	○	
3.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備		☆	☆	○	○	
3.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備		☆	☆	○	☆	
3.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備		☆	☆	○	○	
3.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備		○	○	○	○	
3.13 重大事故等の収束に必要な水の供給設備		☆	☆	○	○	
3.14 電源設備		☆	☆	○	○	
3.15 計装設備		○	☆	○	○	
3.16 原子炉制御室		☆	☆	○	☆	
3.17 監視測定設備		☆	☆	○	○	
3.18 緊急時対策所		☆	☆	☆	☆	
3.19 通信連絡を行うために必要な設備		○	☆	○	○	
3.20~24 その他設備		○	☆	○	☆	
重大事故等対策に必要な技術的能力	1.0 重大事故等対策における共通事項		☆	☆	☆	☆
	1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等		○	○	○	○
	1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等		☆	○	○	○
	1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等		☆	○	○	○
	1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等		☆	☆	○	○
	1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等		☆	○	○	○
	1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等		☆	○	○	○
	1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等		☆	○	○	○
	1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等		☆	○	○	○
	1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等		☆	○	○	○
	1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等		○	☆	○	○
	1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等		☆	○	○	○
	1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等		☆	☆	○	○
	1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等		☆	○	○	○
	1.14 電源の確保に関する手順等		☆	☆	○	○
	1.15 事故時の計装に関する手順等		☆	☆	○	○
	1.16 原子炉制御室の居住性等に関する手順等		☆	☆	○	○
	1.17 監視測定等に関する手順等		☆	☆	○	○
	1.18 緊急時対策所の居住性等に関する手順等		☆	☆	○	○
1.19 通信連絡に関する手順等		☆	☆	○	○	
2.大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突 その他テロリズムへの対応		☆	☆	○	○	
経理的基礎	変更の工事に要する資金の額及び調達計画		○	○	○	○
燃料取得計画	変更後における発電用原子炉の運転に要する核燃料物質の取得計画		○	○	○	○
技術的能力	変更に係る発電用原子炉施設の設置及び運転に関する技術的能力		☆	☆	○	○

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

以下の「まとめ資料」について作成プロセスをレビューした(個別のレビューシート参照)。

最終確認年月日・署名: H29.6.7 [Redacted] H29.6.7 [Redacted] H29.6.7 [Redacted]
 H29.6.7 [Redacted] H29.6.7 [Redacted]

No.	対象範囲	プロジェクトマネージャ
1	地盤・地震・津波・火山	[Redacted]
2	設計基準対象施設のうち地震による損傷の防止(機器関係 重大事故等対処設備を含む)	[Redacted]
3	設計基準対象施設のうち地震による損傷の防止(建築関係 重大事故等対処設備を含む)	[Redacted]
4	設計基準対象施設のうち地震による損傷の防止(土木関係 重大事故等対処設備を含む), 保安電源設備	[Redacted]
5	設計基準対象施設のうち津波による損傷の防止(重大事故等対処設備を含む)	[Redacted]
	設計基準対象施設のうち外部からの衝撃による損傷の防止(重大事故等対処設備を含む)	[Redacted]
7	設計基準対象施設のうち発電用原子炉施設への人の不法な侵入等の防止	[Redacted]
8	設計基準対象施設のうち火災による損傷の防止, 誤操作の防止, 安全避難通路等, 全交流動力電源喪失対策設備, 安全保護回路, 保安電源設備, 通信連絡設備	[Redacted]
9	設計基準対象施設のうち溢水による損傷の防止等(重大事故等対処設備を含む)	[Redacted]
10	設計基準対象施設のうち安全施設(重大事故等対処設備を含む)	[Redacted]
11	設計基準対象施設のうち燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設, 原子炉冷却材圧力バウンダリ	[Redacted]
12	設計基準対象施設のうち原子炉制御室等, 緊急時対策所(重大事故等対処設備を含む)	[Redacted]
13	設計基準対象施設のうち監視設備(重大事故等対処設備を含む)	[Redacted]
14	重大事故等対策の有効性評価	[Redacted]
15	重大事故等対策の有効性評価のうち原子炉格納容器限界温度・圧力に関する評価結果	[Redacted]
16	重大事故等対処設備の設備分類	[Redacted]
	重大事故等対処設備及び重大事故等対策に必要な技術的能力のうち土木関係	[Redacted]
18	重大事故等対処設備のうち火災による損傷の防止, 電源・計装・通信連絡設備	[Redacted]
19	重大事故等対処設備のうち未臨界・冷却材圧力バウンダリ冷却/減圧・熱輸送・格納容器冷却/過圧破損防止/溶融炉心冷却・原子炉建屋損傷防止・使用済燃料貯蔵槽冷却・水供給設備ほか	[Redacted]
20	重大事故等対処設備のうち拡散抑制設備	[Redacted]
21	重大事故等対策に必要な技術的能力のうち共通事項(防災関係)	[Redacted]
22	重大事故等対策に必要な技術的能力のうち共通事項(運転関係)	[Redacted]
23	重大事故等対策に必要な技術的能力のうち共通事項(福島第一事故教訓対応)	[Redacted]
24	重大事故等対策に必要な技術的能力のうち手順等(運転関係)	[Redacted]
25	重大事故等対策に必要な技術的能力のうち手順等(監視測定等)	[Redacted]
26	大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他テロリズムへの対応	[Redacted]
27	経理的基礎(変更の工事に要する資金の額及び調達計画)	[Redacted]
28	燃料取得計画(変更後における発電用原子炉の運転に要する核燃料物質の取得計画)	[Redacted]
29	技術的能力(変更に係る発電用原子炉施設の設置及び運転に関する技術的能力)	[Redacted]

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
地盤・地震・津波・火山		4月12.13日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明	体系的な説明 説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(美浜3)の補正申請書との対比表を用いて、目次が同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・本文の記載構成について整合的であることを確認した。	NRAヒアリング資料	先行プラント(美浜3)申請書を参照しつつ、それらとの整合性を確認し体系的な説明に取り組んでいる状況を確認した。	なし	-
2	① 審査書類が体系的な説明	網羅的な説明 規制要求事項を全て満足していること。	・既許可の先行プラント(美浜3)の補正申請書との対比表を用いて、目次が同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・同様に、本文の記載構成について整合的であることを確認した。	NRAヒアリング資料	先行プラント(美浜3)申請書との対比表を活用し、網羅性を確保するよう取り組んでいることを確認した。	なし	-
3	① 審査書類が体系的な説明	定量的な説明 定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	申請書の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	読み合わせ実施記録	・読み合わせにおいて定性的な表現にはチェックを入れ、その妥当性を確認していた。	なし	-
4	② 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、自社のコメントリストがまとめ資料に反映されているか確認した。	NRAヒアリングコメントリスト	・NRAとのヒアリングで毎回対応していた「NRAコメントリスト」を用いて、まとめ資料への反映状況を管理していることを確認した。	なし	-
5	③ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	・補正申請書とまとめ資料の整合性を確認した。 ・断層評価、基準地震動の策定、耐震・耐津波設計方針のまとめ資料との整合性を確認した。	・補正書とまとめ資料に直接チェック ・まとめ資料に直接チェック	・補正書とまとめ資料の整合性を確認し、確認箇所にはチェックマークを付記するとともに、当該資料への日付入り捺印を残していた事を確認した。 ・他条文(他グループ)との連携においては、例えば、策定した基準津波が、耐津波方針における入力津波として、適切に受け渡されているかどうかを、耐津波設計方針作成メンバーと一緒に確認していた。	なし	-
6	④ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	先行プラント(川内、伊方、大飯、高浜、美浜)でのコメントが、KK6/7申請書もしくはまとめ資料に適切に反映されていることを確認した。	他社コメントリストチェック結果	・全電力(土木部門)が集まる「安全審査情報連絡会」で審査情報を共有するとともに、他社コメントリストに関する6/7への関係性・影響確認結果の表を作成して、管理していることを確認した。	なし	-

※：審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 発電重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲 設計基準対象施設のうち地震による損傷の防止(機器関係 重大事故等対処設備を含む)	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日 4月21日
--	------------------	-----------------

No.	即効的な対策の 確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した 資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 体系的な説明 体系的な説明	説明が順序だたて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・ 既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・ まとめ資料本文の記載構成について、既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料との対比表を用いて比較し、整合的であることを確認した。 ・ NRAの「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	・ 先行プラントの申請書との対比表 ・ NRAの審査の視点と確認事項	NRAヒア等により補正書とまとめ資料本文がよく整合していることから、最新先行プラント(玄海)との「本文対比表」等を踏まえ作成していることを確認した。	なし	-
2	② 網羅的な説明 網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・ まとめ資料の読み合わせや先行プラントの申請書との対比表 ・ 審査ガイド	・ 先行プラントの申請書との対比表 ・ NRAの審査の視点と確認事項	先行プラント代表(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」の他、「耐震審査ガイド」を踏まえまとめ資料の別添・別紙を作成していることを確認した。	なし	-
3	③ 定量的な説明 定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	先行プラントの申請書との対比表	最新先行プラント(玄海)との「本文比較表」等を使用したNRAヒアを最近まで実施し、記載適正化が図られていることを確認した。	なし	-
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	部門独自の方法で確認した。	NRAコメントリスト	・ NRAコメントリストから当該条文関係を抜粋したのものにより管理されていることを確認した。 ・ コメントはすべて対応完了していることを確認した。	なし	-
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。 課題を抽出し関係者と共有していること。	安全(評価)、設備及び運用を担当する3者がお互いの最新情報を共有するとともに、他の関連2者の最新情報を、担当する資料中に反映していることを確認した。	最新版の設備リスト	・ SA設備情報について最新の43条共1記載リストに基づき管理しており、至近分も情報共有・周知システム等を適宜確認している。 ・ また本条文に係るPJ統括及び各PJマネは日々連携・共有がよくなされていることを確認した。 ・ なおPMは方針確認会議でも積極的に関係情報発信している事を確認した。	なし	-
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。	「審査の視点と確認事項」	・ 先行プラント代表(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」を踏まえ作成していることを確認、また籠事運WG等にて各社論点共有できていることも確認した。 ・ なおPMは方針確認会議でも積極的に他社ヒア状況を発信。	なし	-

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
設計基準対象施設のうち地震による損傷の防止 (建築関係 重大事故等対処設備を含む)		4月25日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	①審査書類が体系的、網羅的、定量的な説明になっていること 体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・まとめ資料本文の記載構成について、既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料との対比較を用いて比較し、整合的であることを確認した。 ・NRAの「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	玄海の申請書との対比較 伊方・高浜・玄海の「審査の視点と確認事項」	・NRAヒア等により補正書とまとめ資料本文がよく整合していることから、最新先行プラント(玄海)との「本文対比較」等を踏まえ作成していることを確認した。 ・先行プラント代表(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」で関連する箇所をチェックしていることを確認した。	なし	-
2	網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・まとめ資料の読み合わせや先行プラントの申請書との対比較 ・審査ガイド	・玄海の申請書との対比較 ・伊方・高浜・玄海の「審査の視点と確認事項」	・先行プラント(玄海)の申請書との対比較を活用していることを確認した。 ・先行プラント代表(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」の他、「耐震審査ガイド」を踏まえまとめ資料の別添・別紙を作成していることを確認した。	なし	-
3	定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	玄海の申請書との対比較	最新先行プラント(玄海)との「本文比較表」等を使用したNRAヒアを最近まで実施し、記載適正化が図られていることを確認した。	なし	-
4	②審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	部門独自の方法で確認した。	NRAコメントリスト	・NRAコメントリストから当該条文関係を抜粋したもにより管理されていることを確認した。 ・コメントは全て対応完了していることを確認した。	なし	-
5	③審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。 課題を抽出し関係者と共有していること。	安全(評価)、設備及び運用を担当する3者がお互いの最新情報を共有するとともに、他の関連2者の最新情報を、担当する資料中に反映していることを確認した。	最新版の設備リスト	・SA設備情報については、最新の43条共1記載リストに基づき管理しており、至近分も情報共有・周知システム等を適宜確認していることを確認した。 ・耐震関係のヒアリングでは、各部門最低一人は出席し、連携強化を図っていることを確認した。	なし	-
6	④他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。	伊方・高浜・玄海の「審査の視点と確認事項」	電事連の会合もしくは各電力個別にやり取りしつつ審査情報を共有するとともに、先行プラント代表(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」を踏まえ作成していることを確認した。	なし	-

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KKG/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲		PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
設計基準対象施設のうち地震による損傷の防止(土木関係、重大事故等対処設備を含む)、保安電源設備			4月13日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・まとめ資料本文の記載構成について、既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料との対比表を用いて比較し、整合的であることを確認した。 ・NRAの「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	・玄海の申請書との対比表 ・伊方・高浜・玄海の「審査の視点と確認事項」	・NRAヒア等により補正書とまとめ資料本文がよく整合していることから、最新先行プラント(玄海)との「本文対比表」等を踏まえ作成していることを確認した。 ・先行プラント(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」で関連する箇所をチェックしていることを確認した。	なし	-
2	② 体系的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・まとめ資料の読み合わせや先行プラントの申請書との対比表 ・審査ガイド	・玄海の申請書との対比表 ・伊方・高浜・玄海の「審査の視点と確認事項」	先行プラント代表(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」の他、「耐震審査ガイド」を踏まえまとめ資料の別添・別紙を作成していることを確認した。	なし	-
3	③ 定量的な説明	定量的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定量的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	玄海の申請書との対比表	最新先行プラント(玄海)との「本文比較表」等を使用したNRAヒアを最近まで実施し、記載適正化が図られていることを確認した。	なし	-
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	部門独自の方法で確認した。	NRAコメントリスト	・NRAコメントリストから当該条文関係を抜粋したのものにより管理されていることを確認した。 ・コメントは全て対応完了していることを確認した。	なし	-
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること、課題を抽出し関係者と共有していること。	安全(評価)、設備及び運用を担当する3者がお互いの最新情報を共有するとともに、他の関連2者の最新情報を、担当する資料中に反映していることを確認した。	最新版の設備リスト	SA設備情報については、最新の43条共1記載リストに基づき管理しており、至近分も情報共有・周知システム等を適宜確認していた旨を確認した。	なし	-
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。	伊方・高浜・玄海の「審査の視点と確認事項」	全電力(土木部門)が集まる「安全審査情報連絡会」で審査情報を共有するとともに、先行プラント代表(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」を踏まえ作成していることを確認した。	なし	-

※: 審査委員会(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋

15020

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (P.リーダー)	ヒアリング日
設計基準対象施設のうち津波による損傷の防止(重大事故等対処設備を含む)		4月21日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明	説明が順序だたて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・まとめ資料本文の記載構成について、既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料との対比表を用いて比較し、整合的であることを確認した。	・川内、伊方、高浜、美浜まとめ資料 ・先行プラントの申請書との対比表	NRAヒア等により補正書とまとめ資料本文がよく整合していることから、最新先行プラント(玄海)との「本文対比表」等を踏まえ作成していることを確認した。	なし	-
2	② 網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・審査ガイド	・耐津波設計EP審査ガイド	各社立地条件等により耐津波設計方針にバラつきがあることから、「耐津波審査ガイド」を踏まえまとめ資料の別添を作成していることを確認した。	なし	-
3	③ 定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	先行プラントの申請書との対比表	最新先行プラント(玄海)との「本文比較表」等を使用したNRAヒアを最近まで実施し、記載適正化が図られていることを確認した。	なし	-
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	部門独自の方法で確認した。	NRAコメントリスト	・NRAコメントリストから当該条文関係を抜粋したのにより管理されていることを確認。 ・コメントは全て対応完了していることを確認した。	なし	-
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること、課題を抽出し関係者と共有していること。	安全(評価)、設備及び運用を担当する3者がお互いの最新情報を共有するとともに、他の関連2者の最新情報を、担当する資料中に反映していることを確認した。	最新版のSAリスト	・SA設備情報について最新の43条共1記載リストに基づき管理しており、至近分も情報共有・周知システム等を適宜確認した。 ・また、本条文に係るPJ統括及び各PJマネは日々連携・共有がよくなされていることを確認した。 ・なおPMは方針確認会議でも積極的に関係情報発信している事を確認した。	なし	-
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。	「審査の視点と確認事項」	・先行プラント(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」を踏まえ作成していることを確認、また学協会等でも情報共有チャンネルが存在することも確認した。 ・なおPMは方針確認会議でも積極的に他社ヒア状況を発信していることを確認した。	なし	-

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

No.		即効的な対策の 確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
				確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的になつていて、網羅的、定量的な説明	体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	・先行プラント申請書との対比表 「審査の視点と確認事項」	・NRAヒア等による資料の作り込みおよび、先行プラントの資料や「審査の視点と確認事項」を用いた比較によって、体系的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	—
2		網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・まとめ資料の読み合わせや先行プラントの申請書との対比表 ・審査ガイド	先行プラントの申請書との対比表	まとめ資料の読み合わせや先行プラントとの申請書対比表の確認、並びに、審査ガイドとの比較によって、網羅的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	—
3		定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	—	—	溢水伝搬評価や設備影響評価等において、定量的な記載表現に取り組んでいることを確認した。	なし
4	② 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	・部門独自の方法で確認した。 ・事務局とりまとめのNRAコメントリストに基づき、全てのコメントに対応していることを確認した。 ・社内関係者からのコメントについても、リストに基づき、全てのコメントに対応していることを確認した。	・NRAコメントリスト ・社内コメントリスト	・NRAコメントリストを用いて、審査コメントのまとめ資料への反映状況を管理していることを確認した。 ・社内コメントについても同様に対応していることを確認し、コメント反映にあたっては、水平展開の可否についても考慮していることを確認した。	なし	—	
5		③ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	・部門独自の方法で確認した。 ・他条文にて外部事象について記載されている箇所を検索・抽出し、6条の記載内容と適切な関係となっていることを確認した。	6条関連条文リスト	他条文の資料をキーワード検索することにより、関連資料を抽出した上で、当該資料の記載が6条の資料の記載と適切な関係となっていることのチェックを実施していることを確認した。	なし	—
6		④ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	・「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。 ・他社担当者へ直接ヒアリングし確認した。 ・部門独自の方法で確認した。 ・NRAコメントリストには、水平展開が必要なBWR他社コメントも含まれており、これにより他社での論点が反映されていることを確認した。	・「審査の視点と確認事項」 ・NRAコメントリスト	・「審査の視点と確認事項」を用いて他社論点を反映していることを確認した。 ・他社コメントを含めてコメントリストで管理しており、他社論点を適切に反映していることを確認した。 ・他社論点の確認等を目的として、複数の発電所にインタビューを実施していることを確認した。	なし	—

※：審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KKG/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
設計基準対象施設のうち発電用原子炉施設への人の不法な侵入等の防止		4月20日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明	説明が順序だって筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・まとめ資料本文の記載構成について、既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料との対比表を用いて比較し、整合的であることを確認した。 ・原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	・先行プラントの申請書との対比表 ・「審査の視点と確認事項」	先行プラント代表(伊方・玄海)の「審査の視点と確認事項」「本文比較表」等を踏まえていることを確認した。	なし	—
2	② 網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・まとめ資料の読み合わせや先行プラントの申請書との対比表	・先行プラントの申請書との対比表	先行プラント代表(伊方・玄海)の「審査の視点と確認事項」「本文比較表」等を踏まえていることを確認した。	なし	—
3	③ 定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	—	数値化が必要な定量的な記載がないことを確認。	なし	—
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	・部門独自の方法で確認した。 ・事務局から周知されている「NRAコメントリスト(会合・ヒアリング)」に基づき、全て対応済みを確認した。	NRAコメントリスト	NRAコメントリストにて管理しているが、コメント対応は下記1件以外にないことを確認した。 「高浜の関連内容削除のNRAコメントについて、その後、削除不要で良い旨の回答がNRAよりあったことを審査事務局から情報入手」	なし	—
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。 課題を抽出し関係者と共有していること。	安全(評価)、設備及び運用を担当する3者がお互いの最新情報を共有するとともに、他の関連2者の最新情報を、担当する資料中に反映していることを確認した。	—	・評価一設備一運用に関する箇所がないことを確認した。 ・参考として、運用の観点で「核物質防護規定」についても整合していることを確認。	なし	—
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。	「審査の視点と確認事項」	先行プラントにて重要論点となっていないこと、先行プラント代表(伊方・玄海)の「審査の視点と確認事項」を踏まえていることを確認。	なし	—

※: 審査会合(平成20年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟-防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」「2. 即効的な対策。(1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャー (Pリーダー)	ヒアリング日
設計基御対象施設のうち火災による損傷の防止、誤操作の防止、安全避難通路等、全交流動力電源喪失対策設備、安全保護回路、保安電源設備、通信連絡設備		5月10日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・まとめ資料本文の記載構成について、既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料との対比表を用いて比較し、整合的であることを確認した。 ・NRAの「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	・伊方申請書との対比表 ・審査の視点と確認事項	・先行プラント(伊方)申請書との比較表を用いて、記載文が適切に整合していることを確認した。(一部、設備の相違、旧設置許可申請書記載内容を踏襲したこと起因する表現の相違が確認されたが技術的問題ではないものと確認した。)	なし	-
2	② 体系的、網羅的、定量的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	・規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、審査の視点と確認事項(NRA)を活用し、先行プラントの申請書との比較表を用いて確認した。 ・審査会合、NRAヒアリング時のコメントがすべて反映されている事を確認した。	・伊方申請書との対比表 ・審査の視点と確認事項(審査ガイド)	・「審査の視点と確認事項」をベースに目次、章立てを構成していることを確認した。 ・先行プラントの伊方申請書との対比表を用いて、要求事項と記載内容が適切に整合していることを確認した。	なし	-
3	③ 定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認していること。	申請書の読み合わせにおいて、定性的な表現については適宜、その妥当性を確認した。	伊方申請書との比較表	・伊方申請書との対比表を用いた読み合わせを実施し、定性的/曖昧な記載はできるだけ定量的/分かりやすく修正していることを確認した。 ・伊方申請書の表現から更に読み込んでより分かりやすく工夫する箇所も見られた。	なし	-
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	コメントリストにより網羅性を確認した。	NRAコメントリスト	・「共有コメントリスト」(事務局作成)から当PJ分を抽出し、対応完了した分は、随時リストに反映している事を確認した。 ・一部、PMの最終確認が未実施の箇所があり、今後実施予定であることを確認した。	8条関連のコメント対応完了状況をPMが確認すべき旨を助言した。	後日確認 (5月19日、PM確認)
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。 課題を抽出し関係者と共有していること。	設備側、安全(評価)及び運用側の担当は、最新情報を共有して資料を作成していることを確認した。	クロスリファレンス表	安全(評価)及び運用側の資料はまとめ資料等作成時の最新版を確認しているが、まだFIXされていないものもあるため、最終的に再度確認・調整が必要である。	他グループ資料が確定した際に圖書の引用関係を明確にし、クロスリファレンス表などを参考に最終確認する旨を助言した。(その際、設備側(親)の最終情報の引用の妥当性を安全(評価)及び運用側(子)に確認して貰い、相互確認すること。)	後日確認 (5月19日、最終確認した)
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	先行プラントの「審査の視点と確認事項」および論点抽出リストに沿って確認した。	・審査の視点と確認事項 ・論点抽出リスト	・審査の視点と確認事項に対応していることを確認した。 ・論点抽出リスト、他電力コメントリストおよび関西電力アドバイスについて、事務局(プロジェクト統括)側からの対応要/不要の指示がやや曖昧で、プロセス化されていないことを確認した。	先行3PWRプラント以降に審査されている他社における論点を把握し、適宜、当社資料に反映すべき旨を助言した。	後日確認 (5月18日、論点が無いことを確認した)

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」「Z. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (P.リーダー)	ヒアリング日
設計基準対象施設のうち溢水による損傷の防止等(重大事故等対処設備を含む)		5月10日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的、網羅的な説明 体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・NRAの「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	先行プラントの申請書との対比表 NRAの「審査の視点と確認事項」	先行プラントの資料や「審査の視点と確認事項」を用いた確認によって、また、規制庁ヒア等による資料の作り込みによって、体系的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	—
2	① 審査書類が体系的、網羅的な説明 網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・まとめ資料の読み合わせや先行プラントの申請書との対比表 ・審査ガイド	先行プラントの申請書との対比表	まとめ資料の読み合わせや先行プラントとの申請書対比表の確認、並びに、審査ガイドとの比較によって、網羅的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	—
3	① 審査書類が体系的、網羅的な説明 定量的な説明	定量的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定量的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	—	溢水伝搬評価や設備影響評価等において、定量的な記載に取り組んでいることを確認した。	なし	—
4	② 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	・部門独自の方法で確認した。 事務局とりまとめのNRAコメントリストに基づき、全ての対応状況を確認した。 社内関係者からのコメントについても、リストに基づき、全てのコメントに対応していることを確認した。	NRAコメントリスト	・NRAコメントリストを用いて、審査コメントのまとめ資料への反映状況を管理していることを確認した。 ・社内コメントについても同様に対応していることを確認した。	なし	—
5	③ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。 課題を抽出し関係者と共有していること。	・部門独自の方法で確認した。 コメントリスト中に他条文との整合に関する項目を設定し、適切な記載となっていることを確認した。	資料総点検管理表	コメントリスト中に他条文との整合に関するチェック欄を設定しており、他条文との関係が適切であることの確認を項目毎に実施していることを確認した。	なし	—
6	④ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	・先行プラントの「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。 ・他社担当者へ直接ヒアリングし確認した。	先行プラントの「審査の視点と確認事項」	・「審査の視点と確認事項」を用いて他社論点を反映していることを確認した。 ・また、他社担当者へのヒアリングを適宜実施していることを確認した。	なし	—

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
設計基準対象施設のうち安全施設 (重大事故等対応設備を含む)		5月2日

No.	即効的な対策の 確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー			
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認	
1	① 審査書類が体系的、網羅的、定量的な説明になっていること	体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	・先行プラントの申請書との対比較表 ・「審査の視点と確認事項」	先行プラントの資料や「審査の視点と確認事項」を用いた確認によって、また、規制庁ヒア等による資料の作り込みによって、体系的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	-
2		網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・まとめ資料の読み合わせや先行プラントの申請書との対比較表	先行プラントの申請書との対比較表	まとめ資料の読み合わせや先行プラントとの申請書比較表の確認によって、網羅的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	-
3		定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	-	・被ばく評価では、入力条件である対応時間を定量的に評価し、記載していることを確認した。 ・補足的な説明として、PRAにより頻度を定量評価していることを確認した。	なし	-
4	② 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	・部門独自の方法で確認した。 ・事務局とりまとめのNRAコメントリストに基づき、全ての対応状況を確認した。	NRAコメントリスト	NRAコメントリストを用いて、審査コメントのまとめ資料への反映状況を管理していることを確認した。	なし	-	
5	③ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	・部門独自の方法で確認した。 ・他グループ(設備技術C)と共同作業で資料を作成しており、適切な関係となっていることの確認を適宜実施した。	-	・資料作成段階から他グループと連携をとりながら実施していること、また、資料の上欄印は2グループで捺印していることを確認した。 ・グループ間の連携が不十分であったこと等が原因で記載の誤った資料をNRAに提出した事例(不適合事象として報告済)があり、それを踏まえて連携が適切に実施されていることを確認した。	なし	-	
6	④ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	・「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。 ・他社担当者へ直接ヒアリングし確認した。 ・部門独自の方法で確認した。 ・他社との合同ヒアリングやBWR合同審査会合における対応を通じて、他社論点へも対応できていることを確認した。	「審査の視点と確認事項」	・「審査の視点と確認事項」を用いて他社論点を反映していることを確認した。 ・また、NRAヒア・BWR合同審査会合の場を通じて、論点の共有を十分に図っていることを確認した。	なし	-	

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要構・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
設計基準対象施設のうち燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設、原子炉冷却材圧力バウンダリ		5月2日

No.	即効的な対策の 確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明	説明が順序だてて簡潔に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	<ul style="list-style-type: none"> 既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 申請書の記載構成について、既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料との対比表を用いて比較し、整合的であることを確認した。 部門独自の方法で確認した。 (NRAヒア・審査会合を繰り返して審査資料を作成)	先行プラントの申請書との対比表	先行プラント(伊方)の資料や「審査の視点と確認事項」を用いた確認によって、また、規制庁ヒア等による資料の作り込みによって、体系的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	-
2	② 網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 <ul style="list-style-type: none"> まとめ資料の読み合わせや先行プラントの申請書との対比表 部門独自の方法 (NRAヒア・審査会合を繰り返して審査資料を作成)	先行プラントの申請書との対比表	NRAヒア・審査会合を通して補正書添付八(まとめ資料本文)に適合方針をまとめ、また先行プラント(伊方)補正書とも対比させていることを確認した。 なお最新玄海を踏まえた追記案件がないことも確認した。	なし	-
3	③ 定量的な説明	定量的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定量的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	-	NRAヒア・審査会合や伊方補正書との整合により記載適正化を図っていることを確認した。	なし	-
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	<ul style="list-style-type: none"> 部門独自の方法で確認した。 NRAヒア・審査会合において出されたコメントリストに対して対応済みであることを審査または審査資料作成の中で確認。 	NRAコメントリスト	NRAコメントリストにより管理されていることを確認した。	なし	-
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	安全(評価)、設備及び運用を担当する3者がお互いの最新情報を共有するとともに、他の関連2者の最新情報を、担当する資料中に反映していることを確認した。	-	適合のための方針が中心のため、他条文(他グループ)に係る記載がないことを確認した。	なし	-
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	<ul style="list-style-type: none"> 他社担当者へ直接ヒアリングし確認した。 部門独自の方法で確認した。(審査会合、ヒアリングを他社と合同実施(17条)) 	-	<ul style="list-style-type: none"> NRAヒア・審査会合のBWR合同開催(17条)やBWR間調整(16条)によりよく共有が図れていることを確認した。 なおFWR側とも設備は違えど考え方については基本的に共有が図れていることを確認した。 	なし	-

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KIC6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
設計基準対象施設のうち原子炉制御室等、緊急時対策所(重大事故等対応設備を含む)		4月21日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的、網羅的、定量的な説明になっていること	体系的な説明 説明が順序だたて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・まとめ資料本文の記載構成について、既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料との対比表を用いて比較し、整合的であることを確認した。 ・NRAヒア・審査会合を繰り返し、会合等で受けたコメントへの対応検討を反映した。 ・先行電力(伊方3)との情報交換を通じて審査資料を作成した。	伊方3, 川内12補正申請書	・先行プラント(伊方3)を中心に、川内、玄海、高浜、大浜の申請書も参照しつつ、それらとの整合性を確認し体系的な説明に取り組んでいる状態を確認した。 ・西国電力(株)慶東京事務所へ頻りに訪問し、論点となった事項の確認および当方の論点の相談を行っていたことを確認した。	なし	-
2	② 体系的な説明	網羅的な説明 規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・まとめ資料の読み合わせや先行プラントの申請書との対比表 ・審査ガイド ・部門独自の方法(NRAヒア・審査会合を実施し、コメントへの対応・検討)	伊方3, 川内12補正申請書	・先行プラント(伊方、川内)申請書との対比表を活用し、網羅性を確保するよう取り組んだことを確認した。 ・居住性(被ばく評価)に関する審査ガイドを使い、安全の担当者と一緒に読み合わせを実施していたことを確認した。	なし	-
3	③ 定量的な説明	定量的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	申請書やまとめ資料の読み合わせにおいて、定量的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	-	定量的な説明が必要な部分では、設備や運用計画を詳細化・具体化するともに、それらを実際の訓練で検証するなどにより、定量的な説明に努めたことを確認した。	なし	-
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	NRAヒア・審査会合を繰り返し、会合等で受けたコメントへの対応検討を反映して審査資料を作成した。	NRAコメントリスト	PJ事務局が管理するコメントリストに全て計上するとともに、それらに対応しリストに反映されていることを確認した。	なし	-
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	・安全(評価)、設備及び運用を担当する3者がお互いの最新情報を共有するとともに、他の関連2者の最新情報を、担当する資料中に反映していることを確認した。 ・61-9は他グループ(設備技術G等)と共同で作成した資料の一部であるため、適切な関係となっていることを個別に確認、また61-10は他グループ(原子炉安全技術G)がメインで作成しているが、61-9の情報を適切に引用していただいていることを個別確認にて実施した。	61条まとめ資料と技術的能力1.18との読み合わせ	・プラント設備側、安全(評価)側、運用側の情報ならびに敷地外(社外)の情報は、緊急時対策所に集約される仕組みであり、同様に審査資料に係る情報も大部分が関連することから、絶えず関係箇所と情報共有を行っていることを確認した。 ・緊急時対策所の対象施設・位置付けが変更された件の反映状況について、説明ロジックを変えずに施設毎に変更範囲を色分けして適切に識別したことを確認した。	なし	-
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	・先行プラント(高浜、伊方、玄海)での当社に係る重要な議論・論点を整理した「確認事項リスト」に沿って確認した。 ・「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。 ・他社担当者へ直接ヒアリングし確認した。 ・設置許可事務局がとりまとめた審査コメントリストに対して対応済みであることを個別に確認、PWR審査チーム(NRA)指摘事項に対して対応した。	・高浜34、大浜34 確認事項リスト 審査コメントリスト	・PJマネージャは全プラントの審査会合の状況をユーチューブで視聴しており、他社で議論された論点のうち、当社資料への反映が必要な論点やコメントについては、PJ事務局が管理するコメントリストに全て計上して対応していることを確認した。	なし	-

※: 審査会合(平成20年9月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
設計基準対象施設のうち監視設備(重大事故等対処設備を含む)		4月19日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 体系的な説明 体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方3)のまとめ資料において目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	・伊方3との構成対比較表 ・伊方3「審査の視点と確認事項」	先行プラント(伊方3)の「審査の視点と確認事項」をベースにして目次構成を決めて比較表を作成するとともに、適宜、NRAコメントを反映して記載内容を修正して資料を作り込んでいることを確認した。	なし	—
2	② 網羅的な説明 網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、先行プラント(伊方3)の「審査の視点と確認事項」を活用し、申請書の読み合わせや申請書との対比較表において確認し、根拠の確認結果を記録した。	・伊方3との構成比較表 ・伊方3「審査の視点と確認事項」	先行プラント(伊方3)の「審査の視点と確認事項」をベースにして目次構成を決めて比較表を作成するとともに、適宜、NRAコメントを反映して記載内容を修正して資料を作り込んでいることを確認した。	なし	—
3	③ 定量的な説明 定量的な説明	定量的な表現となっているところについては、その妥当性を確認していること。	先行プラント(伊方3)の申請書の読み合わせにおいて、定量的な表現となっているところについては適宜、その表現の妥当性を確認した。	—	・基本的に先行プラントと同じ記載表現を踏襲し、KK6, 7(サイト)特有のこと(広範な敷地等)については、随時、NRAと協議して資料を作り込んでいることを確認した。 ・担当からPMへと順次資料を通読し、疑問点がある場合には、随時に相互確認し、適宜、資料修正していることを確認した。	なし	—
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が全て具現化されていること。	当PJ独自の方法によりコメントリストへの網羅性の確認した。	当PJ独自リスト	・「共有コメントリスト」(事務局作成)から当PJ分を抽出して「独自リスト」を作成、対応完了した分は、随時、「共有コメントリスト」に反映していることを確認した。 ・また、4/18に決められた全PJ共通の「コメントリスト確認方法」(事務局)を踏まえて対応していることを確認した。	なし	—
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	監視測定に係わる設備側・運用側と安全(評価)側は最新情報を共有して資料を作成していることを確認した。	—	・監視装置および監視測定装置については「設備と運用」を同じPJが担務しており、PJ内で同じ情報を使用していることを確認した。 ・監視測定装置においては、「設備/運用」側がバッテリー交換時の被ばく評価に関し、「評価」側からデータを受けとったうえ、資料への反映箇所を相互確認していることを確認した。	なし	—
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	先行プラント(伊方3)の「審査の視点と確認事項」の記載内容に沿って重要な論点がKK6, 7資料に反映されていることを確認した。	伊方3「審査の視点と確認事項」	事務局が最近の他社情報を踏まえて論点整理しており、当PJ(31,60条)については新たな論点はないことを確認していることを確認した。	なし	—

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマホージャ (P,リーダー)	ヒアリング日
重大事故等対策の有効性評価		5月10日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・NRAの「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	・先行プラントの申請書との対比表 ・「審査の視点と確認事項」	先行プラントの資料や「審査の視点と確認事項」を用いた確認によって、また、規制庁ヒア等による資料の作り込みによって、体系的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	-
2	② 網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・まとめ資料の読み合わせや先行プラントの申請書との対比表 ・審査ガイド	先行プラントの申請書との対比表	まとめ資料の読み合わせや先行プラントとの申請書比較表の確認、並びに審査ガイドとの比較によって、網羅的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	-
3	③ 定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	-	・不確かさを含む箇所については感度解析により、定量的な評価に取り組んでいることを確認した。 ・定性的な表現となっている箇所については、その妥当性を確認し、NRAヒア等において説明していることを確認した。	なし	-
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	・部門独自の方法で確認した。 ・コメントリストに基づき、全てのコメントに対応していることを確認した。	NRAコメントリスト	・コメントリストを用いて、審査コメントのまとめ資料への反映状況を管理していることを確認した。 ・ヒアリングの場以外のコメントについても管理されていることを確認した。	事務局とりまとめのNRAコメントリストに対して、全てのコメントへの対応完了を確認することを助言した。	指摘事項への対応結果を確認した。5月30日
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。 課題を抽出し関係者と共有していること。	・部門独自の方法で確認した。 ・関連する他条文の関係者と適宜情報共有を実施すること等によって、適切な記載となっていることを確認した。	-	・設備や手順等の解析条件を変更する場合には、その都度関係者と周知・議論することによって、他条文との整合を図っていることを確認した。 ・反映漏れがないように、感度を高くし、関係者との情報共有を実施していることを確認した。	なし	-
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	・先行プラント(高浜、伊方、玄海)での当社に係る重要な議論・論点を整理した「確認事項リスト」に沿って確認した。 ・「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。 ・他社担当者へ直接ヒアリングし確認した。	「審査の視点と確認事項」	・「確認事項リスト」に沿って他社論点の反映が適切に実施されていることを確認した。 ・「審査の視点と確認事項」を用いて他社論点を反映していることを確認した。 ・また、他社担当者へのヒアリングを適宜実施していることを確認した。	なし	-

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
重大事故等対策の有効性評価のうち原子炉格納容器限界温度・圧力に関する評価結果		5月23日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	①審査書類が体系的な説明	体系的な説明 説明が順序だって筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・部門独自の方法で確認した。 (NRAヒア・審査会合を繰り返して審査資料を作成)	先行プラントのまとめ資料	先行プラント(川内)の資料を用いた確認によって、また、規制庁ヒア等による資料の作り込みによって、体系的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	-
2	①審査書類が体系的、網羅的、定量的な説明になっていること	網羅的な説明 規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・部門独自の方法 (NRAヒア・審査会合を繰り返して審査資料を作成)	先行プラントのまとめ資料	NRAヒア・審査会合を通してまとめ資料に根拠・妥当性をまとめ、また先行プラント(川内)のまとめ資料とも対比させていることを確認した。 ・なお最新玄海を踏まえた追記案件がないことも確認した。	なし	-
3	①審査書類が体系的、網羅的、定量的な説明になっていること	定量的な説明 定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	NRAヒア・審査会合を繰り返して審査資料を作成した。また、まとめ資料の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	-	NRAヒア・審査会合や先行プラント(川内)のまとめ資料との整合により記載適正化を図っていることを確認した。	なし	-
4	②審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	・部門独自の方法で確認した。 ・NRAヒア・審査会合において出されたコメントリストに対して、対応済みであることを審査または審査資料作成の中で確認した。	NRAコメントリスト	・NRAコメントリストにより管理されていることを確認した。 ・また全てのコメントが反映されていることを確認した。	なし	-
5	③審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	・部門独自の方法で確認した。 ・インプットデータのエビデンス調査と合わせて確認、または他グループ関係者への個別確認による。	-	条文単位で手順側、安全側と会議を開催し調整作業を実施していることを確認した。	なし	-
6	④他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	・部門独自の方法で確認した。 ・BWR合同審査時のコメントリストに対して確認。	-	・NRAヒア・審査会合のBWR合同開催や優先審査時のBWR調整によりよく共有が図れていることを確認した。 ・なおPWR側とも設備は異なるものの考え方については基本的に共有が図れていることを確認した。	なし	-

※：審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
重大事故等対処設備の設備分類		6月1日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方3)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	・伊方3のまとめ資料、「審査の視点と確認事項」 ・伊方3の申請書との対比表	伊方3の審査資料や「審査の視点と確認事項」を用いた確認によって、また、規制庁ヒア等による資料の作り込みによって、体系的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	-
2	② 網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・まとめ資料の読み合わせや先行プラント(伊方3)の申請書との対比表	伊方3の申請書との対比表	まとめ資料の読み合わせや先行プラントとの申請書比較表の確認によって、網羅的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	-
3	③ 定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	本資料には数値に係わるような記載箇所はない。	-	本PJは重大事故等設備への基本要件を記載したものであり、定量的な記載は要しはないことを確認した。	なし	-
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	事務局作成のコメントリストの中から本PJ関係のコメントを確認し、それらへの対応を審査資料に反映した旨、コメントリストに明記した。	NRAコメントリスト	NRAコメントリストを用いて、審査コメントのまとめ資料への反映状況を管理していることを確認した。	なし	-
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	重大事故等対処設備に係る運転側と有効性評価側に記載内容のレビューを受けた。	-	重大事故等対処設備に係る運転側と有効性評価側のPJチームとの間で、審査資料の記載内容の整合性を図っていることを確認した。	なし	-
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	事務局作成の「先行電力の論点リスト」や「審査の視点と確認事項」を踏まえて、本PJに係わるものが審査資料に反映していることを確認した。	・先行電力の論点リスト ・「審査の視点と確認事項」	先行電力の「審査の視点と確認事項」を踏まえて審査資料を作成していること、また、「先行電力の論点リスト」には本PJに係わる事案はなかったことを確認した	なし	-

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」「2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲		PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
重大事故等対処設備及び重大事故等対策に必要な技術的能力のうち土木関係			4月13日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明 体系的な説明	説明が順序だって筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	原子力規制庁の「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	伊方・高浜・玄海の「審査の視点と確認事項」	先行プラント代表(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」で関連する箇所をダブルチェックしていることを確認した。	なし	—
2	② 網羅的な説明 網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・審査ガイド	伊方・高浜・玄海の「審査の視点と確認事項」	先行プラント代表(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」の他、関連する審査ガイドを踏まえ、まとめ資料の添付資料、別紙を作成していることを確認した。	なし	—
3	③ 定量的な説明 定量的な説明	定量的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定量的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	—	先行プラント代表(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」の表現と比較しつつ、適切な表現にしていることを確認した。	なし	—
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	EP事務局から周知されている「NRAコメントリスト(会合・ヒアリング)」に基づき確認した。	NRAコメントリスト	NRAコメントリストから当該条文関係を抜粋したもにより管理されていることを確認した。	なし	—
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	安全(評価)、設備及び運用を担当する3者がお互いの最新情報を共有するとともに、他の関連2者の最新情報を、担当する資料中に反映していることを確認した。	—	防災安全Gが調整役となり、関係箇所と共有すべき最新情報を確認しながら連携を図っていることを確認した。	なし	—
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。	伊方・高浜・玄海の「審査の視点と確認事項」	全電力(土木部門)が集まる「安全審査情報連絡会」で審査情報を共有するとともに、先行プラント代表(伊方・高浜・玄海)の「審査の視点と確認事項」を踏まえ作成していることを確認した。	なし	—

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」12. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
重大事故等対処設備のうち火災による損傷の防止、電源・計装・通信連絡設備		5月10日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的、体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・まとめ資料本文の記載構成について、既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料との対比表を用いて比較し、整合的であることを確認した。 ・「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	・伊方申請書との対比表 ・審査の視点と確認事項	先行プラントの伊方申請書との対比表を用いて、記載文が適切に整合していることを確認した。 (一部、設備の相違、旧設置許可申請書記載内容を踏襲したことに起因する表現の相違が確認されたが技術的問題ではないものと確認した。)	なし	—
2	② 審査書類が体系的、体系的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	・規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、「審査の視点と確認事項」を活用し、先行プラントの申請書との比較表を用いて確認した。 ・審査会合、NRAヒアリング時のコメントがすべて反映されている事を確認した。	・伊方申請書との対比表 ・審査の視点と確認事項(審査ガイド)	・審査の視点と確認事項をベースに目次、章立てを構成していることを確認した。 ・先行プラントの伊方申請書との比較表を用いて、要求事項と記載内容が適切に整合していることを確認した。	なし	—
3	③ 審査書類が体系的、体系的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認していること。	申請書の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては適宜、その表現の妥当性を確認した。	・伊方申請書との比較表と訂正履歴	・伊方申請書との比較表を用いた読み合わせを実施し、定性的/曖昧な記載はできるだけ定量的/分かりやすく修正していることを確認した。 ・伊方申請書の表現から更に読み込んでより分かりやすく工夫する箇所も見られた。	なし	—
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	コメントリストにより対応状況の網羅性を確認した。	NRAコメントリスト	・「共有コメントリスト」(事務局作成)から当PJ分を抽出し、対応完了した分は、随時リストに反映している事を確認した。 ・一部、PMの最終確認が未実施の箇所があり、今後実施予定であることを確認した。	41条関連のコメント対応完了状況をPMが確認する旨を助言した。	後日確認 (5月19日、PM確認)
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。 課題を抽出し関係者と共有していること。	設備側、安全(評価)及び運用側の担当は、最新情報を共有して資料を作成していることを確認した。	クロスリファレンス表	・安全(評価)及び運用側の資料はまとめ資料等作成時の最新版を確認しているが、まだFIXされていないものもあるため、最終的に再度確認・調整が必要である。	・他グループ資料が確定した際に図書の引用関係を明確にし、クロスリファレンス表などを参考に最終確認することを助言した。(また、その際、設備側(親)の最終情報の引用の妥当性を安全(評価)及び運用側(子)に確認して貰い、相互確認すること。)	後日確認 (5月19日、最終確認)
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	先行プラントの「審査の視点と確認事項」および論点抽出リストに沿って確認した。	・審査の視点と確認事項 ・論点抽出リスト	・審査の視点と確認事項に対応していることを確認した。 ・論点確認リスト、他電力コメントリストおよび関西電力アドバイスについて、事務局(プロジェクト統括)側からの対応要、不要の指示がやや曖昧で、プロセス化されていないことを確認した。	先行3PWRプラント以降に審査されている他社における論点を把握し、適宜、当社資料に反映すべき旨を助言した。	後日確認 (5月18日、論点が無いことを確認)

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「K16/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」。「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋

084

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
重大事故等対処設備のうち未臨界・冷却材圧力バウンダリ冷却/減圧・熱輸送・格納容器冷却/過圧破損防止/容器炉心冷却・原子炉建屋損傷防止・使用済燃料貯蔵槽冷却・水供給設備ほか		5月2日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的、網羅的、定量的な説明になっていること	体系的な説明 説明が順序だたて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・まとめ資料本文の記載構成について、既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)の本文との対比較表を用いて比較し、整合的であることを確認した。 ・部門独自の方法で確認した。(NRAヒア・審査会合を繰り返して審査資料を作成)	先行プラントの本文との対比較表	・NRAヒア・審査会合を通してまとめ資料としてよく整理していることを確認した。 ・なおNRAとの調整により補正書とよく整合されたまとめ資料へ構成変更すること(添八十現まとめ資料)になり、これについては現在対応中であることを確認した。	まとめ資料の構成変更は比較的単純作業ではあるが、確実に実施して確認するべき旨を助言した。	指摘事項への対応結果を確認した。6月2日
2	② 体系的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・補正書の読み合わせや先行プラントの本文との対比較表 ・部門独自の方法(NRAヒア・審査会合を繰り返して審査資料を作成)	先行プラントの本文との対比較表	・NRAヒア・審査会合を通してまとめ資料に適合方針をまとめ、また伊方補正書とも対比させていることを確認した。 ・なお最新玄海を踏まえた追記案件がないことも確認。	なし	—
3	③ 網羅的な説明	定量的な説明 定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	—	NRAヒア・審査会合や先行プラント(伊方)補正書との整合により記載適正化を図っていることを確認した。	なし	—
4	④ 定量的な説明	② 審査での指摘事項の申請書類への反映	・部門独自の方法で確認した。 ・NRAヒア・審査会合において出されたコメントリストに対して、対応済みであることを審査または審査資料作成の中で確認。	NRAコメントリスト	・NRAコメントリストにより管理されていることを確認した。 ・ただし、新規NRAコメント等もありコメント反映確認は一部継続作業中であった。	全てのコメント反映について、最終QCチェックまでに確実に実施し確認することを助言した。	指摘事項への対応結果を確認した。6月2日
5	⑤ 体系的な説明	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	・安全(評価)、設備及び運用を担当する3者がお互いの最新情報を共有するとともに、他の関連2者の最新情報を、担当する資料中に反映していることを確認した(インプットデータのエビデンス調査と合わせて確認、または他グループ関係者への個別確認による)。	—	・条文単位で手順側、安全側と会議を開催し調整作業を実施していることを確認した。 ・ただし、被ばく結果等、至近見直し分についての調整は未実施であることを確認した。	手順側・安全側との最終調整について、最終QCチェックまでに確実に実施することを助言した。	指摘事項への対応結果を確認した。6月2日
6	⑥ 体系的な説明	④ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	・他社担当者へ直接ヒアリングし確認した。 ・部門独自の方法で確認した。 (BWR合同審査時のコメントリスト及びPWR審査チーム(NRA)指摘事項に対して個別に確認)	—	NRAヒア・審査会合のBWR合同開催や優先審査時のBWR間調整によりよく共有が図れていることを確認した。なおPWR側とも設備は連えど考え方については基本的に共有が図れていることを確認した。	なし	—

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
重大事故等対処設備のうち拡散抑制設備		5月9日

No.	即効的な対策の 確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明になっていること	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・原子力規制庁の「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	・先行プラントの申請書との対比表 ・「審査の視点と確認事項」	先行プラントの資料や「審査の視点と確認事項」を用いた確認によって、また、規制庁ヒア等による資料の作り込みによって、体系的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	—
2	② 網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・まとめ資料の読み合わせや先行プラントの申請書との対比表 ・審査ガイド	先行プラントの申請書との対比表	まとめ資料の読み合わせや先行プラントとの申請書比較表の確認、並びに審査ガイドとの比較によって、網羅的な説明に取り組んでいることを確認した。	なし	—
3	③ 定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	—	拡散抑制設備の性能評価等において、定量的な評価に取り組んでいることを確認した。	なし	—
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	・部門独自の方法で確認した。 ・コメントリストに基づき、全てのコメントに対応していることを確認した。	NRAコメントリスト	コメントリストを用いて、審査コメントのまとめ資料への反映状況を管理していることを確認した。	事務局とりまとめのNRAコメントリストに対して、全てのコメントへの対応完了を確認することを助言した。	指摘事項への対応結果を確認した。5月16日
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	・部門独自の方法で確認した。 ・関連する他条文の関係者との資料読み合わせ等によって、記載内容が適切であることを確認した。	6条関連条文リスト	関連する他条文(技術的能力、大規模損壊、等)の関係者と連携を密にとることによって、また、資料読み合わせの実施等によって、資料の記載が適切となっていることのチェックを実施していることを確認した。	なし	—
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	・「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。 ・他社担当者へ直接ヒアリングし確認した。	「審査の視点と確認事項」	・「審査の視点と確認事項」を用いて他社論点を反映していることを確認した。 ・また、他社担当者へのヒアリングを適宜実施していることを確認した。	なし	—

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

086

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
重大事故等対策に必要な技術的能力のうち共通事項(防災関係)		4月12日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的、網羅的、定量的な説明になっていること 体系的な説明	説明が順序だたて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	既許可先行プラントの「審査の視点と確認事項」(NRA)等の確認項目に沿って確認した。	伊方3「審査の視点と確認事項」	・「技術的能力に係る審査基準(NRA)」と先行プラント(伊方3)のまとめ資料を踏まえ、適宜、NRAコメントを反映し資料構成を策定している事を確認した。 ・「審査の視点と確認事項」(伊方3)を踏まえ、適宜、NRAコメントを反映して記載内容を作り込んでいることを確認した。	なし	-
2	網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	審査ガイドへの適合性を確認した。	・伊方3「審査視点と確認事項」	「技術的能力に係る審査基準(NRA)」と先行プラント(伊方3)のまとめ資料、および、適宜、NRAコメントを反映して資料作成することにより、規制要求へ適合させていることを確認した。	なし	-
3	定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認していること。	申請書の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては適宜、その妥当性を確認した。	-	定性的/曖昧な記載は、できるだけ定量的/分かりやすく見直すよう、修工作業時に作成担当者に説明していることを確認した。	再度、作成関係者に見直しの主旨と合わせて見直し方法を周知徹底した上で、実施を指示するように助言した。	4月12日に処置事項を実施したことを確認した。(5月31日)
4	② 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	事務局から周知されている「NRAコメントリスト(会合・ヒアリング)」に基づき確認した。	NRAコメントリスト	事務局作成「共有コメントリスト」の活用方法を十分に把握してなく、未記入が散見された。	活用方法を事務局に確認したうえで、対応状況をコメントリストに反映するよう助言した。	事務局が定めたコメント管理方法に沿って対応したことを確認した。(5月31日)
5	③ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	本PJ(運用側)は、安全(評価)側及び設備側と最新情報を共有し、自分が担当する条文の資料中に反映していることを確認した。	-	事務局が策定した「最新情報共有ルール」を踏まえて関係する最新情報情報を使用していること、また、関係者(設備側と評価側)との打合せ/議論を通じた資料の作り込みにおいて、随時、最新情報を共有していることを確認した。	なし	-
6	④ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。	・伊方3「審査視点と確認事項」	・先行プラント(伊方3)のまとめ資料や「審査視点と確認事項」を踏まえて資料作成しており、これにより先行プラントの論点を取り入れていることを確認した。	先行3PWRプラント以降に審査されている他社における論点を把握し、適宜、当社資料に反映すべき旨を助言した。	本PJについては当社資料に反映すべきものはなかったことを確認した。(5月31日)

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
重大事故等対策に必要な技術的能力のうち共通事項 (運転関係)		5月25日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	①審査書類が体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	これまでのヒアリングを通じて、構成は先行電力に合わせている。ただし、よりわかりやすい説明資料となるよう、図を活用する等の工夫を加えている。 表10.1、表10.2は、まとめ資料からSA設備のみを対象に抜粋した概要等であるが、論理に飛躍が生じないようにまとめている。	先行プラント(伊方3)「申請書」 「審査の視点と確認事項」	「技術的能力に係る審査基準(NRA)」において、1.0(共通事項)は細分化した構成ではない為、先行プラント(伊方3)の作成資料を踏まえ、適宜、NRAコメントを反映し資料構成を策定している事を確認した。	なし	-
2	体系的、網羅的、定量的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に応じた添付資料の構成とはせず、先行電力に準拠した構成、内容としている。 表10.1、表10.2は、まとめ資料からSA設備のみを対象に抜粋した概要等であるため、規制要求は全て満足することとなる。	先行プラント(伊方3)「申請書」 「審査の視点と確認事項」	先行プラント資料を踏まえたNRAコメントを随時に取り入れるとともに、手順表の内容を図解して補足する等、当社独自の工夫をして記載内容を作り込んでいる事を確認した。	なし	-
3	定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認していること。	1.0.6、1.0.7は、換作手順そのものであり、全て定量的な記載となっている。 1.0.1、1.0.14には、定量的な記載はない。	-	本文(1.0)内容の内、判断基準に係わる事項については定量化(数値)して記載することとし、適宜、NRAコメントを反映して作成したことを確認した。	なし	-
4	②審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	カッコ書きコメントも含め、設備計画Gにて作成している「コメント管理元データ」から、技術的能力に関するコメントを抽出し、全て反映できていることを確認した。	技術能力関連コメント集約リスト	軽微なコメントを含めて独自にチェック用リストを作成し、資料への反映箇所を明示し、順次、コメント反映作業を進めていることを確認した。	なし	-
5	③審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。 課題を抽出し関係者と共有していること。	当該の資料は、設備と整合性を図るべきものはない。一方、全て有効性評価と関係しているが、以下のプロセスを踏んでいることから、一貫性のある説明になっている。 1.0.7は有効性評価のシナリオに対して、具体的にどのような手順を用いているのかを説明する資料となっている。 その結果をもとに1.0.14を作成している。 これらの資料を作り込む過程で、過不足を運転・安全の目でクロスチェックをかけている。	-	「運用-評価」間では、まとめ資料について関係者間で直接に突き合せ(読み合わせ)して整合性をチェックしていることを確認した。 また、「クロスリファレンス表」については、各者が単独で作成した後に、相互チェックしていることを確認した。	なし	-
6	④他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	「審査の視点と確認事項」に記載されている内容は、全て確認し、資料上へ反映している。	伊方3「審査の視点と確認事項」	先行3PWRプラント以降に審査されている他社における論点については、事務局が全体集約しているが、1.0に係わるような事案はないことを確認した。	なし	-

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V、対策」2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置)から抜粋

038

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
重大事故等対策に必要な技術的能力のうち共通事項(福島第一事故教訓対応)		4月19日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・本文の記載構成については先行プラントの申請書との対比表を用いて比較し、整合的であることを確認した。	先行プラントのまとめ資料	先行プラント(伊方3)のまとめ資料をベースにして本資料における対応箇所を確認するとともに、本資料にて記載していない箇所については、他資料で記載するか、または、記載しない理由を明確にし、適宜、NRAコメントを反映して資料を作り込んでいることを確認した。	なし	—
2	② 網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	・規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、申請書の読み合わせや先行プラントの申請書との対比表を用いて確認した。	先行プラントのまとめ資料	先行プラント(伊方3)のまとめ資料をベースにして本資料における対応箇所を確認するとともに、本資料にて記載していない箇所については、他資料で記載するか、または、記載しない理由を明確にし、適宜、NRAコメントを反映して資料を作り込んでいることを確認した。	なし	—
3	③ 定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認していること。	・申請書の読み合わせにおいて、定性的な表現については適宜、その妥当性を確認した。	—	本資料は詳細な作業手順を記載したものでなく、各種対応に取り組む基本的な考え方(方針)を示したものであり定量化には馴染まないが、曖昧な表現については、適宜、見直すように作成関係者に指示していることを確認した。	なし	—
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	・技術的能力コメントリスト(会合・ヒアリング)により確認した。	NRAコメントリスト	「共有コメントリスト」(事務局作成)から当PJ分を抽出して「独自リスト」を作成し、対応状況を随時確認していたが、4/18に決められた全PJ共通の「コメントリスト確認方法」(事務局)を踏まえ、実施状況を再確認していることを確認した。	なし	—
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	評価一設備一運用に関する箇所はない。	—	・本資料は各種対応に取り組む基本的な考え方(方針)を示したものであり、評価一設備一運用が連関するものではなく、逐条的なクロスチェックはしていないことを確認した。 ・適宜、記載内容については関係者の確認を受けて資料を作成していることを確認した。	なし	—
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	・技術的能力コメントリスト(会合・ヒアリング)により確認した。 ・また、事務局作成の「確認事項リスト」には該当がないことから、特別な議論にはならなかったと思われるが、念のため、高浜、伊方、玄海の資料と概ね内容が合致していることを確認した。	先行プラントのまとめ資料	先行3PWRプラントに加え、最近の他社論点については、事務局が作成している「確認事項リスト」において、該当するもの(技術的能力分)がないことを確認した。	なし	—

※：審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」1.2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

No.		即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	対象範囲		PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日	
				重大事故等対策に必要な技術的能力のうち手順等(運転関係)				
				作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
				確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明		説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・既許可の先行プラント(伊方3)のまとめ資料において、目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。ただし、手順はPBで大きく異なるため、記載内容の比較はできないが、規制庁からのコメントをふまえ、運転員の分別等、かなり詳細な記載とした。 ・これまでのヒアリングを通じて構成を先行電力に合わせた。ただし「優先順位」については、「対応手段の選択」というタイトルでまとめ、また、フロント系とサポート系を視覚的に理解してもらえよう、先行電力以上に工夫をこらした資料を添付することにより、説明性を向上させた。	伊方3まとめ資料	・「技術的能力に係る審査基準(NRA)」と先行プラント(伊方3)の作成資料を踏まえ、適宜、NRAコメントを反映し資料構成を策定している事を確認した。 ・先行プラント資料を踏まえたNRAコメントを随時に取り入れるとともに、当社独自の記載については分かりやすく工夫して記載内容を作り込んでいる事を確認した。	なし	-
2	② 網羅的な説明		規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを「技術的能力に係る審査基準(原規技発第1306197号)」に記載されている要求事項及び解釈が全て記載されていることを確認するとともに、要求事項を全て満足していることについては、ヒアリングを通じて規制庁と確認した。なお、規制要求がない事項については、先行電力でのヒアリング結果を踏まえて追加した。	「技術的能力に係る審査基準」	「技術的能力に係る審査基準(NRA)」を踏まえNRAと協議し、随時、出されたコメントを取り入れることにより、規制要求へ適合させたことを確認した。	なし	-
3	③ 定量的な説明		定量的な表現となっているところについては、その妥当性を確認していること。	技術的能力の場合、定量的な表現についてはまとめ資料の「操作手順の解釈一覧」を添付しており、その中で全て説明した。なお、規制庁からのコメントを踏まえ、適宜、本文中にて定量的な表現とした。	-	「解釈」に掲載するものは「行動判断」に直結する記載を対象とする考え方を一貫させており、本文/添付への記載分けも含めてNRAと協議し、適宜、コメントを反映して作成したことを確認した。	なし	-
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映		審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	軽微なコメントも含め、事務局にて作成している「コメント管理元データ」から、技術的能力に関するコメントを抽出し、全て反映できていることを確認した。	-	軽微なコメントを含めて独自にチェック用リストを作成し、資料への反映箇所を明示し、順次、コメント反映作業を進めていることを確認した。	チェックした結果については、随時、「コメント管理データ」リストに反映するとともに、事務局を含めて共有するよう助言した。	事務局が定めたコメント管理方法に沿って対応したことを確認した。(6月1日)
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること		他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	「運用-設備」については、双方のまとめ資料を確認し、年末から年始にかけて規制庁へ提出した際に記載されている設備側資料の記載内容との整合性を確認し、双方のまとめ資料へフィードバックさせた(コメントは事務局へ提出)。 「運用-評価」については、技術的能力1.0.14の表1「技術的能力対応手段と有効性評価比較表」を作り込む過程で、過不足を運転・安全の目でクロスチェックをかけた。	飲み合わせ実績例	・「運用-設備」間では、まとめ資料全体について関係者間で突き合わせて整合性を確認した。 ・「運用-評価」間では、「クロスリファレンス表」を踏まえ、随時、関係者間ですり合わせて資料を作り込んでいる事を確認した。 ・最近まで議論された事案は、件数少なく大きな課題に扱られるので、確実にフォローしている事を確認した。	なし	-
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映		「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	先行プラントのNRA「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。	伊方3「審査の視点と確認事項」	・先行3PWRプラント以降に審査されている他社における論点については、随時、ヒアリングや審査会に同席して、状況を把握している事を確認した。 ・また、当社に遡及される可能性があるような事案については、随時、NRAに対応を確認することとしている旨、確認した。	なし	-

※: 審査会合(平成29年9月9日)資料1-2-3「KIC/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋

040

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲 重大事故等対策に必要な技術的能力のうち手順等(監視測定等)	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日 4月14日
---------------------------------------	------------------	-----------------

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的な説明	説明が順序だたて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	既許可の先行プラントのまとめ資料において、目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・原子力規制庁の「審査の視点と確認事項」等の確認項目に沿って確認した。	・伊方3まとめ資料 ・伊方3「審査の視点と確認事項」	・先行プラント(伊方3)のまとめ資料や「審査の視点と確認事項」をベースにして目次構成を決めて比較表を作成するとともに、適宜、NRAコメントを反映して記載内容を修正し、資料を作り込んでいることを確認した。	なし	-
2	② 網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、先行プラントの「審査の視点と確認事項」(NRA)を活用し、申請書の読み合わせや先行プラントの申請書との対比表を用いて確認した。	・伊方3まとめ資料 ・伊方3「審査の視点と確認事項」	・先行プラント(伊方3)のまとめ資料や「審査の視点と確認事項」をベースにして目次構成を決めて比較表を作成するとともに、適宜、NRAコメントを反映して記載内容を修正し、資料を作り込んでいることを確認した。	なし	-
3	③ 定量的な説明	定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認していること。	申請書の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところについては適宜、その表現の妥当性を確認した。	-	・基本的には先行プラントと同じ記載表現を踏襲したが、KK6、7(サイト)特有のこと(広範な敷地等)については、随時、NRAと協議して資料を作り込んでいることを確認した。 ・担当⇒PMが順次に資料を通読し、疑問点がある場合には、随時に相互確認し、適宜、資料修正していることを確認した。	なし	-
4	④ 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	コメントリストにより対応状況の網羅性を確認した。	PJ作成NRAコメントリスト	「共有コメントリスト」(事務局作成)から当PJ分を抽出して「独自リスト」を作成、対応完了した分は、随時、「共有コメントリスト」に反映していることを確認した。	なし	-
5	⑤ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	・監視測定に係わる運用側と設備側の担当は、最新情報を共有して資料を作成していることを確認した。	-	本PJは監視測定手順(運用)と監視測定装置(設備)を担当しており、PJ内で同じ情報を使用していることを確認した。	なし	-
6	⑥ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	・先行プラントの「審査の視点と確認事項」に沿って確認した。	・伊方3「審査の視点と確認事項」	審査当初時には他社と合同(WG)で審査準備進めていたが、最近では当社単独で審査対応しており、他社論点を網羅的にはチェックしていないことを確認した。	先行3PWRプラント以降に審査されている他社に審査されている他社における論点を把握し、適宜、当社資料に反映すべき旨を助言した。	本PJについては当社資料に反映すべきものはなかったことを確認した。(5月31日)

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-9「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他テロリズムへの対応		4月24日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	①審査書類が体系的、網羅的、定量的な説明になっていること	体系的な説明 説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	既許可の先行プラントのまとめ資料において、目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。	-	先行プラント(高浜と伊方)の審査状況(資料)を踏まえ、適宜、NRAのコメントを反映して資料構成を見直していることを確認した。	なし	-
2		網羅的な説明 規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、審査ガイドへの適合性により確認した。	「技術的能力審査基準(II.2, III.2)」	「重大事故対応に係わる技術的能力の審査基準」(NRA)に照らして資料案を作成し、随時、NRAのコメントを反映して内容を修正し、資料を作り込んでいることを確認した。	なし	-
3		定量的な説明 定性的な表現となっているところについては、その妥当性を確認していること。	申請書の読み合わせにおいて、定性的な表現となっているところを抽出しその表現の妥当性を確認した。	-	基本的には先行プラント(PWR)の記載を踏まえた記載としているが、適宜、PWRの施設/設備の相違を勘案して事故シナリオを選定する等により具体化していることを確認した。	なし	-
4	②審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	コメントリストに対応内容と該当ページを記載(該当ページは現時点では一部未記載)したことを確認した。	NRAコメントリスト(会合・ヒアリング大規模損壊抽出版)	事務局作成の共有コメントリストから本PJ分だけを抽出して独自リストを作成し、随時、対応した結果を反映していること、また、4/18に事務局が策定したコメント管理ルールに沿って再確認していることを確認した。	なし	-
5	③審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	本PJ(安全/評価)側は、関連する設備側及び運用側と最新情報を共有してまとめ資料を作成することで一貫性を確認した。	当社まとめ資料 ・共1 ・技術的能力1.0~1.19 ・SA有効性評価付録	・関連する設備スペックの共有情報(設備側)、技術的能力資料(運用側)および有効性評価資料(安全側)を引用して本資料を作成していることを確認した。	なし	-
6	④他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	先行プラントでの重要な議論・論点を整理した「確認事項リスト」等を活用し、関係する論点を申請書やまとめ資料に反映していることを確認した。	先行プラント「確認事項リスト」	・随時、先行電力には個別に情報入手/聞き取りを行って資料を作り込んでいること、また、事務局が作成した「確認事項リスト」には大規模損壊関連の事案はないことを確認していることを確認した。	なし	-

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1)規制対応向上チームの設置」から抜粋

11042

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
経理的基礎(変更の工事に要する資金の額及び調達計画)		5月8日

No.	即効的な対策の 確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した 資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的、網羅的、定量的な説明になっていること 体系的な説明	説明が順序だてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	玄海3/4ヒアリング資料と記載事項を比較しつつ作成した。	玄海3/4との項目 対比表	先行最新プラント(玄海3/4)のヒアリング資料を用い、同様な体系、同程度の説明内容としていることを確認した。	なし	—
2	網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	審査事項に対し、適合性を記載していることを確認した。また、内容も玄海3/4と同程度であることを確認した。	玄海3/4との項目 対比表	記載内容を玄海3/4と同程度にすることにより、規制要求事項を満足するようにしていることを確認した。	なし	—
3	定量的な説明	定量的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	担当者のチェックに加え、申請書の読み合わせにおいて、定量的な表現となっているところについては、適宜その表現の妥当性を確認した。	—	プロジェクトマネージャと読み合わせを行うとともに、玄海3/4号機と整合を図りつつ妥当な表現にしていることを確認した。	なし	—
4	② 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	ヒアリングコメントリストにて反映されていることを確認した。	EP事務局指定の NRAコメントリスト	個別のリストを作成して対応していることを確認した。	なし	—
5	③ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	他条文(他グループ)との関係はないので対象外。	—	工事内容の対象設備名称については、EP事務局に確認しつつ、最新情報を反映していることを確認した。	今後公表される新々・総合特別事業計画の内容を適切に反映することを要望した。	指摘事項への対応結果を確認した。5月29日
6	④ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	玄海3/4ヒアリング時のコメントを反映していることを確認した。	EP事務局指定の NRAコメントリスト	先行プラントである玄海3/4の他、高浜3/4と比較し特段の論点がないことを確認した。	なし	—

※: 審査会合(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉・免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」 「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋

規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
燃料取得計画(変更後における発電用原子炉の運転に要する核燃料物質の取得計画)	[REDACTED]	5月10日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的、網羅的、定量的な説明になっていること 体系的な説明	説明が順序だたてて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	既許可の先行プラント(伊方もしくは玄海)のまとめ資料の目次と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。	玄海まとめ資料	先行の最新プラントである玄海まとめ資料を踏まえ、またNRAヒアを通してまとめ資料としてよく整理していることを確認した。	なし	—
2	網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	規制基準における要求事項に対し、適合性を示す上で必要となる根拠が漏れなく述べられていることを、以下の方法や資料で確認した。 ・部門独自の方法: 規制要求事項はなし	—	法令要求は本書類を添付することのみであるものの、先行の最新プラントである玄海まとめ資料と同程度の内容としていることを確認した。	なし	—
3	定量的な説明	定量的な表現となっているところについては、その妥当性を確認する。	まとめ資料の読み合わせにおいて、定量的な表現となっているところについては、その表現の妥当性を確認した。	—	NRAヒアや玄海まとめ資料の読み合わせにおける整合確認により、記載適正化を図っていることを確認した。	なし	—
4	② 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	部門独自の方法で確認した(コメントは特になし)	—	NRAヒアによるコメントはないことを確認した。	なし	—
5	③ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること。課題を抽出し関係者と共有していること。	他条文(他グループ)との関係はないので対象外。	—	核燃料物質の取得計画でもあり、関係する他規則条文はないことを確認した。	なし	—
6	④ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	部門独自の方法で確認した。	—	先行の最新プラント(玄海)まとめ資料を踏まえ整理していること、先行プラントからの特段の論点がないことを確認した。	なし	—

※: 審査委会(平成29年3月9日)資料1-2-3「KK6/7号炉 免役重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋





規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビューシート

対象範囲	PJマネージャ (PJリーダー)	ヒアリング日
技術的能力(変更に係る発電用原子炉施設の設置及び運転に関する技術的能力)		4月18日

No.	即効的な対策の確認事項※	規制対応向上チームのレビューの視点	作成部門の確認		規制対応向上チームのレビュー		
			確認方法	確認時に使用した資料	ヒアリング結果	処置	処置の確認
1	① 審査書類が体系的、網羅的、定量的な説明になっていること 体系的な説明	説明が順序だつて筋道に沿って組み立てられ、論理に飛躍がないこと。	・先行の伊方3まとめ資料の記載内容と比較し、同様な体系、同程度の説明内容となっていることを確認した。 ・伊方3及び玄海3/4の「審査の視点と確認事項」(NRA)の確認項目に沿って確認した。	伊方3、玄海3/4「審査の視点と確認事項」(NRA)	先行プラント(伊方、玄海)の「審査視点と確認事項」を用い相違無いことを確認し、記載内容については伊方(代表)と逐条的に比較してチェックしている事を確認した。	なし	-
2	網羅的な説明	規制要求事項を全て満足していること。	審査指針への対応状況をまとめ資料に記載した。	「原子力事業者の技術能力に関する審査指針」(NRA)	「事業者の技術的能力に関する審査指針」の用件(No1~10)に照らし、記載項目の網羅性をチェックしていることを確認した。	なし	-
3	定量的な説明	定量的な表現となっているところについては、その妥当性を確認していること。	先行の伊方3から追加した部分について作成担当者が妥当性をチェックした。	-	先行プラントをベースにして当社の独自取組(安全品質に係わる組織等)を盛り込むとともに、適宜、NRAコメントを反映し、内容をできるだけ具体化して資料を作り込んでいることを確認した。	なし	-
4	② 審査での指摘事項の申請書類への反映	審査コメントに対する対応方針が、全て具現化されていること。	ヒアリングコメントリスト及び審査会合コメントリストにて反映されていることを確認した。	PJ独自NRAコメントリスト	審査会合で出されたコメント等について本PJ独自リストを作成し、対応していることを確認した。	PJ作成の「PJ独自リスト」と事務局作成の「共有リスト」間の整合性を確認すべき旨、を助言した。	事務局が定めたコメント管理方法に沿って対応したことを確認した。(6月1日)
5	③ 審査を通じた一貫性ある説明、データになっていること	他条文(他グループ)と関係していることが考えられる事項については、適切な関係となっていることを漏れなく確認していること、課題を抽出し関係者と共有していること。	安全(自然現象・火災防護)及び運用(原子力防災組織)の最新情報をそれぞれの条文の資料中に反映していることを確認した。	-	本資料(添付5)は本PJが独自に作成した分に、安全分と運用分を取込んで(流用)作成しており、相互の資料(記載内容)の整合を図っていることを確認した。	なし	-
6	④ 他社で議論された論点の精査と当社資料への反映	「確認事項リスト」及び原子力規制庁作成の「審査の視点と確認事項」に対する対応方針が全て具現化されていること。	先行の伊方3及び玄海3/4の「審査の視点と確認事項」(NRA)に沿って確認した。	伊方3、玄海3/4「審査の視点と確認事項」(NRA)	先行プラントの「審査視点と確認事項」を踏まえて資料作成しており、先行プラントの論点を取り入れていることを確認した。	先行3PWRプラント以降に審査されている他社における論点を把握し、適宜、当社資料に反映すべき旨を助言した。	本PJについては当社資料に反映すべきものはなかったことを確認した。(6月1日)

※: 審査会合(平成29年9月9日)資料1-2-9「KK6/7号炉 免震重要棟・防潮堤の審査対応の問題とその原因と対策」の「V. 対策」「2. 即効的な対策 (1) 規制対応向上チームの設置」から抜粋

原安統-品安-17-044

確認	承認	審査	作成
(原子力安全・統括部長)	(品質・安全評価 GM)	(品質・安全評価 G)	(品質・安全評価 G)
			
H29.6.15	H29.6.15	H29.6.15	H29.6.15

柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉
設置変更許可申請書(補正)提出に係る
適切性確認の結果報告

平成 29 年 6 月 15 日

原子力安全・統括部
品質・安全評価グループ

『柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 設置変更許可申請書(補正)作成に係る適切性確認要領』(原安統-品安-17-027, H29.5.25 制定)に基づき、設置変更許可補正申請書及びまとめ資料(以下、審査書類)の適切性確認を実施したため以下の通り報告する。

1. 適切性確認実施結果

- 実施期間 ; 平成 29 年 6 月 3 日 ~ 6 月 14 日
確認範囲 ; 設置変更許可補正申請書(本文, 添付書類及び追補) 及び
各条文のまとめ資料
確認者 ; 添付体制表参照。
確認事項 ; 添付の「設置変更許可申請書(補正)適切性確認チェックシート」の確認事項を参照。
確認結果 ; 良
所見 ; 審査書類の作成に係る各チームが、必要に応じて作業手順を定め、適切に活動していることを確認した。(詳細は次項参照)

2. 各チームの活動状況の確認結果

2.1 論点抽出チームの活動状況確認 (添付資料 2)

論点抽出チームが、先行電力の審査での議論、コメント等の中から当社として新たな論点となり得るものがないか調査し、その結果を各プロジェクトマネージャーへ情報提供していることをヒアリング及び論点確認リストにて確認した。

2.2 プロジェクト統括の活動状況確認 (添付資料 3)

担当する技術分野について、専門的な知識・知見をふまえ、技術的内容の妥当性及び関連するプロジェクトとの間での技術的内容の整合性の観点から担当分野の審査書類をレビューしていることをヒアリング及びコメントリストにて確認した。また、他の技術分野の審査書類についてもレビューを行うとともに、審査方針確認会議での情報共有等を通じてプロジェクト間の整合性を確保するための活動を実施していることをヒアリング、コメントリスト及び会議への同席を通じて確認した。

なお、論点抽出チームから提供された先行電力の情報については、内容を確認した上で担当プロジェクトチームへ必要な対応を指示するとともに、必要に応じて当該電力への情報収集を行っていることを質問リストにて確認した。

2.3 規制対応向上チームの活動状況確認 (添付資料 4)

『規制対応向上チームによる「まとめ資料」のレビュー要領』(H29.4.21 rev4.1)を作成し、審査

会合においてNRAから指摘された課題をふまえた確認の視点(審査書類が体系的、網羅的、定量的及び一貫性のある説明となっていること。また、当社審査のコメント及び先行各社の論点を反映していること)を明確にした上で、審査書類をレビューしていることを「まとめ資料のレビューシート」にて確認した。また、適宜プロジェクトチームへのヒアリングも実施し、審査書類の信頼性向上のための活動を実施していることをヒアリング及び「まとめ資料のレビューシート」にて確認した。

2.4 プロジェクトチームの活動状況確認(添付資料5)

『設置変更許可申請書作成要領』(H29.4.5 改訂 3)を制定し、これに基づきエビデンスの入手、申請書の作成及び確認を実施していることを、ヒアリング及び資料ヘダブルチェックがされていることにて確認した。確認内容詳細は次項参照。

3. 適切性確認詳細

今回の審査書類提出にあたっては、審査書類の信頼性向上の取り組みとして、プロジェクト体制全体で2.1~2.4の取り組みを実施したが、品質保証部門としては、「2.4プロジェクトチームの活動状況確認」として、以下に示す審査書類作成プロセスの適切性確認を特に重点的に実施した。

3.1 プロジェクトの全体管理(事務局の活動状況)

プロジェクト体制全体に対して、審査書類作成に係る説明会が実施され、統一された作成手順で作業されるよう管理していた。また、『設置変更許可申請書作成要領』が制定され、プロジェクト体制全体へ配付・周知していることを確認した。体制についても、審査書類作成に係る体制表を作成し、同様に配付・周知していることを確認した。

3.2 審査書類の作成プロセスの確認(プロジェクトチームの活動状況)

審査書類全般に対して、抜き取り方式により作成プロセスの適切性を確認した。抜き取りの割合は、審査書類全体の物量を勘案し、1%以上(対象資料 100 頁あたり最低 1 頁を抽出)とした(対象資料全体のチェック状態を概観した上で、エビデンスとの結びつき確認をすべき情報が多し頁を抽出するように配慮した)。

確認にあたっては、適宜担当者へのヒアリングも織り交ぜ、プロジェクトチームにて作成者以外の 2 名以上でダブルチェックを実施していること、エビデンスまでのトレースが確実にできることを重点的に確認した。

なお、チェック・修正の作業を複数回にわたり実施している場合においても、上記同様に作成者以外の 2 名以上によるチェックを実践していることをヒアリング及びチェック結果にて確認した。

3.3 適切性確認結果の総括

・エビデンスの管理状況

全体説明会で周知されていたとおり、個別のエビデンス資料は承認行為を経て確定した情報として管理されていた。

・審査書類への転記の適切性

エビデンスに基づく記述については、適切にダブルチェックが実施されている状況が確認できた。

なお、特徴的な事例として、審査書類へ図表類を貼りつけている場合において、末端が途切れた状態のものがあった。担当者へ修正を指示し、正しく貼りつけ直されたことの確認に加え、抜き取りチェックした頁以外にも同様の状態のものがないか、全体的な再確認をすべきであることを担当者へ進言し、再確認作業を実施したとの回答を得ている。

・補正書の確認

補正書については、まとめ資料から必要箇所を抽出して作成するプロセスとなっていることをヒアリングにて確認したことから、まとめ資料と同様のエビデンス確認は不要と判断した。ただし、文書としての編集作業は発生していることから、プロジェクトチームにてダブルチェックを実施すること、修正箇所に対しては再度ダブルチェックを実施すること、との基本プロセスを徹底していることを、プロジェクトマネージャーへのヒアリングにて確認した。

また、本文、添付書類、追補までの全体に対して通読を実施し、補正書全体として編集が適切に行われていることの確認を行った。頁番号の記載様式、見出し付番の規則性、表現・用語の統一、図表の鮮明度に見直しの余地があり、取り纏め箇所へ気づき点を連絡し、要修正箇所は作成事務局にて対応することを確認した。

4. まとめ

今回の審査書類作成における体制は、NRA からの指摘をふまえた体制として、新たに論点抽出チーム、プロジェクト統括及び規制対応向上チームを設置し、組織横断的に品質向上の活動を展開できたことを確認した。

5. 添付資料

- (1) 適切性確認実施体制
- (2) 適切性確認チェックシート(論点抽出チーム)
- (3) 適切性確認チェックシート(プロジェクト統括)
- (4) 適切性確認チェックシート(規制対応向上チーム)
- (5) 適切性確認チェックシート(プロジェクトチーム)

原安統-品安-17-042

Rev.2

承認	審査	作成
■	■	■
H29.6.11	H29.6.11	H29.6.11

KK6/7 設置変更許可補正申請書作成に係る
適切性確認実施体制

総括責任者	原子力安全・統括部長 ■
責任者	品質・安全評価GM ■
担当者	品質・安全評価G ■
	福島対応第一G ■
	福島対応第二G ■
	原子力改革特別TF事務局 ■
	原子力設備管理部 ■

「設置変更許可申請書(補正)」適切性確認チェックシート(論点抽出チーム)

設置許可基準規則条文: 第一条

番号	確認事項	確認結果及び特記事項	確認者 (確認日)
1	先行電力の審査で議論された中から、当社として新たな論点となり得るものがないか調査していること。	先行電力審査での「視点及び確認事項」(NRA作成資料)や審査コメントの調査を行い一覧表に整理し、メールを通じて各プロジェクト統括に周知・提供していた。 確認対象者所属, 氏名: 安全施設建設センター ■■■■	◎良 否 ■■■■ (H29.6.5)
2	No1の結果、当社の審査において論点になり得る事案を抽出した場合、担当しているプロジェクトマネージャーへ連絡していること。	No1の提供を受けた各プロジェクト統括は、自己の所掌で論点となり得る事項を確認のうえ配下のプロジェクトマネージャーに提示し、K67審査対応への反映要否を検討させていた。 確認対象者所属, 氏名: 原子力設備管理部 ■■■■	◎良 否 ■■■■ (H29.6.5)

「設置変更許可申請書(補正)」適切性確認チェックシート(プロジェクト統括)

設置許可基準規則条文: 第一条

番号	確認事項	確認結果及び特記事項	確認者 (確認日)
1.	担当する分野の技術的内容の妥当性及び関連するプロジェクトとの間での技術的内容の整合性について、「審査書類」を横断的にレビューしていること。 (項目間の整合性の確認を含む)	自分が担当する分野の審査書類の技術的内容の妥当性レビューに加えて、他のプロジェクト統括の担当分野の審査書類についても俯瞰的なレビューを実施し適宜コメントをしており、それらを通して審査書類全体の技術的内容の整合性を横断的に確認していた。 確認対象者所属, 氏名: 原子力設備管理部 ■■■	■■■ (H29.6.12)
2	他の技術分野のプロジェクト統括と連携し, 自らが担当する技術分野に関連する情報を共有していること。	1.の確認結果に記載の活動や、プロジェクト統括が適宜集まり情報交換することで、他のプロジェクト統括との連携が図られており、課題・情報の共有がされていた。 確認対象者所属, 氏名: 原子力設備管理部 ■■■	■■■ (H29.6.12)
3	審査会合, ヒアリング等を通じた課題が確実に反映されていること。	配下のプロジェクトマネージャーが各々入力しているNRAコメント管理リストを確認のうえ、補正書やまとめ資料をレビューし、審査での課題が確実に反映されていることを確認していた。 確認対象者所属, 氏名: 原子力設備管理部 ■■■	■■■ (H29.6.12)
4	先行各社の審査の論点より, 当社の審査でも論点となりうる事項について対応していること。	論点抽出チームから提供された先行電力の論点情報を基に、必要に応じ各社への情報収集も行ったうえで、配下のプロジェクトマネージャーに当社審査対応への反映の要否検討・実施を指示し、必要な対応をさせていた。 確認対象者所属, 氏名: 原子力設備管理部 ■■■	■■■ (H29.6.12)

添付資料 3

「設置変更許可申請書(補正)」適切性確認チェックシート(プロジェクト統括)

設置許可基準規則条文: 第一条

番号	確認事項	確認結果及び特記事項		確認者 (確認日)
1	担当する分野の技術的内容の妥当性及び関連するプロジェクトとの間での技術的内容の整合性について、「審査書類」を横断的にレビューしていること。 (項目間の整合性の確認を含む)	自分が担当する分野の審査書類の技術的内容の妥当性レビューに加えて、他のプロジェクト統括の担当分野の審査書類についても俯瞰的なレビューを実施し適宜コメントをしており、それらを通して審査書類全体の技術的内容の整合性を横断的に確認していた。 確認対象者所属, 氏名: 原子力設備管理部 [REDACTED]	良 ・ 否	[REDACTED] (H29.6.9)
2	他の技術分野のプロジェクト統括と連携し、自らが担当する技術分野に関連する情報を共有していること。	1.の確認結果に記載の活動や、プロジェクト統括が適宜集まり情報交換することで、他のプロジェクト統括との連携が図られており、課題・情報の共有がされていた。 確認対象者所属, 氏名: 原子力設備管理部 [REDACTED]	良 ・ 否	[REDACTED] (H29.6.9)
3	審査会合, ヒアリング等を通じた課題が確実に反映されていること。	配下のプロジェクトマネージャーが各々入力しているNRAコメント管理リストを確認のうえ、補正書やまとめ資料をレビューし、審査での課題が確実に反映されていることを確認していた。 確認対象者所属, 氏名: 原子力設備管理部 [REDACTED]	良 ・ 否	[REDACTED] (H29.6.9)
4	先行各社の審査の論点より、当社の審査でも論点となりうる事項について対応していること。	論点抽出チームから提供された先行電力の論点情報を基に、必要に応じ各社への情報収集も行ったうえで、配下のプロジェクトマネージャーに当社審査対応への反映の可否検討・実施を指示し、必要な対応をさせていた。 確認対象者所属, 氏名: 原子力設備管理部 [REDACTED]	良 ・ 否	[REDACTED] (H29.6.9)

「設置変更許可申請書(補正)」適切性確認チェックシート(プロジェクト統括)

設置許可基準規則条文: 第一条

番号	確認事項	確認結果及び特記事項	確認者 (確認日)
1	担当する分野の技術的内容の妥当性及び関連するプロジェクトとの間での技術的内容の整合性について、「審査書類」を横断的にレビューしていること。 (項目間の整合性の確認を含む)	自分が担当する分野の審査書類の技術的内容の妥当性レビューに加えて、他のプロジェクト統括の担当分野の審査書類についても俯瞰的なレビューを実施し適宜コメントをしており、それらを通して審査書類全体の技術的内容の整合性を横断的に確認していた。 確認対象者所属、氏名: 原子力設備管理部 [REDACTED]	[REDACTED] (H29.6.9)
2	他の技術分野のプロジェクト統括と連携し、自らが担当する技術分野に関連する情報を共有していること。	1.の確認結果に記載の活動や、プロジェクト統括が適宜集まり情報交換することで、他のプロジェクト統括との連携が図られており、課題・情報の共有がされていた。 確認対象者所属、氏名: 原子力設備管理部 [REDACTED]	[REDACTED] (H29.6.9)
3	審査会合、ヒアリング等を通じた課題が確実に反映されていること。	配下のプロジェクトマネージャーが各々入力しているNRAコメント管理リストを確認のうえ、補正書やまとめ資料をレビューし、審査での課題が確実に反映されていることを確認していた。 確認対象者所属、氏名: 原子力設備管理部 [REDACTED]	[REDACTED] (H29.6.9)
4	先行各社の審査の論点より、当社の審査でも論点となりうる事項について対応していること。	論点抽出チームから提供された先行電力の論点情報を基に、必要に応じ各社への情報収集も行ったうえで、配下のプロジェクトマネージャーに当社審査対応への反映の要否検討・実施を指示し、必要な対応をさせていた。 確認対象者所属、氏名: 原子力設備管理部 [REDACTED]	[REDACTED] (H29.6.9)

「設置変更許可申請書(補正)」適切性確認チェックシート(プロジェクト統括)

設置許可基準規則条文: 第 一 条

番号	確認事項	確認結果及び特記事項	確認者 (確認日)
1	担当する分野の技術的内容の妥当性及び関連するプロジェクトとの間での技術的内容の整合性について、「審査書類」を横断的にレビューしていること。 (項目間の整合性の確認を含む)	自分が担当する分野の審査書類の技術的内容の妥当性レビューに加えて、他のプロジェクト統括の担当分野の審査書類についても俯瞰的なレビューを実施し適宜コメントをしており、それらを通して審査書類全体の技術的内容の整合性を横断的に確認していた。 確認対象者所属、氏名: 原子力設備管理部 [REDACTED]	[REDACTED] (H29.6.8)
2	他の技術分野のプロジェクト統括と連携し、自らが担当する技術分野に関連する情報を共有していること。	1.の確認結果に記載の活動や、プロジェクト統括が適宜集まり情報交換することで、他のプロジェクト統括との連携が図られており、課題・情報の共有がされていた。 確認対象者所属、氏名: 原子力設備管理部 [REDACTED]	[REDACTED] (H29.6.8)
3	審査会合、ヒアリング等を通じた課題が確実に反映されていること。	配下のプロジェクトマネージャーが各々入力しているNRAコメント管理リストを確認のうえ、修正書やまとめ資料をレビューし、審査での課題が確実に反映されていることを確認していた。 確認対象者所属、氏名: 原子力設備管理部 [REDACTED]	[REDACTED] (H29.6.8)
4	先行各社の審査の論点より、当社の審査でも論点となりうる事項について対応していること。	論点抽出チームから提供された先行電力の論点情報を基に、必要に応じ各社への情報収集も行ったうえで、配下のプロジェクトマネージャーに当社審査対応への反映の要否検討・実施を指示し、必要な対応をさせていた。 確認対象者所属、氏名: 原子力設備管理部 [REDACTED]	[REDACTED] (H29.6.8)